

令和7年度

柴田町まちづくりアンケート調査報告書

令和8年3月

柴田町

## 【目次】

<b>I. 調査概要</b> .....	1
1 調査の目的と実施概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 実施概要.....	1
2 集計結果を読む際の留意事項.....	2
<b>II 調査結果</b> .....	4
1 あなたご自身のことについて.....	4
(1) 性別.....	4
(2) 年齢.....	5
(3) 職業・仕事（※主たるもの）.....	6
(4) 通学・勤務先.....	7
(5) 居住年数（※通算して）.....	8
(6) 居住地区.....	9
(7) 同居家族.....	11
2. まちへの定住意向と魅力などについて.....	12
(1) まちの住みやすさについて.....	12
(2) まちの魅力について.....	14
(3) まちの不十分なところについて.....	17
(4) 定住意向について.....	20
3. まちの現状と今後の取り組みについて.....	22
(1) 各施策の満足度・重要度について.....	23
(2) まちの将来像について.....	54
(3) まちに必要な公共施設について.....	57
4. 地域公共交通について.....	60
(1) 運転免許証の所持状況について.....	60
(2) 自動車の所持状況について.....	63

(3) 出かけ先について.....	65
(4) 出かけ先への移動手段について.....	83
(5) 日頃の移動手段について.....	86
5. 行政情報の取得方法等について.....	88
(1) 行政情報の取得手段について.....	88
(2) 電子データの配信希望について.....	91
(3) デジタル化について.....	94
6. 情報通信機器の利用状況等について.....	98
(1) インターネットの利用状況について.....	98
(2) インターネットの利用頻度について.....	100
(3) インターネットの利用サービスについて.....	114
(4) 利用中の SNS について.....	117
(5) 利用する際の不安や不満について.....	120
(6) 利用していない理由について.....	123
<b>Ⅲ 参考資料 アンケート調査票.....</b>	<b>126</b>

# I 調査概要

# I. 調査概要

## 1 調査の目的と実施概要

### (1) 調査の目的

第7次柴田町総合計画策定に係るまちづくりアンケート調査（以降、「本調査」とします。）は、新たな時代のまちづくりの指針として、第7次総合計画を町民の皆様と一緒に策定するにあたり、皆様のご意見・ご要望等を収集し、計画に反映させることを目的として実施しました。

### (2) 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

#### 【調査の概要】

- 調査対象：柴田町内にお住まいの18歳以上の方
- 抽出方法：18歳以上の町民の中から4,000名を無作為抽出
- 調査内容：新たな時代のまちづくりに関すること
  1. あなたご自身のことについて
  2. まちへの定住意向と魅力などについて
  3. まちの現状と今後の取り組みについて
  4. 地域公共交通について
  5. 行政情報の取得方法等について
  6. 情報通信機器の利用状況等について
  7. 自由意見について
- 調査期間：2026年(令和8年)1月9日(金)～2月9日(月)  
2月23日(月)まで期限を延長して回収
- 調査方法：郵送配布・回収、WEBアンケート
- 配布・回収：

配付数 (A)	うち 不達票 (B)	有効 発送数 (A-B)	返送数 (C)	有効票		無効票	未回収 票数 (A-B-C)	回答率 C÷(A-B)	
				郵送回答	WEB回答				
4,000票	6票	3,994票	1,749票	1,749票	1,126票	623票	0票	2,245票	43.8%

## 2 集計結果を読む際の留意事項

---

本調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

### 【留意事項】

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。  
（※四捨五入のため、単純回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。）
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。（分析の軸とした調査回答者の属性（年齢別、居住地域別など）で「n」が少ないもの（10人未満を目安）は、分析の対象から外す場合があります。）
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 集計結果の構成比を割合で表記する際は、下記のとおりとします。

（例）40%代

表記	4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割
範囲	40.0～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

## Ⅱ 調査結果

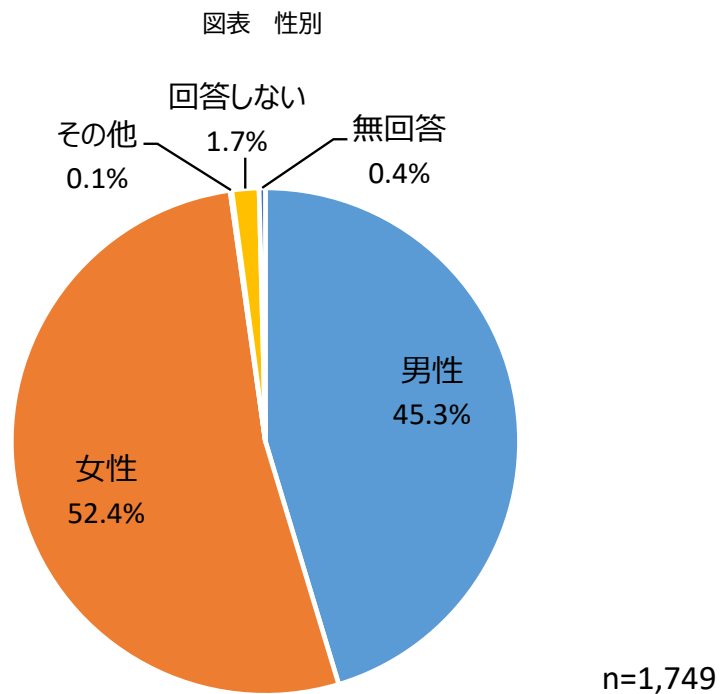
## Ⅱ 調査結果

### 1 あなたご自身のことについて

#### (1) 性別

問 あなたの性別について、あてはまるものをお選びください。  
<1つに○印>

- 回答者の性別は「男性」が 45.3%、「女性」が 52.4%となっています。
- 前回調査※との比較では「男性」が 1.2 ポイント増加、「女性」が 0.8 ポイント減少となっています。



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	男性	793	45.3%	44.1%	1.2
2	女性	917	52.4%	53.2%	▲ 0.8
3	その他	2	0.1%	0.1%	0.0
4	回答しない	30	1.7%	0.9%	0.8
	無回答	7	0.4%	1.7%	▲ 1.3

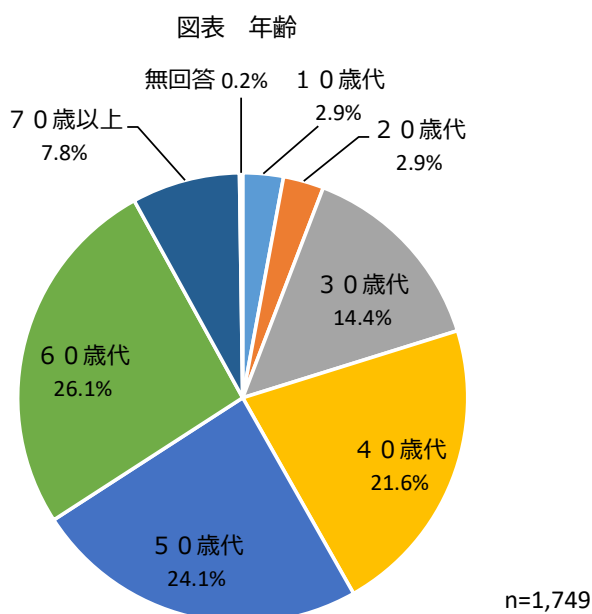
※前回調査：令和4年3月「柴田町まちづくりアンケート調査」（以下、共通）

## (2) 年齢

問 あなたの年齢について、あてはまるものをお選びください。

<1つに○印>

- 回答者の年齢では「60歳代」が26.1%と最も多く、「50歳代」が24.1%、「40歳代」が21.6%と続きます。
- 回答全体としては、50歳代以上の占める割合が6割近く（58.0%）となっています。
- 前回調査との比較では「50歳代」が8.1ポイント上昇、「70歳以上」が14.2ポイント減少となっています。



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	10代	51	2.9%	1.9%	1.0
2	20代	51	2.9%	7.6%	▲ 4.7
3	30代	251	14.4%	14.2%	0.2
4	40代	378	21.6%	16.7%	4.9
5	50代	421	24.1%	16.0%	8.1
6	60代	457	26.1%	19.9%	6.2
7	70歳以上	136	7.8%	22.0%	▲ 14.2
	無回答	4	0.2%	1.6%	▲ 1.4

図表 年齢 (性別)

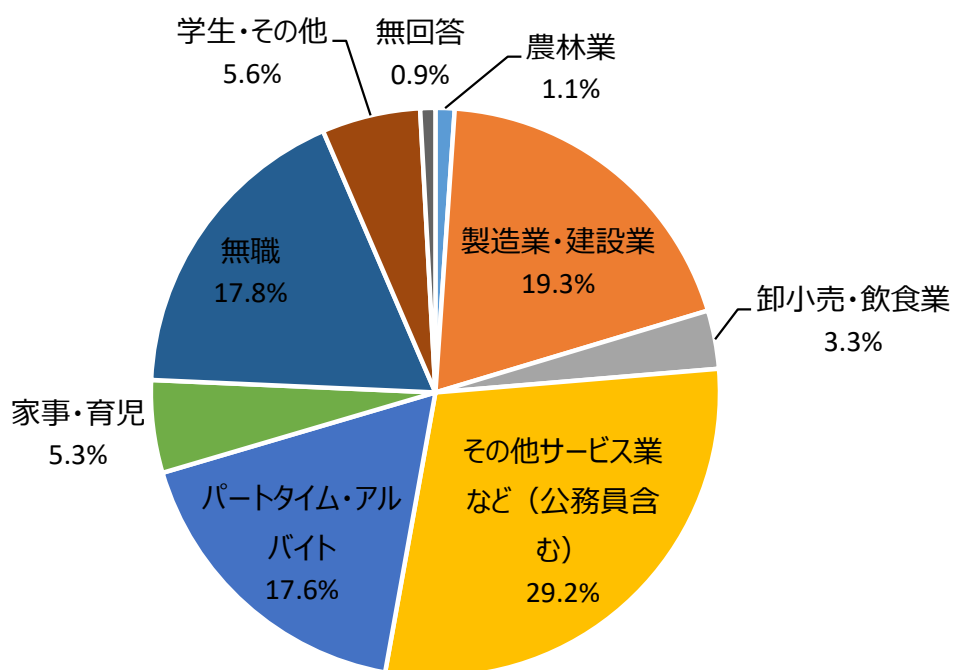
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
男性 (n=793)	2.9%	3.2%	13.4%	23.0%	24.1%	25.7%	7.8%	0.0%
女性 (n=917)	3.1%	2.7%	14.8%	20.0%	24.1%	27.3%	8.1%	0.0%

### (3) 職業・仕事（※主たるもの）

問 あなたの職業・仕事（※主たるもの）について、あてはまるものをお選びください。  
 <1つに○印>

- 回答者の職業・仕事は「その他サービス業など（公務員含む）」が29.2%と最も高く、「製造業・建設業」が19.3%、「無職」が17.8%と続きます。
- 前回調査との比較では「その他サービス業など（公務員含む）」が6.7ポイント上昇、「無職」が10.4ポイント減少となっています。

図表 職業・仕事



n=1,749

(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	農林業	19	1.1%	1.5%	▲ 0.4
2	製造業・建設業	337	19.3%	16.7%	▲ 2.6
3	卸小売・飲食業	58	3.3%	3.5%	▲ 0.2
4	その他サービス業など（公務員含む）	510	29.2%	22.5%	▲ 6.7
5	パートタイム・アルバイト	308	17.6%	13.6%	▲ 4.0
6	家事・育児	92	5.3%	6.5%	▲ 1.2
7	無職	312	17.8%	28.2%	▲ 10.4
8	学生・その他	98	5.6%	5.7%	▲ 0.1
	無回答	15	0.9%	1.7%	▲ 0.8

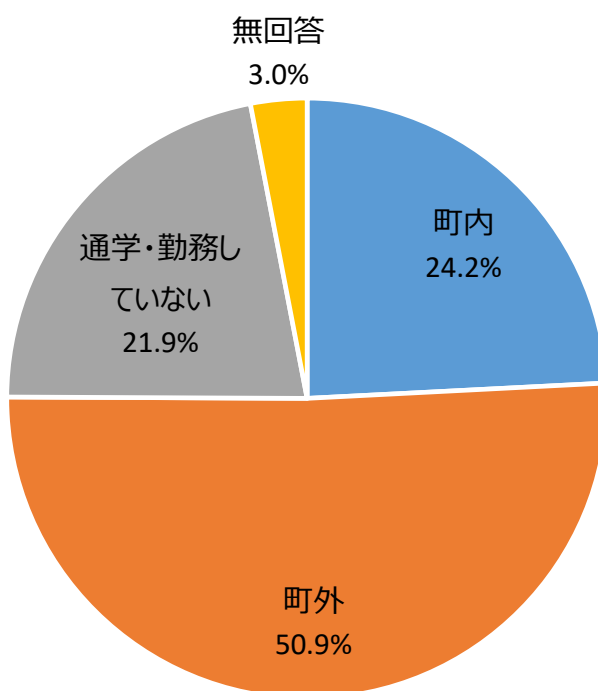
## (4) 通学・勤務先

問 あなたの通学・勤務先について、あてはまるものをお選びください。

<1つに○印>

- 回答者の通学・勤務先では「町外」が50.9%と最も高く、「町内」が24.2%、「通学・勤務していない」が21.9%と続きます。
- 前回調査との比較では「町内」が0.4ポイント上昇、「町外」が12.4ポイント上昇、「通学・勤務していない」が7.7ポイント減少となっています。

図表 通学・勤務先



n=1,749

(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

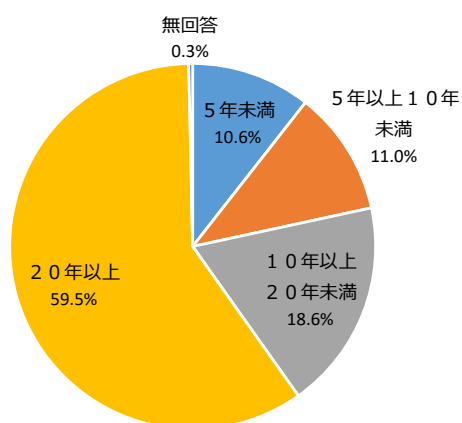
		回答数	構成比	前回値	比較
1	町内	423	24.2%	23.8%	0.4
2	町外	890	50.9%	38.5%	12.4
3	通学・勤務していない	383	21.9%	29.6%	▲ 7.7
	無回答	53	3.0%	8.2%	▲ 5.2

## (5) 居住年数 (※通算して)

問 あなたの居住年数 (※通算して) について、あてはまるものをお選びください。  
<1 つに○印>

- 回答者の居住年数は「20年以上」が59.5%と最も多く、「10年以上20年未満」が18.6%、「5年以上10年未満」が11.0%と続きます。
- 前回調査との比較では「5年以上10年未満」が3.2ポイント上昇、「20年以上」が3.7ポイント減少となっています。

図表 居住年数



n=1,749

(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	5年未満	185	10.6%	11.7%	▲ 1.1
2	5年以上10年未満	193	11.0%	7.8%	3.2
3	10年以上20年未満	325	18.6%	15.5%	3.1
4	20年以上	1,040	59.5%	63.2%	▲ 3.7
	無回答	6	0.3%	1.9%	▲ 1.6

図表 居住年数 (性別・年齢別)

	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
男性 (n=793)	10.0%	9.8%	17.2%	62.8%	0.3%
女性 (n=917)	11.2%	12.1%	19.6%	56.9%	0.1%
10代 (n=51)	13.7%	5.9%	78.4%	2.0%	0.0%
20代 (n=51)	23.5%	15.7%	23.5%	37.3%	0.0%
30代 (n=251)	21.1%	21.9%	16.7%	40.2%	0.0%
40代 (n=378)	10.8%	14.8%	29.1%	45.0%	0.3%
50代 (n=421)	9.7%	9.0%	15.7%	65.3%	0.2%
60代 (n=457)	6.6%	6.1%	8.5%	78.6%	0.2%
70歳以上 (n=136)	0.7%	3.7%	11.0%	84.6%	0.0%

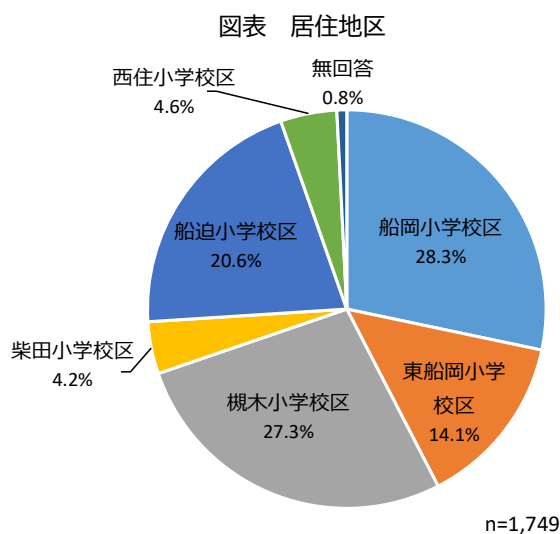
図表 居住年数（居住地区別）

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答
船岡小学校区 (n=495)	11.9%	9.9%	21.8%	56.2%	0.2%
東船岡小学校区 (n=247)	10.1%	8.9%	18.6%	62.3%	0.0%
槻木小学校区 (n=478)	11.3%	13.2%	16.9%	58.6%	0.0%
柴田小学校区 (n=74)	8.1%	6.8%	13.5%	70.3%	1.4%
船迫小学校区 (n=361)	8.6%	10.8%	17.5%	63.2%	0.0%
西住小学校区 (n=80)	10.0%	16.3%	18.8%	55.0%	0.0%

## (6) 居住地区

問 あなたの居住地区について、あてはまるものをお選びください。  
<1つに○印>

- 回答者の居住地区では「船岡小学校区」が28.3%と最も高く、「槻木小学校区」が27.3%、「船迫小学校区」が20.6%と続きます。
- 前回調査との比較では「槻木小学校区」が2.8ポイント上昇、「東船岡小学校区」が0.9ポイント減少となっています。



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	船岡小学校区	495	28.3%	26.7%	1.6
2	東船岡小学校区	247	14.1%	15.0%	▲ 0.9
3	槻木小学校区	478	27.3%	24.5%	2.8
4	柴田小学校区	74	4.2%	4.8%	▲ 0.6
5	船迫小学校区	361	20.6%	20.9%	▲ 0.3
6	西住小学校区	80	4.6%	4.9%	▲ 0.3
	無回答	14	0.8%	3.1%	▲ 2.3

図表 居住地区（性別・年齢別）

	船岡 小学校区	東船岡 小学校区	槻木 小学校区	柴田 小学校区	船迫 小学校区	西住 小学校区	無回答
男性 (n=793)	28.1%	13.9%	26.4%	5.0%	22.1%	3.8%	0.8%
女性 (n=917)	28.5%	14.2%	28.2%	3.7%	19.6%	5.3%	0.4%
10代 (n=51)	19.6%	7.8%	37.3%	3.9%	19.6%	11.8%	0.0%
20代 (n=51)	19.6%	15.7%	33.3%	2.0%	25.5%	2.0%	2.0%
30代 (n=251)	27.1%	14.7%	29.5%	2.8%	20.7%	5.2%	0.0%
40代 (n=378)	32.5%	15.6%	27.2%	3.2%	16.1%	4.5%	0.8%
50代 (n=421)	32.3%	15.2%	26.1%	2.6%	20.7%	2.9%	0.2%
60代 (n=457)	24.1%	13.1%	25.4%	7.4%	23.2%	6.1%	0.7%
70歳以上 (n=136)	27.9%	11.0%	28.7%	5.1%	23.5%	2.2%	1.5%

## (7) 同居家族

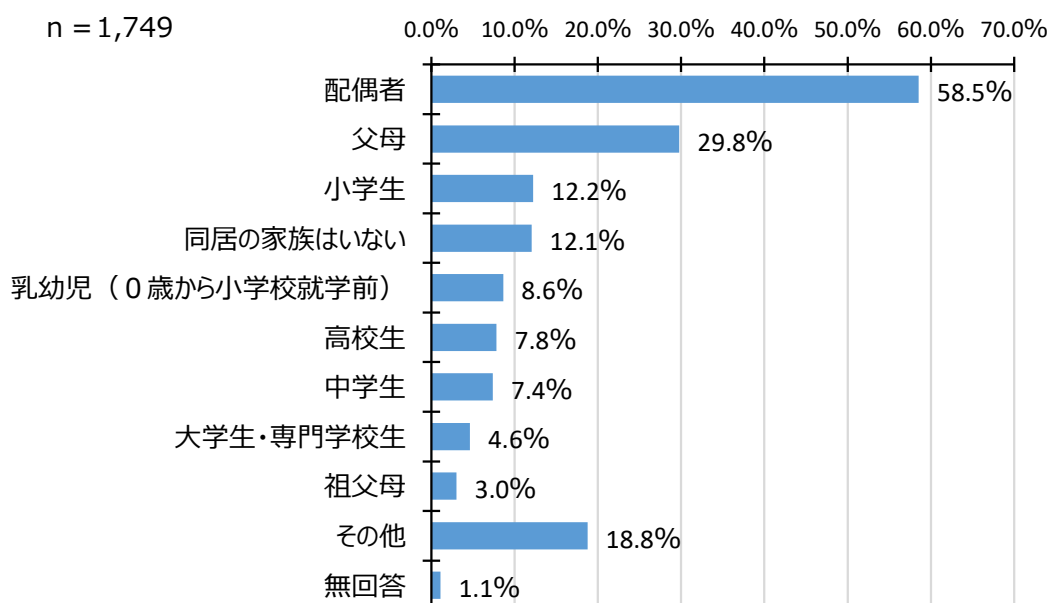
問 あなたの家族構成（同居のご家族）についてお答えください。

<あてはまるものすべてに○印>

- 回答者の同居家族は「配偶者」が 58.5%と最も高く、「父母」が 29.8%、「小学生」が 12.2%と続きます。
- 前回調査との比較では「父母」が 4.8 ポイント上昇、「配偶者」が 4.8 ポイント減少となっています。

図表 同居家族

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	同居の家族はいない	211	12.1%	10.5%	1.6
2	配偶者	1,024	58.5%	63.3%	▲ 4.8
3	乳幼児（0歳から小学校就学前）	151	8.6%	10.5%	▲ 1.9
4	小学生	214	12.2%	12.6%	▲ 0.4
5	中学生	129	7.4%	8.9%	▲ 1.5
6	高校生	137	7.8%	6.8%	1.0
7	大学生・専門学校生	81	4.6%	4.3%	0.3
8	父母	521	29.8%	25.0%	4.8
9	祖父母	53	3.0%	4.1%	▲ 1.1
10	その他	328	18.8%	19.3%	▲ 0.5
	無回答	19	1.1%	2.5%	▲ 1.4

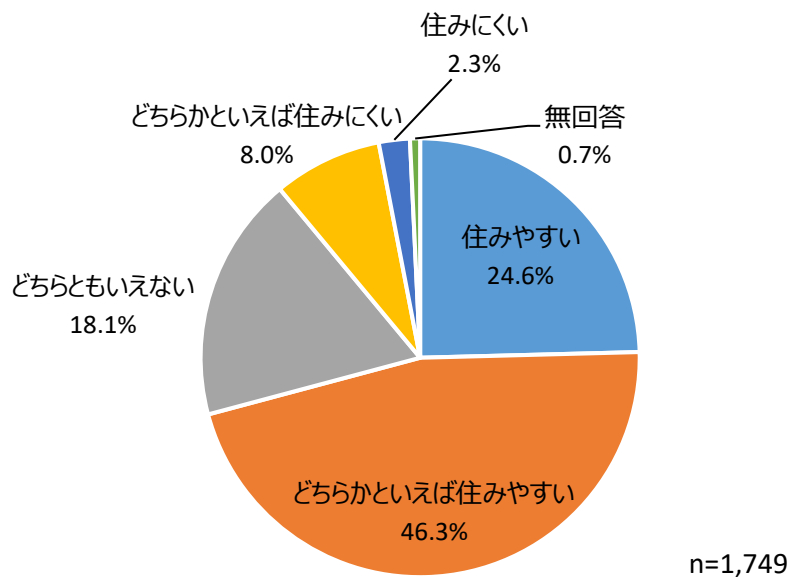
## 2. まちへの定住意向と魅力などについて

### (1) まちの住みやすさについて

問 あなたは、全体的にみて柴田町は住みやすいと思いますか。〈1つに○印〉

- 回答者のまちの住みやすさについては「どちらかといえば住みやすい」が46.3%と最も高くなっています。
- 「住みやすい」(24.6%)、「どちらかといえば住みやすい」(46.3%)を合わせた7割(70.9%)の方は“住みやすい”※と感じている一方で、「どちらかといえば住みにくい」(8.0%)、「住みにくい」(2.3%)を合わせた1割(10.3%)の方は“住みにくい”※と感じています。
- 前回調査との比較では「どちらかといえば住みやすい」が3.8ポイント上昇、「住みやすい」が6.2ポイント減少となっています。

図表 まちの住みやすさについて



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	住みやすい	430	24.6%	30.8%	▲ 6.2
2	どちらかといえば住みやすい	809	46.3%	42.5%	3.8
3	どちらともいえない	317	18.1%	15.5%	2.6
4	どちらかといえば住みにくい	140	8.0%	5.4%	2.6
5	住みにくい	40	2.3%	3.3%	▲ 1.0
	無回答	13	0.7%	2.4%	▲ 1.7

※ “住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方

※ “住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

- 性別によるまちの住みやすさについてみると、男女とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの住みやすさについてみると、各年代とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。

図表 まちの住みやすさについて（性別・年齢別）

	“住みやすい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みやすい	どちらか といえば住 みやすい		どちらか といえば住 みにくい	住みにくい	
男性 (n=793)	27.6%	43.1%	18.5%	8.3%	2.0%	0.4
女性 (n=917)	22.4%	49.3%	18.0%	7.3%	2.3%	0.8
10代 (n=51)	21.6%	51.0%	13.7%	7.8%	5.9%	0.0
20代 (n=51)	17.6%	47.1%	25.5%	9.8%	0.0%	0.0
30代 (n=251)	20.7%	47.8%	19.9%	7.6%	3.6%	0.4
40代 (n=378)	21.4%	49.5%	18.0%	8.7%	2.4%	0.0
50代 (n=421)	31.4%	44.9%	14.5%	7.4%	1.2%	0.7
60代 (n=457)	23.4%	45.3%	20.6%	7.9%	2.0%	0.9
70歳以上 (n=136)	27.9%	41.2%	17.6%	8.8%	2.9%	1.5

※ “住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方  
 ※ “住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

- 居住地区別による住みやすさについてみると、柴田小学校区以外の地区で「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。
- 柴田小学校区は「どちらともいえない」が最も高くなっています。

図表 まちの住みやすさについて（居住地区別）

	“住みやすい”		どちらとも いえない	“住みにくい”		無回答
	住みやすい	どちらか といえば住 みやすい		どちらか といえば住 みにくい	住みにくい	
船岡小学校区 (n=495)	30.1%	47.3%	14.7%	4.8%	2.6%	0.4%
東船岡小学校区 (n=247)	25.9%	50.6%	13.8%	6.5%	2.8%	0.4%
槻木小学校区 (n=478)	19.0%	48.1%	19.7%	10.5%	2.1%	0.6%
柴田小学校区 (n=74)	16.2%	27.0%	32.4%	17.6%	5.4%	1.4%
船迫小学校区 (n=361)	26.0%	44.6%	19.9%	7.8%	1.1%	0.6%
西住小学校区 (n=80)	18.8%	46.3%	23.8%	8.8%	1.3%	1.3%

※ “住みやすい”：「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と回答した方  
 ※ “住みにくい”：「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方

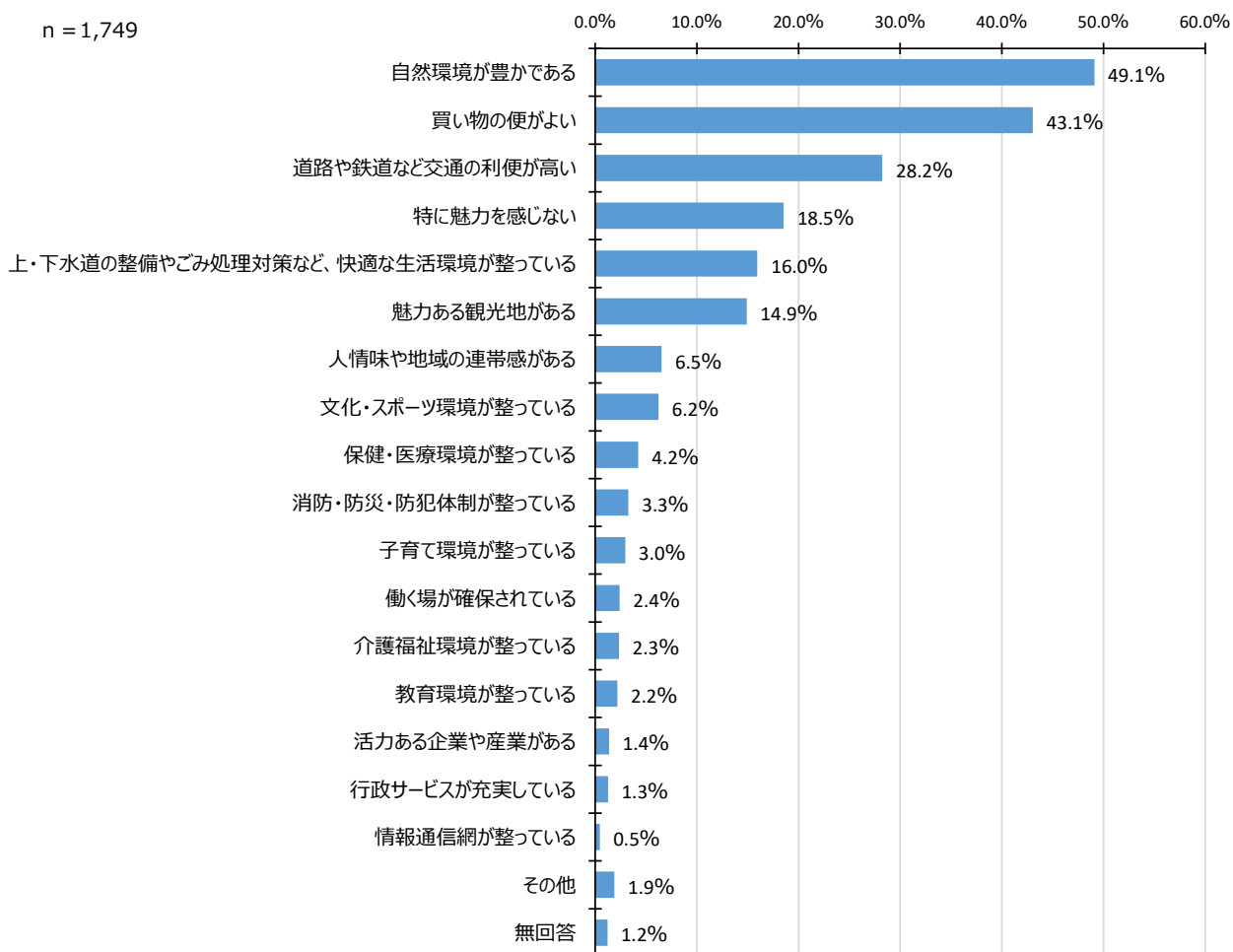
## (2) まちの魅力について

問 あなたは、柴田町のどのようなところが魅力だと思いますか。〈3つまで〇印〉

- 回答者のまちの魅力については、「自然環境が豊かである」が49.1%と最も高く、「買い物の便がよい」が43.1%、「道路や鉄道など交通の利便が高い」が28.2%と続きます。
- 前回調査との比較では「特に魅力を感じない」は8.4ポイント上昇、「自然環境が豊かである」が3.0ポイント減少となっています。

図表 まちの魅力について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自然環境が豊かである	859	49.1%	52.1%	▲ 3.0
2	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境が整っている	279	16.0%	17.9%	▲ 1.9
3	道路や鉄道など交通の利便が高い	494	28.2%	28.9%	▲ 0.7
4	情報通信網が整っている	8	0.5%	0.8%	▲ 0.3
5	消防・防災・防犯体制が整っている	57	3.3%	3.7%	▲ 0.4
6	保健・医療環境が整っている	74	4.2%	6.1%	▲ 1.9
7	介護福祉環境が整っている	41	2.3%	4.0%	▲ 1.7
8	子育て環境が整っている	52	3.0%	4.6%	▲ 1.6
9	教育環境が整っている	38	2.2%	3.4%	▲ 1.2
10	文化・スポーツ環境が整っている	109	6.2%	2.8%	3.4
11	活力ある企業や産業がある	24	1.4%	1.5%	▲ 0.1
12	買い物の便がよい	753	43.1%	44.1%	▲ 1.0
13	働く場が確保されている	42	2.4%	2.9%	▲ 0.5
14	人情味や地域の連帯感がある	114	6.5%	8.4%	▲ 1.9
15	行政サービスが充実している	22	1.3%	2.3%	▲ 1.0
16	魅力ある観光地がある	261	14.9%	15.8%	▲ 0.9
17	特に魅力を感じない	324	18.5%	10.1%	8.4
18	その他	33	1.9%	2.9%	▲ 1.0
	無回答	21	1.2%	3.2%	▲ 2.0

- 性別によるまちの魅力についてみると、男女とも回答全体と同様に「自然環境が豊かである」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの魅力についてみると、各年代とも「自然環境が豊かである」、「買い物の便がよい」、「道路や鉄道など交通の利便が高い」を上位に挙げています。
- そのほか10代で「魅力ある観光地がある」を上位に挙げています。

図表 まちの魅力について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	自然環境が豊かである 48.8%	買い物の便がよい 41.2%	道路や鉄道など交通の利便が高い 32.8%
女性 (n=917)	自然環境が豊かである 49.7%	買い物の便がよい 44.8%	道路や鉄道など交通の利便が高い 24.4%
10代 (n=51)	自然環境が豊かである 54.9%	買い物の便がよい 特に魅力を感じない 23.5%	魅力ある観光地がある 21.6%
20代 (n=51)	自然環境が豊かである 41.2%	買い物の便がよい 37.3%	道路や鉄道など交通の利便が高い 特に魅力を感じない 21.6%

	第1位	第2位	第3位
30代 (n=251)	買い物の便がよい	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い
	45.8%	39.8%	28.3%
40代 (n=378)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	48.7%	43.9%	29.1%
50代 (n=421)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	51.3%	44.4%	27.6%
60代 (n=457)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	51.9%	41.4%	29.1%
70歳以上 (n=136)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	53.7%	47.8%	31.6%

- 居住地区別によるまちの魅力についてみると、各地区とも「自然環境が豊かである」、「道路や鉄道など交通の利便が高い」を上位に挙げています。
- そのほか船岡小学校区、東船岡小学校区、船迫小学校区、西住小学校区は「買い物の便がよい」を上位に挙げています。

図表 まちの魅力について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	買い物の便がよい	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い
	49.7%	46.1%	32.1%
東船岡小学校区 (n=247)	買い物の便がよい	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い
	64.8%	44.9%	19.8%
槻木小学校区 (n=478)	自然環境が豊かである	道路や鉄道など交通の利便が高い	特に魅力を感じない
	52.3%	30.1%	24.9%
柴田小学校区 (n=74)	自然環境が豊かである	特に魅力を感じない	道路や鉄道など交通の利便が高い
	58.1%	28.4%	23.0%
船迫小学校区 (n=361)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	51.2%	49.9%	28.5%
西住小学校区 (n=80)	自然環境が豊かである	買い物の便がよい	道路や鉄道など交通の利便が高い
	48.8%	45.0%	26.3%

### (3) まちの不十分なところについて

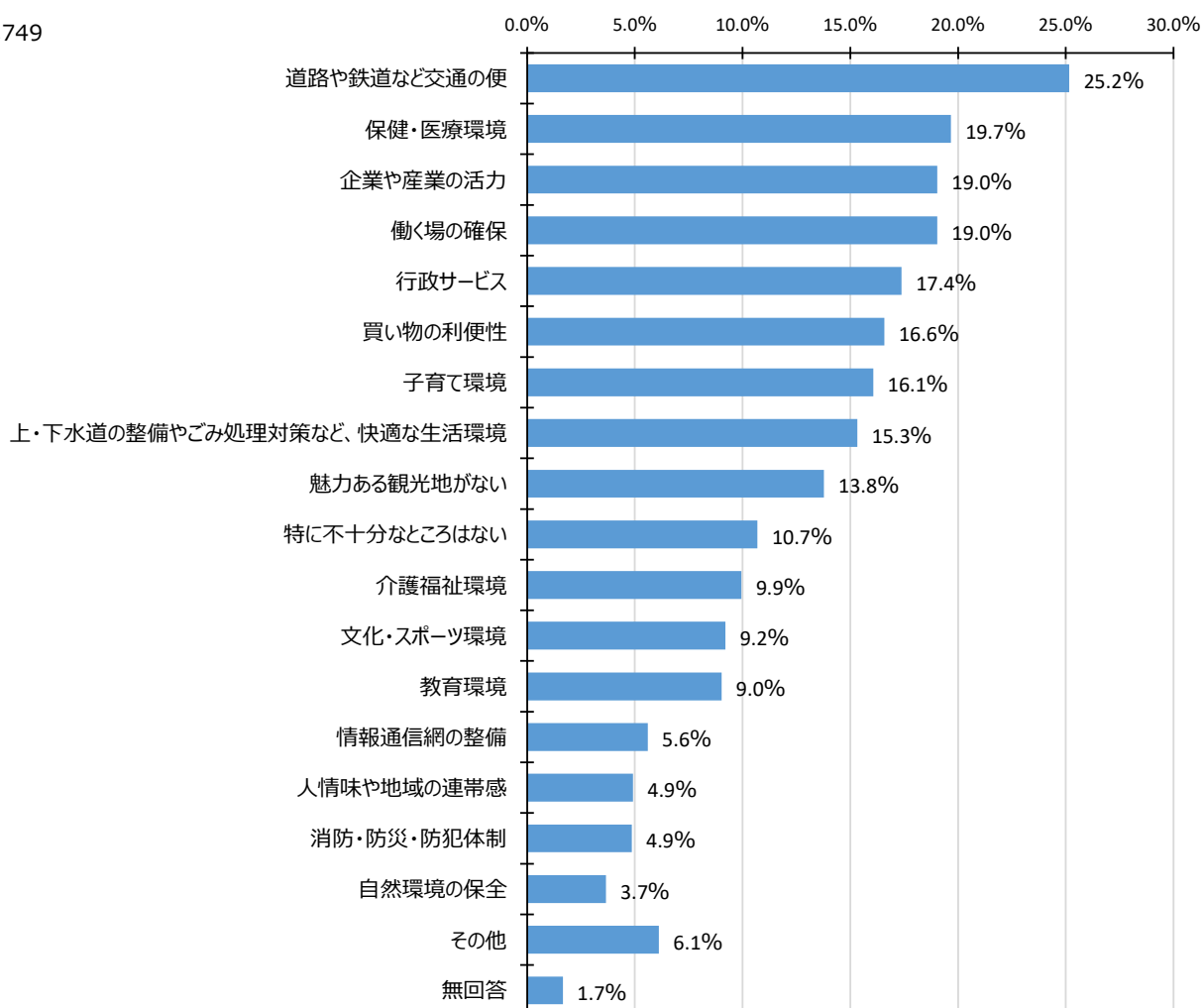
問 あなたは、柴田町のどのようなところが不十分だと思いますか。 <3 つまで○印>

- 回答者のまちの不十分なところについては、「道路や鉄道など交通の便」が 25.2%と最も高く、「保健・医療環境」が 19.7%、「企業や産業の活力」、「働く場の確保」がともに 19.0%と続きます。
- 前回調査との比較では「子育て環境」が 5.2 ポイント上昇、「文化・スポーツ環境」が 7.1 ポイント減少となっています。

図表 まちの不十分なところについて

(※下記グラフは降順です)

n = 1,749



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自然環境の保全	64	3.7%	3.4%	0.3
2	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境	268	15.3%	17.4%	▲ 2.1
3	道路や鉄道など交通の便	440	25.2%	22.5%	2.7
4	情報通信網の整備	98	5.6%	6.8%	▲ 1.2
5	消防・防災・防犯体制	85	4.9%	8.1%	▲ 3.2
6	保健・医療環境	344	19.7%	20.8%	▲ 1.1
7	介護福祉環境	174	9.9%	10.3%	▲ 0.4
8	子育て環境	281	16.1%	10.9%	5.2
9	教育環境	158	9.0%	6.5%	2.5
10	文化・スポーツ環境	161	9.2%	16.3%	▲ 7.1
11	企業や産業の活力	333	19.0%	16.7%	2.3
12	買い物の利便性	290	16.6%	15.0%	1.6
13	働く場の確保	333	19.0%	17.5%	1.5
14	人情味や地域の連帯感	86	4.9%	5.4%	▲ 0.5
15	行政サービス	304	17.4%	13.1%	4.3
16	魅力ある観光地がない	241	13.8%	12.2%	1.6
17	特に不十分なところはない	187	10.7%	9.7%	1.0
18	その他	107	6.1%	5.7%	0.4
	無回答	29	1.7%	4.2%	▲ 2.5

- 性別によるまちの不十分なところについてみると、男女とも回答全体と同様に「道路や鉄道など交通の便」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの不十分なところについてみると、各年代とも「道路や鉄道など交通の便」を上位に挙げています。
- そのほか10～20代で「買い物の利便性」、20～50代は「働く場の確保」、60代以上は「保健・医療環境」を上位に挙げています。

図表 まちの不十分なところについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	道路や鉄道など交通の便 22.8%	企業や産業の活力 20.7%	保健・医療環境 19.5%
女性 (n=917)	道路や鉄道など交通の便 27.2%	保健・医療環境 20.0%	働く場の確保 19.4%
10代 (n=51)	買い物の利便性 37.3%	道路や鉄道など交通の便 23.5%	教育環境 19.6%

	第1位	第2位	第3位
20代 (n=51)	道路や鉄道など交通の便	子育て環境 買い物の利便性	教育環境 魅力ある観光地がない
	41.2%	23.5%	17.6%
30代 (n=251)	子育て環境	道路や鉄道など交通の便	働く場の確保 行政サービス
	36.7%	26.3%	19.9%
40代 (n=378)	道路や鉄道など交通の便	子育て環境	働く場の確保
	25.4%	23.3%	20.1%
50代 (n=421)	道路や鉄道など交通の便	働く場の確保	企業や産業の活力
	27.3%	23.5%	20.0%
60代 (n=457)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力
	26.3%	22.8%	20.4%
70歳以上 (n=136)	企業や産業の活力	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便
	21.3%	20.6%	19.1%

- 居住地区別によるまちの不十分なところについてみると、各地区とも「道路や鉄道など交通の便」、「保健・医療環境」が最も高くなっています。
- そのほか東船岡小学校区、柴田小学校区、西住小学校区は「上・下水道の整備やごみ処理対策 など、快適な生活環境」、船岡小学校区、船迫小学校区、西住小学校区は「企業や産業の活力」、槻木小学校区、柴田小学校は「買い物の利便性」を上位に挙げています。

図表 まちの不十分なところについて（居住地区別：上位3項目）

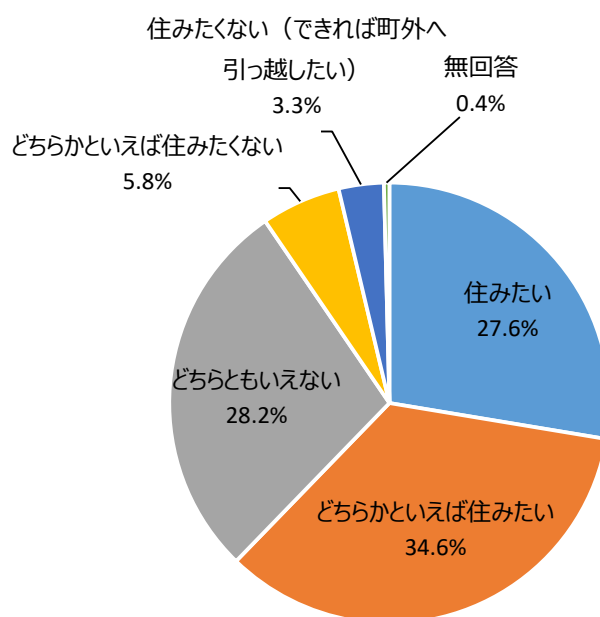
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力
	19.6%	19.4%	19.2%
東船岡小学校区 (n=247)	道路や鉄道など交通の便	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境	保健・医療環境 行政サービス
	33.6%	29.6%	20.6%
槻木小学校区 (n=478)	道路や鉄道など交通の便	買い物の利便性	働く場の確保
	27.0%	23.8%	19.9%
柴田小学校区 (n=74)	道路や鉄道など交通の便	買い物の利便性	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境 働く場の確保
	37.8%	36.5%	18.9%
船迫小学校区 (n=361)	保健・医療環境	道路や鉄道など交通の便	企業や産業の活力
	26.9%	24.1%	22.4%
西住小学校区 (n=80)	企業や産業の活力	道路や鉄道など交通の便 保健・医療環境	上・下水道の整備やごみ処理対策など、快適な生活環境 子育て環境
	22.5%	20.0%	18.8%

## (4) 定住意向について

問 あなたは、これからも柴田町に住みたいと思いますか。〈1つに○印〉

- 回答者の定住意向については、「どちらかといえば住みたい」が34.6%と最も高くなっています。
- 「住みたい」(27.6%)、「どちらかといえば住みたい」(34.6%)を合わせた6割強(62.2%)の方は“住みたい”※と感じている一方で、「どちらかといえば住みたくない」(5.8%)、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」(3.3%)を合わせた1割(9.1%)の方は“住みたくない”※と感じています。
- 前回調査との比較では「どちらともいえない」が4.5ポイント上昇、「住みたい」が6.0ポイント減少となっています。

図表 定住意向について



n=1,749  
(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	住みたい	483	27.6%	33.6%	▲ 6.0
2	どちらかといえば住みたい	606	34.6%	32.9%	1.7
3	どちらともいえない	493	28.2%	23.7%	4.5
4	どちらかといえば住みたくない	102	5.8%	4.4%	1.4
5	住みたくない (できれば町外へ引っ越したい)	58	3.3%	3.3%	0.0
	無回答	7	0.4%	2.3%	▲ 1.9

※ “住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

※ “住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」と回答した方

- 性別による定住意向についてみると、男女とも回答全体と同様に「どちらかといえば住みたい」が最も高くなっています。
- 年齢別による定住意向についてみると、10代は「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、20代は「どちらともいえない」、30～60代は「どちらかといえば住みたい」、70代以上は「住みたい」が最も高くなっています。

図表 定住意向について（性別・年齢別）

	“住みたい”		どちらとも いえない	“住みたくない”		無回答
	住みたい	どちらかとい えば住みたい		どちらかとい えば住みたく ない	住みたくない	
男性 (n=793)	30.6%	33.5%	27.2%	5.5%	2.9%	0.1%
女性 (n=917)	25.4%	36.1%	29.3%	5.9%	2.9%	0.3%
10代 (n=51)	17.6%	31.4%	31.4%	5.9%	13.7%	0.0%
20代 (n=51)	23.5%	23.5%	41.2%	3.9%	7.8%	0.0%
30代 (n=251)	19.9%	33.9%	31.9%	6.8%	7.2%	0.4%
40代 (n=378)	23.3%	37.6%	30.4%	5.6%	3.2%	0.0%
50代 (n=421)	32.8%	33.5%	24.7%	7.1%	1.7%	0.2%
60代 (n=457)	29.3%	35.7%	27.6%	5.3%	1.8%	0.4%
70歳以上 (n=136)	38.2%	34.6%	22.8%	3.7%	0.7%	0.0%

※ “住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

※ “住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない（できれば町外へ引っ越したい）」と回答した方

- 居住地区別による定住意向についてみると、東船岡小学校区は「住みたい」、柴田小学校区は「どちらともいえない」が最も高くなっています。

図表 定住意向について（居住地区別）

	“住みたい”		どちらとも いえない	“住みたくない”		無回答
	住みたい	どちらかとい えば住み たい		どちらかとい えば住みたく ない	住みたくな い	
船岡小学校区 (n=495)	31.3%	37.4%	25.5%	2.8%	3.0%	0.0%
東船岡小学校区 (n=247)	33.2%	32.0%	24.7%	5.7%	4.0%	0.4%
槻木小学校区 (n=478)	22.8%	35.8%	30.3%	8.2%	2.5%	0.4%
柴田小学校区 (n=74)	9.5%	32.4%	41.9%	8.1%	6.8%	1.4%
船迫小学校区 (n=361)	29.4%	32.1%	29.6%	6.4%	2.5%	0.0%
西住小学校区 (n=80)	26.3%	35.0%	23.8%	7.5%	7.5%	0.0%

※ “住みたい”：「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した方

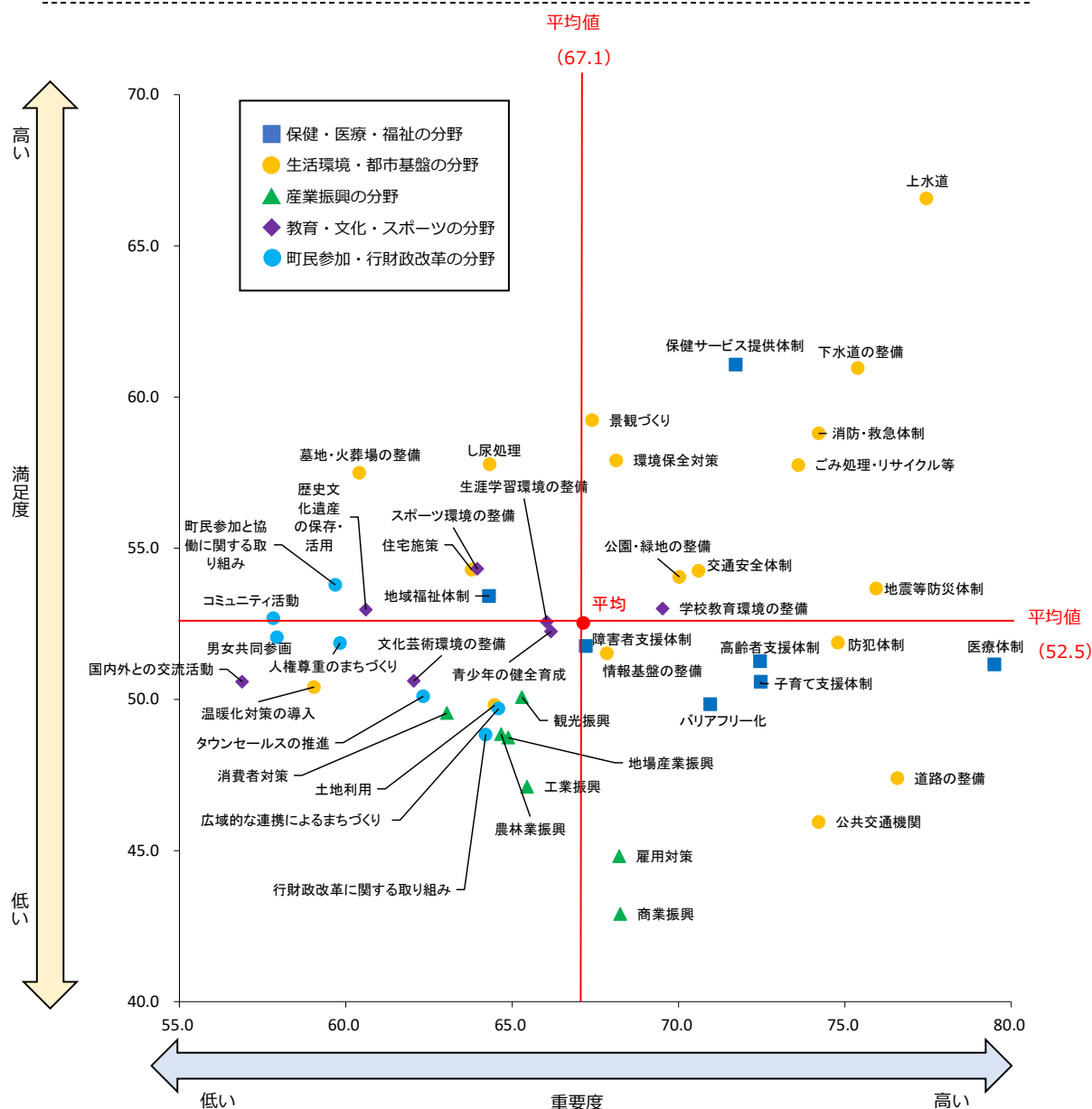
※ “住みたくない”：「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない（できれば町外へ引っ越したい）」と回答した方

### 3. まちの現状と今後の取り組みについて

まちの現状と今後の取り組みについては、回答の構成比に加え、満足度×重要度アンケート調査の結果から、本町がこれまで進めてきた46の施策に対する満足度・重要度を点数化し、分布図に示します。

満足度・重要度の点数化にあたっては、各施策に対する回答を次のとおり点数化し、無回答は除く回答者の平均値を算出します。

満足度	重要度
満足している (100点)	重視する (100点)
どちらかといえば満足している (75点)	やや重視する (75点)
どちらともいえない (50点)	どちらともいえない (50点)
どちらかといえば不満である (25点)	あまり重視しない (25点)
不満である (0点)	重視しない (0点)



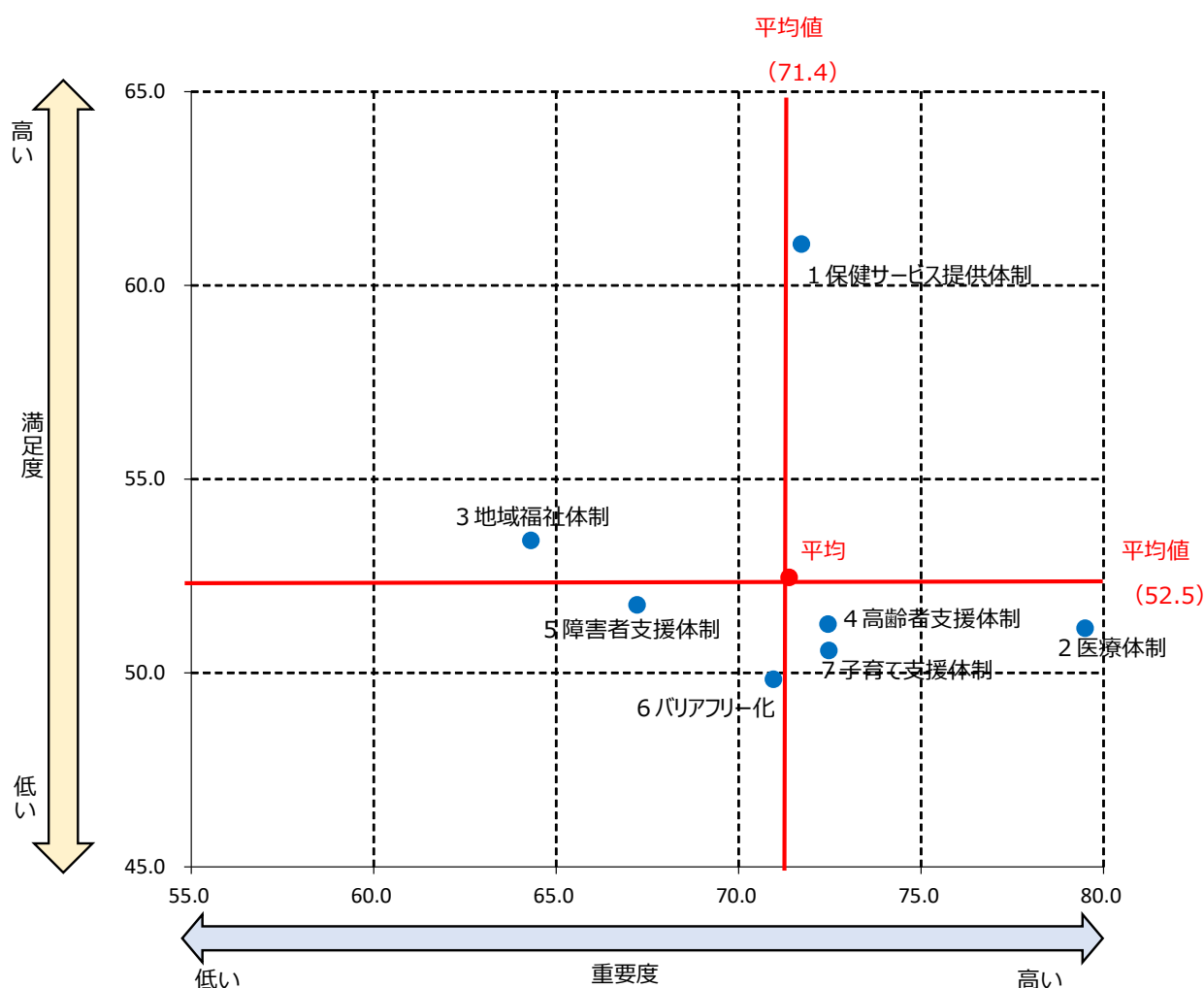
## (1) 各施策の満足度・重要度について

問 柴田町では、第6次総合計画後期基本計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目について満足度・重要度をおたずねします。<満足度・重要度それぞれ1つに○印>

### ① 保健・医療・福祉の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「保健サービス提供体制」、重要度は「医療体制」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「バリアフリー化」の満足度が1.20ポイント上昇、「保健サービス提供体制」の重要度が2.45ポイント減少となっています。

図表 保健・医療・福祉分野の満足度×重要度

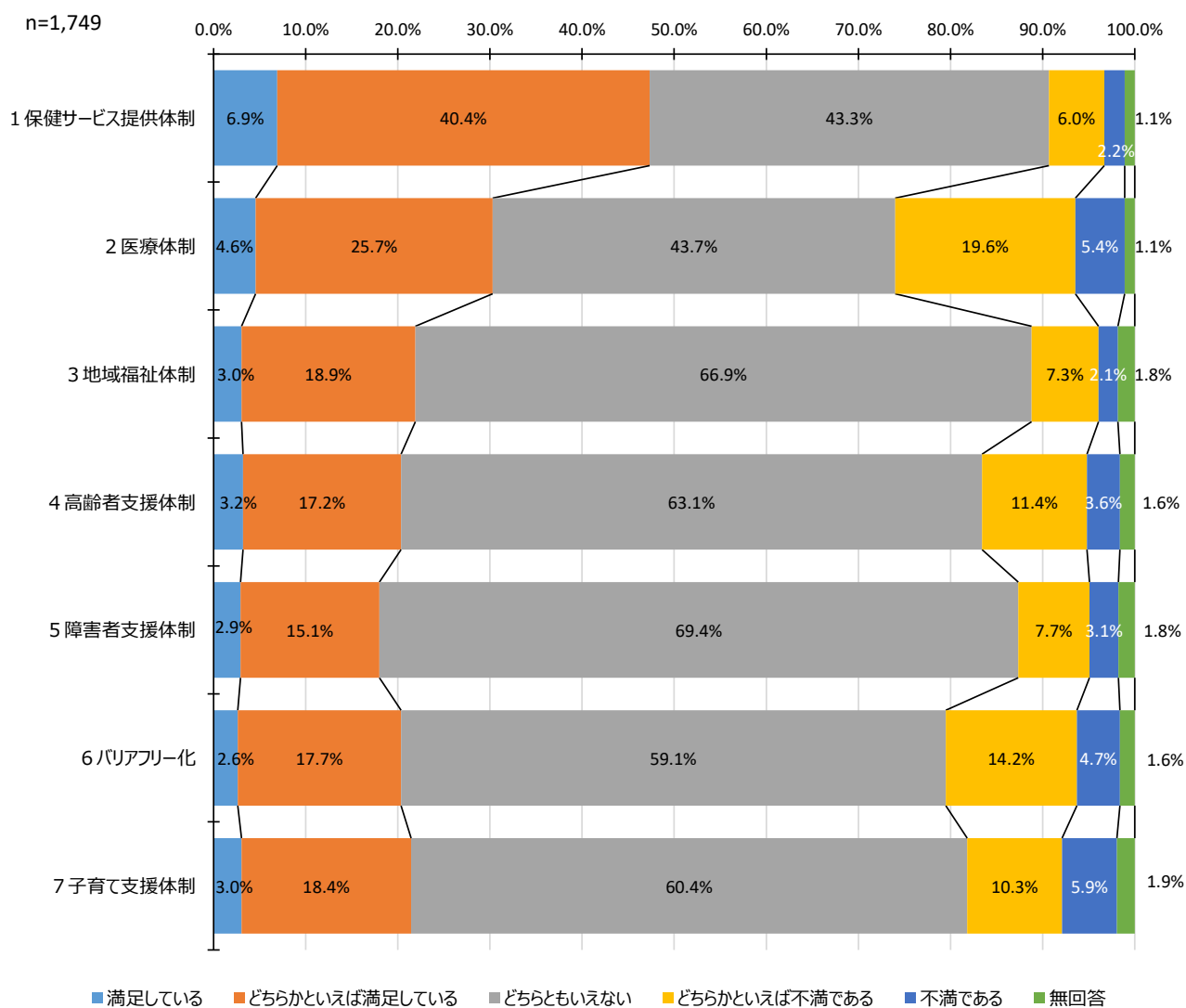


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	61.07	71.72	62.09	74.17	▲ 1.02	▲ 2.45
2	医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	51.16	79.50	51.67	80.52	▲ 0.51	▲ 1.02
3	地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	53.42	64.31	54.08	65.96	▲ 0.66	▲ 1.65
4	高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	51.26	72.45	52.64	72.79	▲ 1.38	▲ 0.34
5	障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	51.76	67.22	52.01	67.50	▲ 0.25	▲ 0.28
6	バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	49.84	70.95	48.64	72.27	1.20	▲ 1.32
7	子育て支援体制（保育・相談の充実、交流の場の提供、子ども医療費助成等）	50.58	72.47	53.90	74.10	▲ 3.32	▲ 1.63

## ◎ 保健・医療・福祉の分野（満足度）

- 保健・医療・福祉の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「保健サービス提供体制」（47.3%）、「医療体制」（30.3%）、「地域福祉体制」（21.9%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「医療体制」（25.0%）、「バリアフリー化」（18.9%）、「子育て支援体制」（16.2%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「子育て支援体制」に対する「どちらともいえない」が5.0ポイント上昇、「子育て支援体制」に対する「どちらかといえば満足している」が4.5ポイント減少となっています。

図表 保健・医療・福祉の分野（満足度）



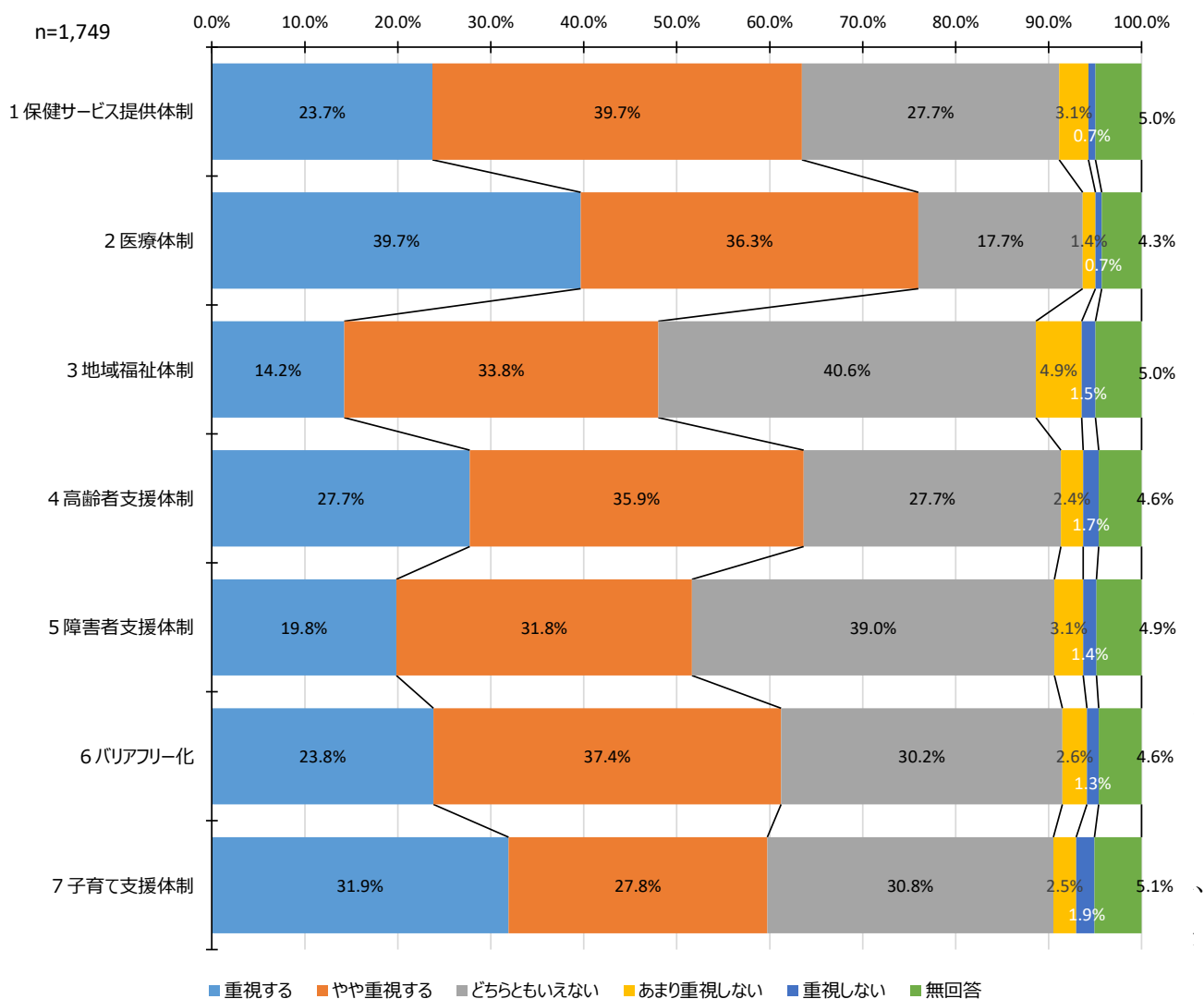
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	1	満足している	121	6.9%	6.9%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	707	40.4%	41.4%	▲ 1.0
		3	どちらともいえない	758	43.3%	41.8%	1.5
		4	どちらかといえば不満である	105	6.0%	5.0%	1.0
		5	不満である	39	2.2%	1.7%	0.5
			無回答	19	1.1%	3.1%	▲ 2.0
2	医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	1	満足している	80	4.6%	4.1%	0.5
		2	どちらかといえば満足している	450	25.7%	27.6%	▲ 1.9
		3	どちらともいえない	764	43.7%	40.8%	2.9
		4	どちらかといえば不満である	342	19.6%	19.6%	0.0
		5	不満である	94	5.4%	4.9%	0.5
			無回答	19	1.1%	3.0%	▲ 1.9
3	地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	1	満足している	53	3.0%	3.4%	▲ 0.4
		2	どちらかといえば満足している	330	18.9%	20.1%	▲ 1.2
		3	どちらともいえない	1,170	66.9%	63.4%	3.5
		4	どちらかといえば不満である	127	7.3%	7.5%	▲ 0.2
		5	不満である	37	2.1%	1.9%	0.2
			無回答	32	1.8%	3.7%	▲ 1.9
4	高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	1	満足している	56	3.2%	3.8%	▲ 0.6
		2	どちらかといえば満足している	300	17.2%	18.9%	▲ 1.7
		3	どちらともいえない	1,103	63.1%	60.7%	2.4
		4	どちらかといえば不満である	199	11.4%	11.0%	0.4
		5	不満である	63	3.6%	2.6%	1.0
			無回答	28	1.6%	3.0%	▲ 1.4
5	障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	1	満足している	51	2.9%	3.1%	▲ 0.2
		2	どちらかといえば満足している	264	15.1%	14.2%	0.9
		3	どちらともいえない	1,213	69.4%	68.3%	1.1
		4	どちらかといえば不満である	135	7.7%	7.7%	0.0
		5	不満である	55	3.1%	2.5%	0.6
			無回答	31	1.8%	4.2%	▲ 2.4
6	バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	1	満足している	46	2.6%	2.9%	▲ 0.3
		2	どちらかといえば満足している	310	17.7%	16.0%	1.7
		3	どちらともいえない	1,034	59.1%	55.7%	3.4
		4	どちらかといえば不満である	249	14.2%	17.3%	▲ 3.1
		5	不満である	82	4.7%	4.8%	▲ 0.1
			無回答	28	1.6%	3.3%	▲ 1.7
7	子育て支援体制（保育・相談の充実、交流の場の提供、子ども医療費助成等）	1	満足している	53	3.0%	4.4%	▲ 1.4
		2	どちらかといえば満足している	322	18.4%	22.9%	▲ 4.5
		3	どちらともいえない	1,056	60.4%	55.4%	5.0
		4	どちらかといえば不満である	180	10.3%	9.9%	0.4
		5	不満である	104	5.9%	3.4%	2.5
			無回答	34	1.9%	4.1%	▲ 2.2

## ◎ 保健・医療・福祉の分野（重要度）

- 保健・医療・福祉の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「医療体制」（76.0%）、「高齢者支援体制」（63.6%）、「保健サービス提供体制」（63.4%）が上位にあります。
- 保健・医療・福祉の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「地域福祉体制」（6.4%）、「障害者支援体制」（4.5%）、「子育て支援体制」（4.4%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「保健サービス提供体制」に対する「どちらともいえない」が3.8ポイント上昇、「保健サービス提供体制」に対する「重視する」が4.0ポイント減少となっています。

図表 保健・医療・福祉の分野（重要度）



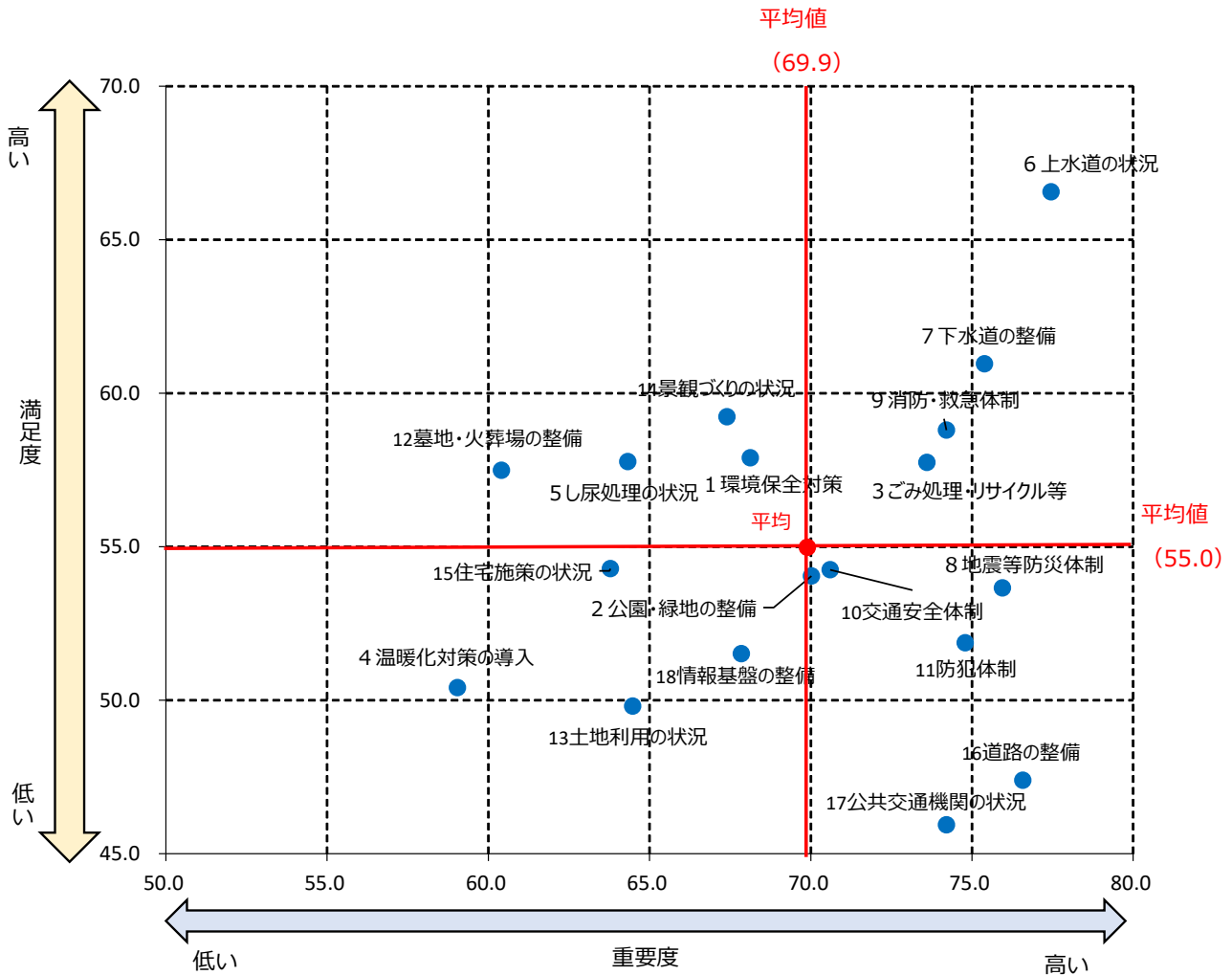
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	保健サービス提供体制（健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等）	1	重視する	415	23.7%	27.7%	▲ 4.0
		2	やや重視する	695	39.7%	37.7%	2.0
		3	どちらともいえない	484	27.7%	23.9%	3.8
		4	あまり重視しない	55	3.1%	2.8%	0.3
		5	重視しない	13	0.7%	0.4%	0.3
			無回答	87	5.0%	7.4%	▲ 2.4
2	医療体制（地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等）	1	重視する	694	39.7%	41.5%	▲ 1.8
		2	やや重視する	635	36.3%	32.6%	3.7
		3	どちらともいえない	309	17.7%	17.0%	0.7
		4	あまり重視しない	24	1.4%	1.2%	0.2
		5	重視しない	12	0.7%	0.5%	0.2
			無回答	75	4.3%	7.0%	▲ 2.7
3	地域福祉体制（地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等）	1	重視する	249	14.2%	15.6%	▲ 1.4
		2	やや重視する	591	33.8%	33.8%	0.0
		3	どちらともいえない	710	40.6%	38.5%	2.1
		4	あまり重視しない	86	4.9%	3.5%	1.4
		5	重視しない	26	1.5%	1.2%	0.3
			無回答	87	5.0%	7.3%	▲ 2.3
4	高齢者支援体制（福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等）	1	重視する	485	27.7%	27.5%	0.2
		2	やや重視する	628	35.9%	35.1%	0.8
		3	どちらともいえない	484	27.7%	25.9%	1.8
		4	あまり重視しない	42	2.4%	2.7%	▲ 0.3
		5	重視しない	29	1.7%	1.5%	0.2
			無回答	81	4.6%	7.4%	▲ 2.8
5	障害者支援体制（障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等）	1	重視する	347	19.8%	19.7%	0.1
		2	やや重視する	556	31.8%	30.1%	1.7
		3	どちらともいえない	682	39.0%	38.8%	0.2
		4	あまり重視しない	54	3.1%	2.7%	0.4
		5	重視しない	25	1.4%	1.1%	0.3
			無回答	85	4.9%	7.6%	▲ 2.7
6	バリアフリー化（段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等）	1	重視する	417	23.8%	25.4%	▲ 1.6
		2	やや重視する	654	37.4%	36.0%	1.4
		3	どちらともいえない	529	30.2%	28.1%	2.1
		4	あまり重視しない	46	2.6%	2.7%	▲ 0.1
		5	重視しない	22	1.3%	0.7%	0.6
			無回答	81	4.6%	7.1%	▲ 2.5
7	子育て支援体制（保育・相談の充実、交流の場の提供、子ども医療費助成等）	1	重視する	558	31.9%	31.9%	0.0
		2	やや重視する	487	27.8%	29.6%	▲ 1.8
		3	どちらともいえない	538	30.8%	27.6%	3.2
		4	あまり重視しない	43	2.5%	2.4%	0.1
		5	重視しない	34	1.9%	1.0%	0.9
			無回答	89	5.1%	7.5%	▲ 2.4

## ② 生活環境・都市基盤の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「上水道の状況」、重要度は「上水道の状況」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「下水道の整備」の満足度が 2.84 ポイント上昇、「土地利用の状況」の重要度が 2.38 ポイント上昇となっています。

図表 生活環境・都市基盤の分野の満足度×重要度



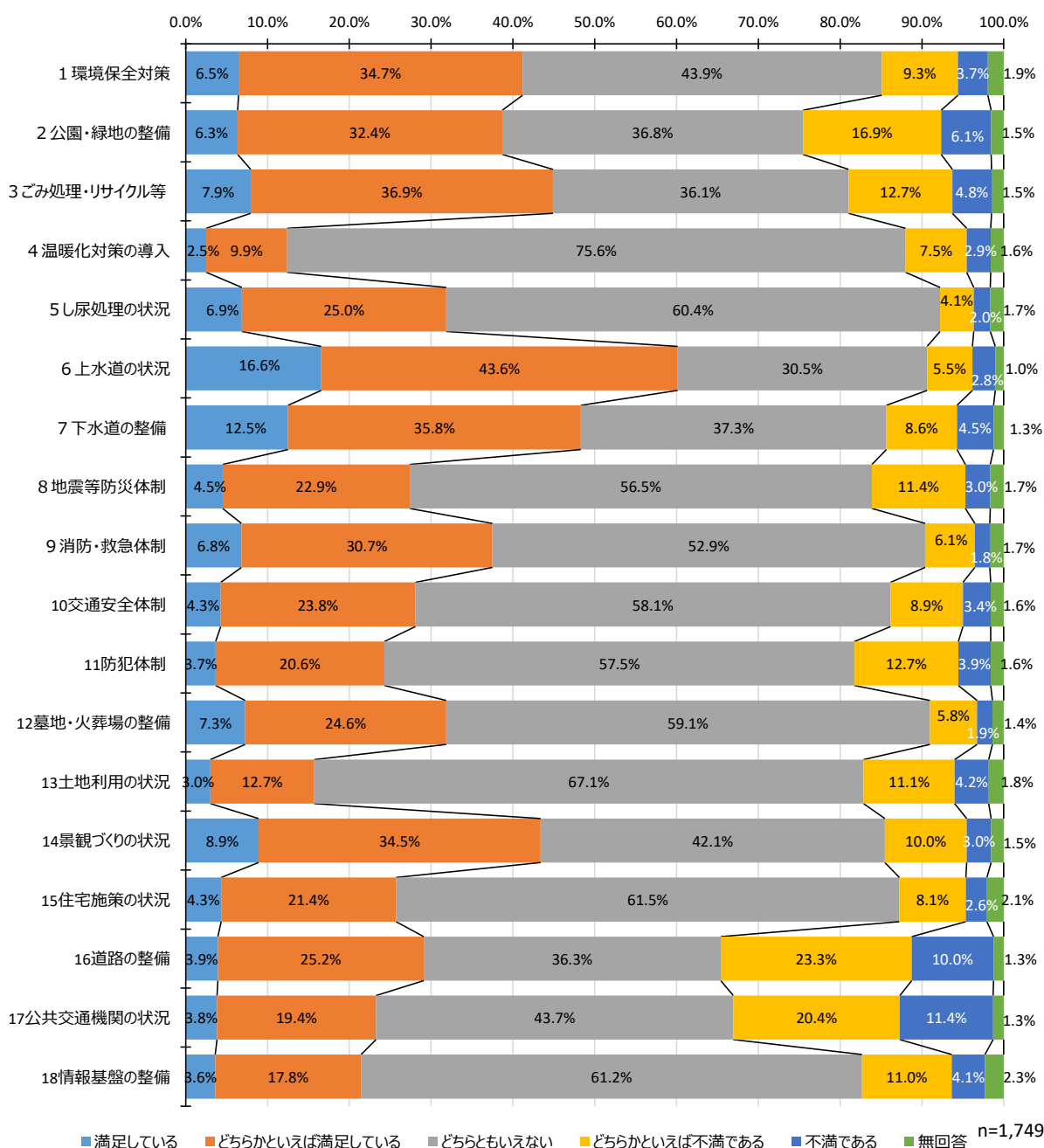
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	57.90	68.13	57.59	69.35	0.31	▲ 1.22
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	54.05	70.02	55.11	70.68	▲ 1.06	▲ 0.66
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	57.75	73.60	58.65	74.28	▲ 0.90	▲ 0.68
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	50.41	59.04	49.09	64.30	1.32	▲ 5.26
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	57.78	64.33	58.25	64.87	▲ 0.47	▲ 0.54
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	66.57	77.45	65.37	76.21	1.20	1.24
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	60.96	75.39	58.12	73.86	2.84	1.53
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	53.66	75.94	51.13	77.61	2.53	▲ 1.67
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	58.80	74.21	57.85	73.77	0.95	0.44
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	54.26	70.60	53.96	71.12	0.30	▲ 0.52
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	51.87	74.79	51.80	73.95	0.07	0.84
12	墓地・火葬場の整備	57.49	60.40	58.62	60.93	▲ 1.13	▲ 0.53
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	49.81	64.47	49.54	62.09	0.27	2.38
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	59.23	67.40	58.87	66.90	0.36	0.50
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	54.29	63.78	53.73	62.77	0.56	1.01
16	道路（国道、県道、町道）の整備	47.39	76.58	46.80	75.72	0.59	0.86
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	45.94	74.21	48.54	72.87	▲ 2.60	1.34
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	51.52	67.85	50.90	68.81	0.62	▲ 0.96

## ◎ 生活環境・都市基盤の分野（満足度）

- 生活環境・都市基盤の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「上水道の状況」（60.2%）、「下水道の整備」（48.3%）、「ごみ処理・リサイクル等」（44.8%）が上位にあります。
- 生活環境・都市基盤の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「道路の整備」（33.3%）、「公共交通機関の状況」（31.8%）、「公園・緑地の整備」（23.0%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「下水道の整備」に対する「どちらかといえば満足している」が5.5ポイント上昇、「上水道の状況」に対する「どちらともいえない」が3.9ポイント減少となっています。

図表 生活環境・都市基盤の分野（満足度）



(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

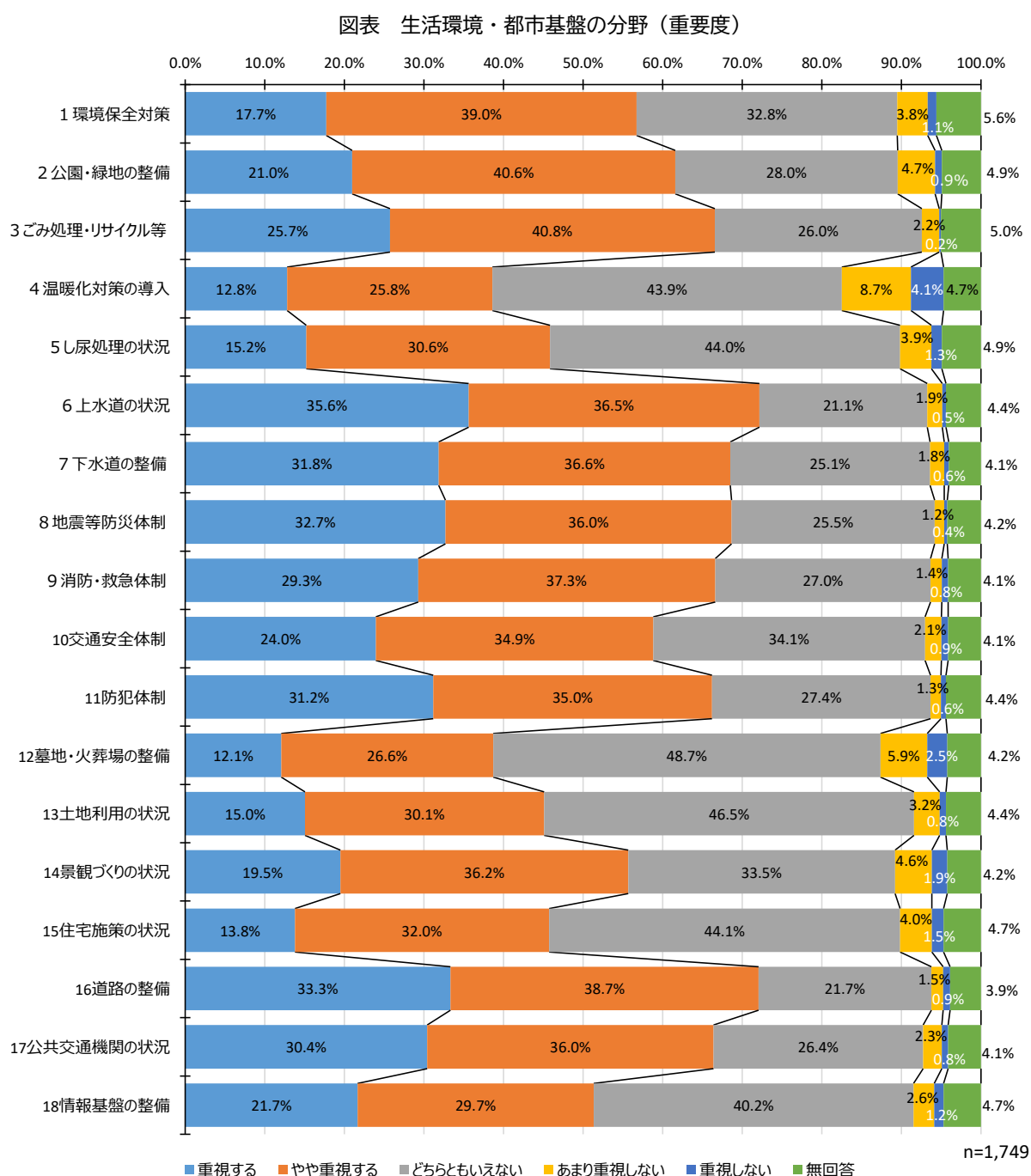
			回答数	構成比	前回値	比較	
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	1	満足している	113	6.5%	6.1%	0.4
		2	どちらかといえば満足している	607	34.7%	33.3%	1.4
		3	どちらともいえない	768	43.9%	43.6%	0.3
		4	どちらかといえば不満である	163	9.3%	9.9%	▲ 0.6
		5	不満である	64	3.7%	3.2%	0.5
			無回答	34	1.9%	3.9%	▲ 2.0
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	1	満足している	111	6.3%	7.2%	▲ 0.9
		2	どちらかといえば満足している	566	32.4%	32.4%	0.0
		3	どちらともいえない	643	36.8%	36.2%	0.6
		4	どちらかといえば不満である	295	16.9%	16.2%	0.7
		5	不満である	107	6.1%	5.3%	0.8
			無回答	27	1.5%	2.7%	▲ 1.2
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	1	満足している	139	7.9%	8.7%	▲ 0.8
		2	どちらかといえば満足している	646	36.9%	36.5%	0.4
		3	どちらともいえない	632	36.1%	36.0%	0.1
		4	どちらかといえば不満である	222	12.7%	11.8%	0.9
		5	不満である	84	4.8%	4.2%	0.6
			無回答	26	1.5%	2.8%	▲ 1.3
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	1	満足している	44	2.5%	2.0%	0.5
		2	どちらかといえば満足している	173	9.9%	7.1%	2.8
		3	どちらともいえない	1,322	75.6%	75.6%	0.0
		4	どちらかといえば不満である	131	7.5%	8.9%	▲ 1.4
		5	不満である	51	2.9%	2.8%	0.1
			無回答	28	1.6%	3.5%	▲ 1.9
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	1	満足している	120	6.9%	7.8%	▲ 0.9
		2	どちらかといえば満足している	437	25.0%	25.4%	▲ 0.4
		3	どちらともいえない	1,056	60.4%	56.0%	4.4
		4	どちらかといえば不満である	72	4.1%	5.0%	▲ 0.9
		5	不満である	35	2.0%	2.1%	▲ 0.1
			無回答	29	1.7%	3.7%	▲ 2.0
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	1	満足している	290	16.6%	15.3%	1.3
		2	どちらかといえば満足している	762	43.6%	39.2%	4.4
		3	どちらともいえない	533	30.5%	34.4%	▲ 3.9
		4	どちらかといえば不満である	97	5.5%	5.6%	▲ 0.1
		5	不満である	49	2.8%	2.4%	0.4
			無回答	18	1.0%	3.2%	▲ 2.2
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	1	満足している	219	12.5%	11.0%	1.5
		2	どちらかといえば満足している	626	35.8%	30.3%	5.5
		3	どちらともいえない	653	37.3%	39.8%	▲ 2.5
		4	どちらかといえば不満である	151	8.6%	9.7%	▲ 1.1
		5	不満である	78	4.5%	5.7%	▲ 1.2
			無回答	22	1.3%	3.5%	▲ 2.2

				回答数	構成比	前回値	比較
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	1	満足している	79	4.5%	4.0%	0.5
		2	どちらかといえば満足している	400	22.9%	21.1%	1.8
		3	どちらともいえない	988	56.5%	51.9%	4.6
		4	どちらかといえば不満である	200	11.4%	15.0%	▲ 3.6
		5	不満である	53	3.0%	4.8%	▲ 1.8
			無回答	29	1.7%	3.3%	▲ 1.6
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	1	満足している	119	6.8%	6.2%	0.6
		2	どちらかといえば満足している	537	30.7%	27.2%	3.5
		3	どちらともいえない	925	52.9%	55.7%	▲ 2.8
		4	どちらかといえば不満である	106	6.1%	5.4%	0.7
		5	不満である	32	1.8%	2.0%	▲ 0.2
			無回答	30	1.7%	3.4%	▲ 1.7
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	1	満足している	75	4.3%	4.7%	▲ 0.4
		2	どちらかといえば満足している	416	23.8%	22.4%	1.4
		3	どちらともいえない	1,016	58.1%	55.5%	2.6
		4	どちらかといえば不満である	155	8.9%	10.6%	▲ 1.7
		5	不満である	59	3.4%	3.0%	0.4
			無回答	28	1.6%	3.7%	▲ 2.1
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	1	満足している	64	3.7%	4.3%	▲ 0.6
		2	どちらかといえば満足している	361	20.6%	19.4%	1.2
		3	どちらともいえない	1,005	57.5%	55.3%	2.2
		4	どちらかといえば不満である	222	12.7%	13.7%	▲ 1.0
		5	不満である	69	3.9%	3.7%	0.2
			無回答	28	1.6%	3.7%	▲ 2.1
12	墓地・火葬場の整備	1	満足している	127	7.3%	9.4%	▲ 2.1
		2	どちらかといえば満足している	430	24.6%	24.1%	0.5
		3	どちらともいえない	1,034	59.1%	55.4%	3.7
		4	どちらかといえば不満である	101	5.8%	5.8%	0.0
		5	不満である	33	1.9%	1.9%	0.0
			無回答	24	1.4%	3.3%	▲ 1.9
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	1	満足している	53	3.0%	2.5%	0.5
		2	どちらかといえば満足している	222	12.7%	10.4%	2.3
		3	どちらともいえない	1,174	67.1%	68.7%	▲ 1.6
		4	どちらかといえば不満である	195	11.1%	10.4%	0.7
		5	不満である	73	4.2%	3.4%	0.8
			無回答	32	1.8%	4.5%	▲ 2.7
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	1	満足している	156	8.9%	9.4%	▲ 0.5
		2	どちらかといえば満足している	603	34.5%	33.6%	0.9
		3	どちらともいえない	736	42.1%	39.6%	2.5
		4	どちらかといえば不満である	175	10.0%	10.4%	▲ 0.4
		5	不満である	52	3.0%	3.8%	▲ 0.8
			無回答	27	1.5%	3.2%	▲ 1.7

				回答数	構成比	前回値	比較
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	1	満足している	76	4.3%	4.2%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	374	21.4%	19.8%	1.6
		3	どちらともいえない	1,076	61.5%	60.7%	0.8
		4	どちらかといえば不満である	142	8.1%	8.9%	▲ 0.8
		5	不満である	45	2.6%	2.4%	0.2
			無回答	36	2.1%	4.0%	▲ 1.9
16	道路（国道、県道、町道）の整備	1	満足している	69	3.9%	4.9%	▲ 1.0
		2	どちらかといえば満足している	440	25.2%	21.2%	4.0
		3	どちらともいえない	635	36.3%	37.5%	▲ 1.2
		4	どちらかといえば不満である	408	23.3%	22.9%	0.4
		5	不満である	175	10.0%	10.3%	▲ 0.3
			無回答	22	1.3%	3.2%	▲ 1.9
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	1	満足している	67	3.8%	4.5%	▲ 0.7
		2	どちらかといえば満足している	340	19.4%	20.7%	▲ 1.3
		3	どちらともいえない	764	43.7%	44.8%	▲ 1.1
		4	どちらかといえば不満である	356	20.4%	18.0%	2.4
		5	不満である	199	11.4%	8.6%	2.8
			無回答	23	1.3%	3.3%	▲ 2.0
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	1	満足している	63	3.6%	4.1%	▲ 0.5
		2	どちらかといえば満足している	312	17.8%	14.8%	3.0
		3	どちらともいえない	1,071	61.2%	58.0%	3.2
		4	どちらかといえば不満である	192	11.0%	11.3%	▲ 0.3
		5	不満である	71	4.1%	4.2%	▲ 0.1
			無回答	40	2.3%	7.6%	▲ 5.3

## ◎ 生活環境・都市基盤の分野（重要度）

- 生活環境・都市基盤の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「上水道の状況」（72.1%）、「道路の整備」（72.0%）、「地震等防災体制」（68.7%）が上位にあります。
- 生活環境・都市基盤の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「温暖化対策の導入」（12.8%）、「墓地・火葬場の整備」（8.4%）、「景観づくりの状況」（6.5%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「情報基盤の整備」に対する「どちらともいえない」が5.2ポイント上昇、「土地利用の状況」に対する「どちらともいえない」が5.9ポイント減少となっています。



(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

			回答数	構成比	前回値	比較	
1	環境保全対策（公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等）	1	重視する	310	17.7%	18.7%	▲ 1.0
		2	やや重視する	682	39.0%	38.5%	0.5
		3	どちらともいえない	573	32.8%	30.0%	2.8
		4	あまり重視しない	67	3.8%	2.7%	1.1
		5	重視しない	19	1.1%	1.3%	▲ 0.2
			無回答	98	5.6%	8.8%	▲ 3.2
2	公園・緑地（身近な公園・広場、緑地、河川等）の整備	1	重視する	367	21.0%	21.1%	▲ 0.1
		2	やや重視する	710	40.6%	40.1%	0.5
		3	どちらともいえない	489	28.0%	25.6%	2.4
		4	あまり重視しない	82	4.7%	4.0%	0.7
		5	重視しない	15	0.9%	1.1%	▲ 0.2
			無回答	86	4.9%	8.1%	▲ 3.2
3	ごみ処理・リサイクル等（収集・処理の充実、リサイクルの促進等）	1	重視する	450	25.7%	25.6%	0.1
		2	やや重視する	714	40.8%	41.6%	▲ 0.8
		3	どちらともいえない	455	26.0%	21.3%	4.7
		4	あまり重視しない	38	2.2%	2.1%	0.1
		5	重視しない	4	0.2%	0.9%	▲ 0.7
			無回答	88	5.0%	8.5%	▲ 3.5
4	温暖化対策（低公害車・太陽光等）の導入	1	重視する	224	12.8%	16.2%	▲ 3.4
		2	やや重視する	451	25.8%	30.0%	▲ 4.2
		3	どちらともいえない	768	43.9%	39.9%	4.0
		4	あまり重視しない	152	8.7%	4.6%	4.1
		5	重視しない	72	4.1%	2.3%	1.8
			無回答	82	4.7%	6.9%	▲ 2.2
5	し尿処理（適切な収集・処理の推進）の状況	1	重視する	266	15.2%	15.8%	▲ 0.6
		2	やや重視する	536	30.6%	28.9%	1.7
		3	どちらともいえない	769	44.0%	44.3%	▲ 0.3
		4	あまり重視しない	69	3.9%	2.8%	1.1
		5	重視しない	23	1.3%	1.2%	0.1
			無回答	86	4.9%	7.0%	▲ 2.1
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	1	重視する	623	35.6%	33.7%	1.9
		2	やや重視する	639	36.5%	33.6%	2.9
		3	どちらともいえない	369	21.1%	23.5%	▲ 2.4
		4	あまり重視しない	33	1.9%	1.9%	0.0
		5	重視しない	8	0.5%	0.6%	▲ 0.1
			無回答	77	4.4%	6.7%	▲ 2.3
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	1	重視する	557	31.8%	28.5%	3.3
		2	やや重視する	641	36.6%	35.0%	1.6
		3	どちらともいえない	439	25.1%	27.5%	▲ 2.4
		4	あまり重視しない	31	1.8%	2.1%	▲ 0.3
		5	重視しない	10	0.6%	0.4%	0.2
			無回答	71	4.1%	6.6%	▲ 2.5

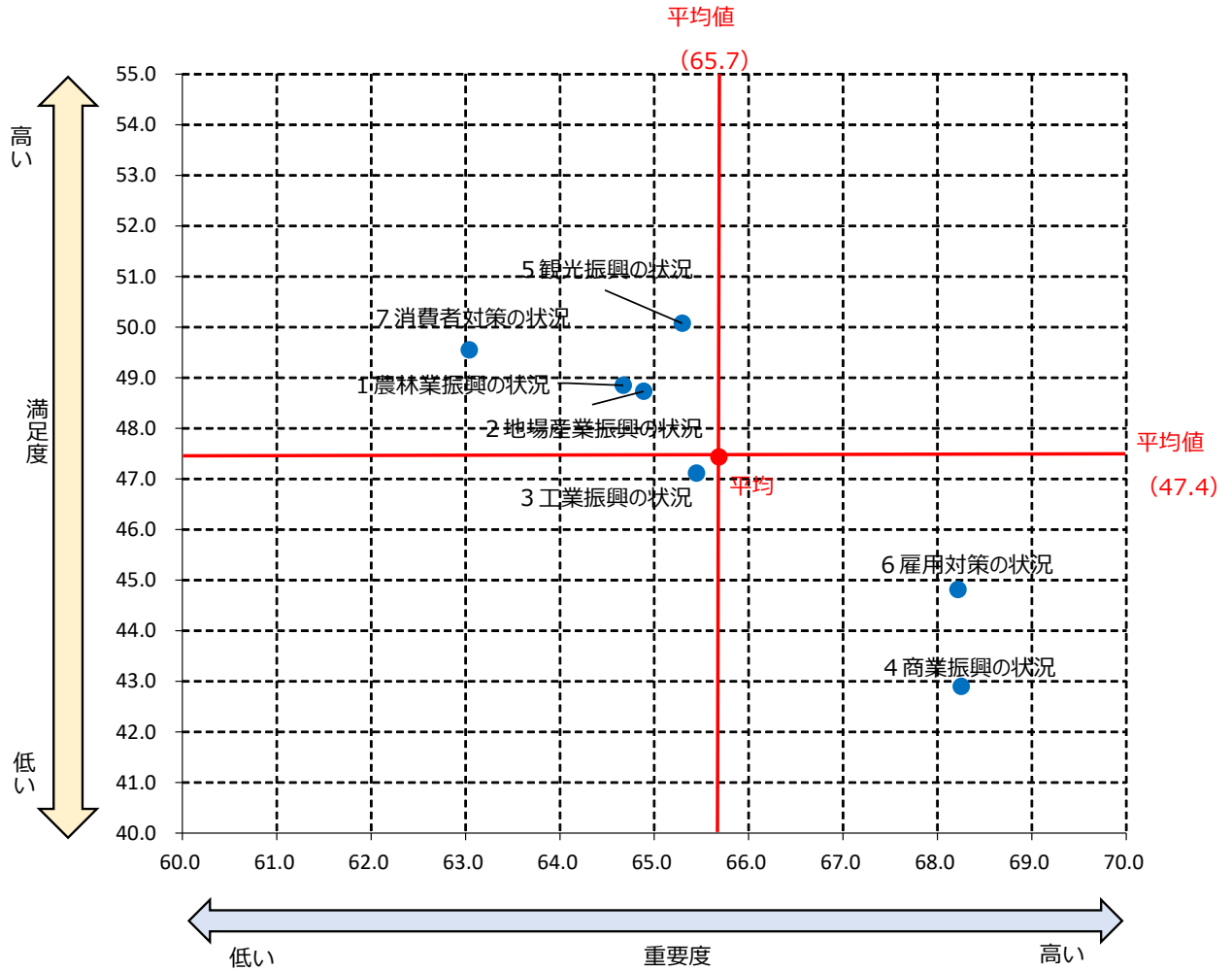
			回答数	構成比	前回値	比較	
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	1	重視する	572	32.7%	35.6%	▲ 2.9
		2	やや重視する	629	36.0%	33.7%	2.3
		3	どちらともいえない	446	25.5%	23.0%	2.5
		4	あまり重視しない	21	1.2%	1.0%	0.2
		5	重視しない	7	0.4%	0.3%	0.1
			無回答	74	4.2%	6.4%	▲ 2.2
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	1	重視する	512	29.3%	27.6%	1.7
		2	やや重視する	653	37.3%	35.5%	1.8
		3	どちらともいえない	473	27.0%	28.8%	▲ 1.8
		4	あまり重視しない	25	1.4%	1.2%	0.2
		5	重視しない	14	0.8%	0.3%	0.5
			無回答	72	4.1%	6.6%	▲ 2.5
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	1	重視する	419	24.0%	23.5%	0.5
		2	やや重視する	610	34.9%	34.3%	0.6
		3	どちらともいえない	597	34.1%	32.5%	1.6
		4	あまり重視しない	36	2.1%	1.7%	0.4
		5	重視しない	15	0.9%	0.7%	0.2
			無回答	72	4.1%	7.2%	▲ 3.1
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	1	重視する	545	31.2%	28.1%	3.1
		2	やや重視する	613	35.0%	35.5%	▲ 0.5
		3	どちらともいえない	480	27.4%	27.9%	▲ 0.5
		4	あまり重視しない	23	1.3%	1.5%	▲ 0.2
		5	重視しない	11	0.6%	0.4%	0.2
			無回答	77	4.4%	6.6%	▲ 2.2
12	墓地・火葬場の整備	1	重視する	211	12.1%	11.1%	1.0
		2	やや重視する	466	26.6%	28.0%	▲ 1.4
		3	どちらともいえない	851	48.7%	47.2%	1.5
		4	あまり重視しない	103	5.9%	5.1%	0.8
		5	重視しない	44	2.5%	2.1%	0.4
			無回答	74	4.2%	6.5%	▲ 2.3
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	1	重視する	263	15.0%	11.2%	3.8
		2	やや重視する	526	30.1%	25.9%	4.2
		3	どちらともいえない	813	46.5%	52.4%	▲ 5.9
		4	あまり重視しない	56	3.2%	2.5%	0.7
		5	重視しない	14	0.8%	0.5%	0.3
			無回答	77	4.4%	7.5%	▲ 3.1
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	1	重視する	341	19.5%	17.1%	2.4
		2	やや重視する	633	36.2%	38.2%	▲ 2.0
		3	どちらともいえない	586	33.5%	31.2%	2.3
		4	あまり重視しない	81	4.6%	4.8%	▲ 0.2
		5	重視しない	34	1.9%	2.2%	▲ 0.3
			無回答	74	4.2%	6.5%	▲ 2.3

				回答数	構成比	前回値	比較
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	1	重視する	241	13.8%	12.5%	1.3
		2	やや重視する	559	32.0%	28.8%	3.2
		3	どちらともいえない	771	44.1%	46.3%	▲ 2.2
		4	あまり重視しない	70	4.0%	3.5%	0.5
		5	重視しない	26	1.5%	1.5%	0.0
			無回答	82	4.7%	7.3%	▲ 2.6
16	道路（国道、県道、町道）の整備	1	重視する	583	33.3%	29.7%	3.6
		2	やや重視する	677	38.7%	39.5%	▲ 0.8
		3	どちらともいえない	380	21.7%	22.0%	▲ 0.3
		4	あまり重視しない	26	1.5%	1.6%	▲ 0.1
		5	重視しない	15	0.9%	0.6%	0.3
			無回答	68	3.9%	6.6%	▲ 2.7
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	1	重視する	532	30.4%	27.4%	3.0
		2	やや重視する	629	36.0%	34.6%	1.4
		3	どちらともいえない	461	26.4%	28.4%	▲ 2.0
		4	あまり重視しない	41	2.3%	2.6%	▲ 0.3
		5	重視しない	14	0.8%	0.6%	0.2
			無回答	72	4.1%	6.4%	▲ 2.3
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	1	重視する	379	21.7%	20.5%	1.2
		2	やや重視する	519	29.7%	30.0%	▲ 0.3
		3	どちらともいえない	703	40.2%	35.0%	5.2
		4	あまり重視しない	45	2.6%	2.5%	0.1
		5	重視しない	21	1.2%	0.8%	0.4
			無回答	82	4.7%	11.2%	▲ 6.5

### ③ 産業振興の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「観光振興の状況」、重要度は「商業振興の状況」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「工業振興の状況」の満足度が0.13ポイント上昇、「農林業振興の状況」の重要度が2.93ポイント上昇となっています。

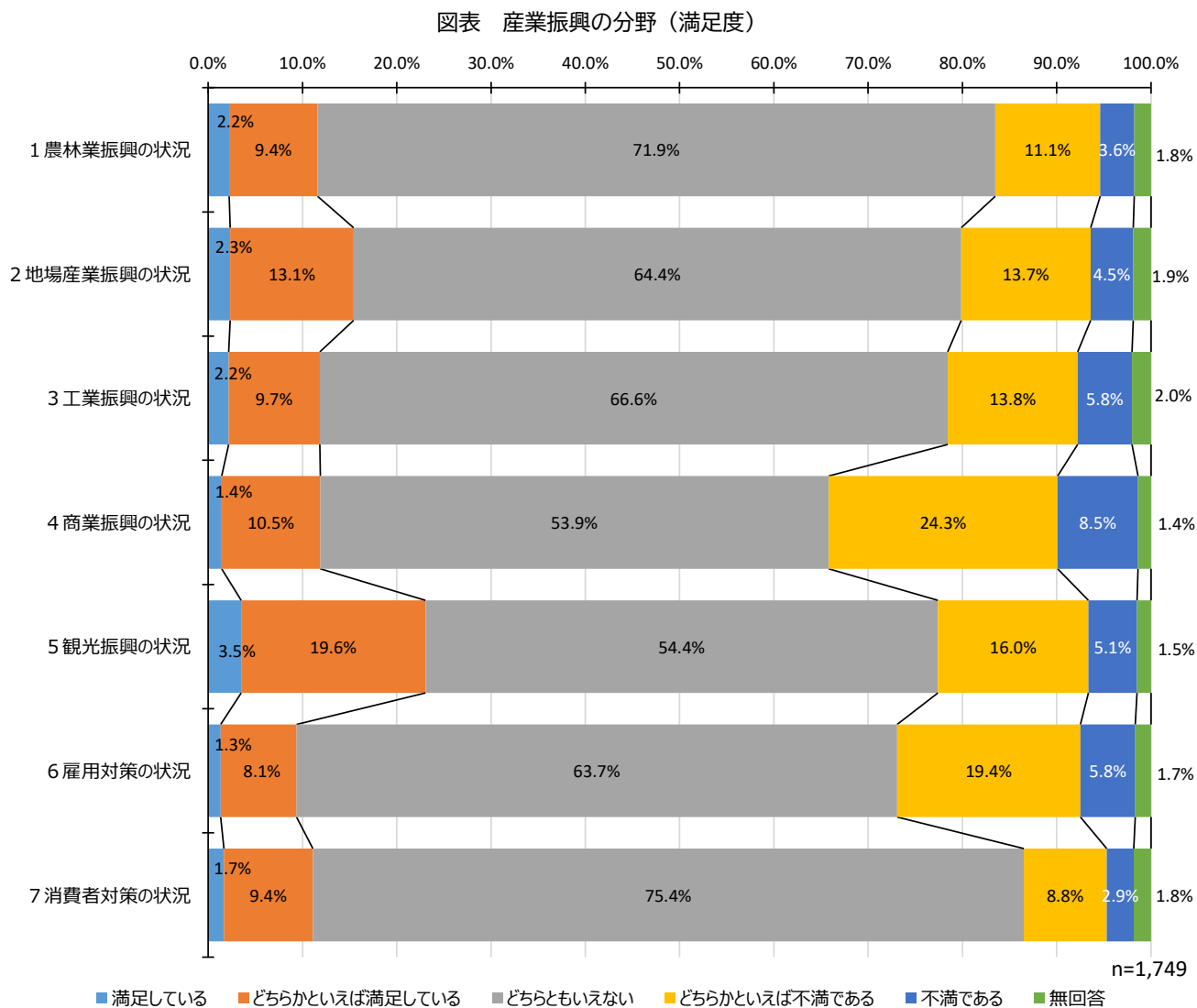
図表 産業振興の分野の満足度×重要度



	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	48.85	64.67	48.75	61.74	0.10	2.93
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	48.73	64.89	48.65	62.62	0.08	2.27
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	47.11	65.45	46.98	64.28	0.13	1.17
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	42.90	68.25	43.95	66.69	▲ 1.05	1.56
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	50.07	65.30	50.57	64.12	▲ 0.50	1.18
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	44.81	68.22	45.98	67.80	▲ 1.17	0.42
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	49.55	63.04	50.22	62.37	▲ 0.67	0.67

## ◎ 産業振興の分野（満足度）

- 産業振興の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「観光振興の状況」（23.1%）、「地場産業振興の状況」（15.4%）、「商業振興の状況」（11.9%）が上位にあります。
- 産業振興の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「商業振興の状況」（32.8%）、「雇用対策の状況」（25.2%）、「観光振興の状況」（21.1%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「雇用対策の状況」に対する「どちらかといえば不満である」が4.5ポイント上昇、「商業振興の状況」に対する「どちらともいえない」が3.7ポイント減少となっています。



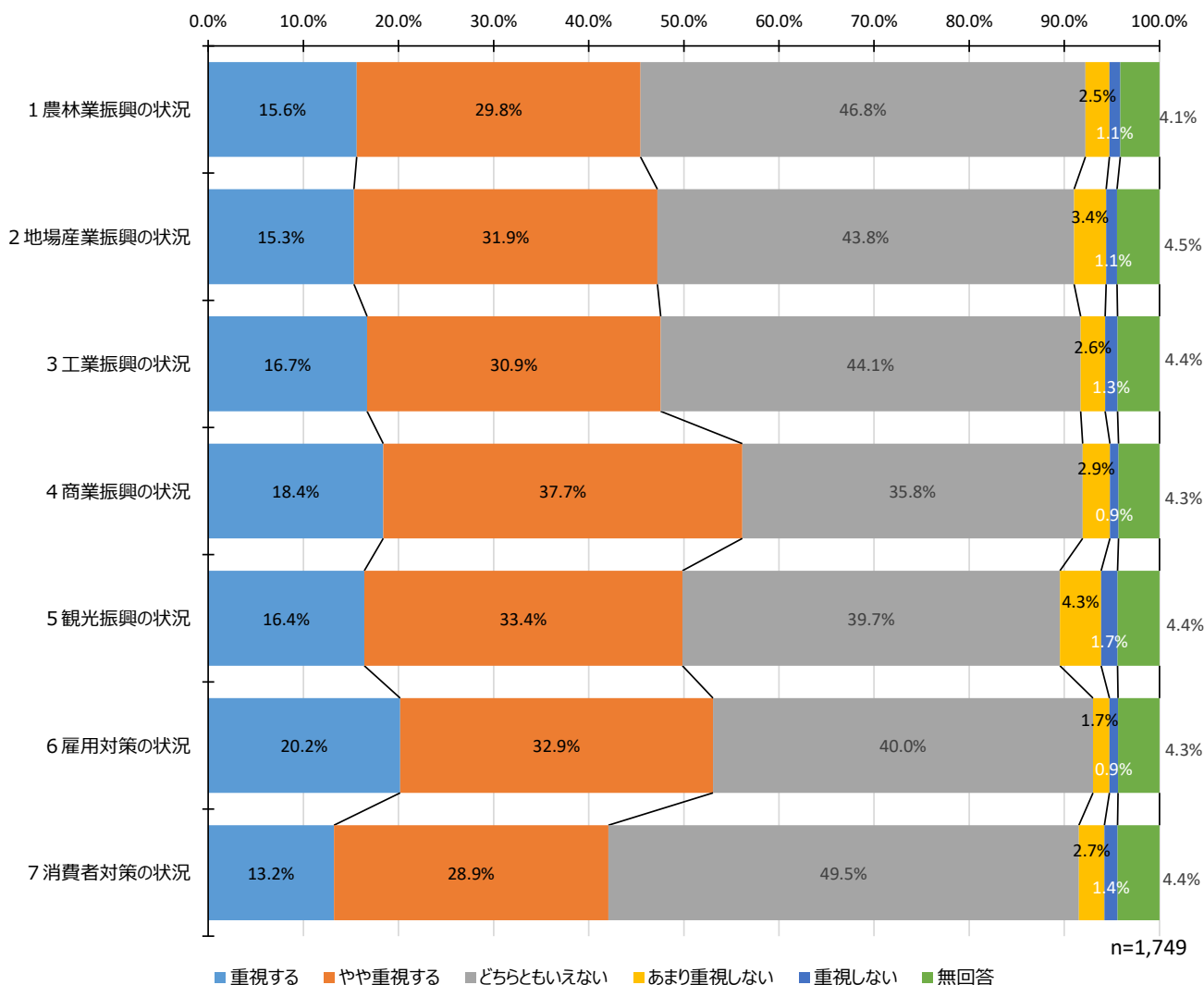
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	1	満足している	39	2.2%	2.0%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	164	9.4%	7.5%	1.9
		3	どちらともいえない	1,257	71.9%	72.2%	▲ 0.3
		4	どちらかといえば不満である	195	11.1%	10.2%	0.9
		5	不満である	63	3.6%	3.0%	0.6
			無回答	31	1.8%	5.1%	▲ 3.3
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	1	満足している	41	2.3%	2.1%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	229	13.1%	11.5%	1.6
		3	どちらともいえない	1,127	64.4%	64.5%	▲ 0.1
		4	どちらかといえば不満である	240	13.7%	12.8%	0.9
		5	不満である	79	4.5%	4.0%	0.5
			無回答	33	1.9%	5.1%	▲ 3.2
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	1	満足している	38	2.2%	1.7%	0.5
		2	どちらかといえば満足している	169	9.7%	8.3%	1.4
		3	どちらともいえない	1,165	66.6%	66.4%	0.2
		4	どちらかといえば不満である	241	13.8%	13.8%	0.0
		5	不満である	101	5.8%	4.7%	1.1
			無回答	35	2.0%	5.2%	▲ 3.2
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	1	満足している	25	1.4%	1.8%	▲ 0.4
		2	どちらかといえば満足している	183	10.5%	7.8%	2.7
		3	どちらともいえない	943	53.9%	57.6%	▲ 3.7
		4	どちらかといえば不満である	425	24.3%	21.0%	3.3
		5	不満である	149	8.5%	6.7%	1.8
			無回答	24	1.4%	5.0%	▲ 3.6
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	1	満足している	61	3.5%	3.4%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	342	19.6%	18.5%	1.1
		3	どちらともいえない	951	54.4%	54.8%	▲ 0.4
		4	どちらかといえば不満である	279	16.0%	14.1%	1.9
		5	不満である	90	5.1%	4.5%	0.6
			無回答	26	1.5%	4.7%	▲ 3.2
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	1	満足している	23	1.3%	1.3%	0.0
		2	どちらかといえば満足している	141	8.1%	8.3%	▲ 0.2
		3	どちらともいえない	1,114	63.7%	64.5%	▲ 0.8
		4	どちらかといえば不満である	340	19.4%	14.9%	4.5
		5	不満である	102	5.8%	5.7%	0.1
			無回答	29	1.7%	5.3%	▲ 3.6
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	1	満足している	29	1.7%	2.1%	▲ 0.4
		2	どちらかといえば満足している	165	9.4%	8.4%	1.0
		3	どちらともいえない	1,319	75.4%	74.8%	0.6
		4	どちらかといえば不満である	154	8.8%	7.5%	1.3
		5	不満である	50	2.9%	2.1%	0.8
			無回答	32	1.8%	5.2%	▲ 3.4

## ◎ 産業振興の分野（重要度）

- 産業振興の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「商業振興の状況」（56.1%）、「雇用対策の状況」（53.1%）、「観光振興の状況」（49.8%）が上位にあります。
- 産業振興の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「観光振興の状況」（6.0%）、「地場産業振興の状況」（4.5%）、「消費者対策の状況」（4.1%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「農林業振興の状況」に対する「やや重視する」が4.4ポイント上昇、「農林業振興の状況」に対する「どちらともいえない」が4.1ポイント減少となっています。

図表 産業振興の分野（重要度）



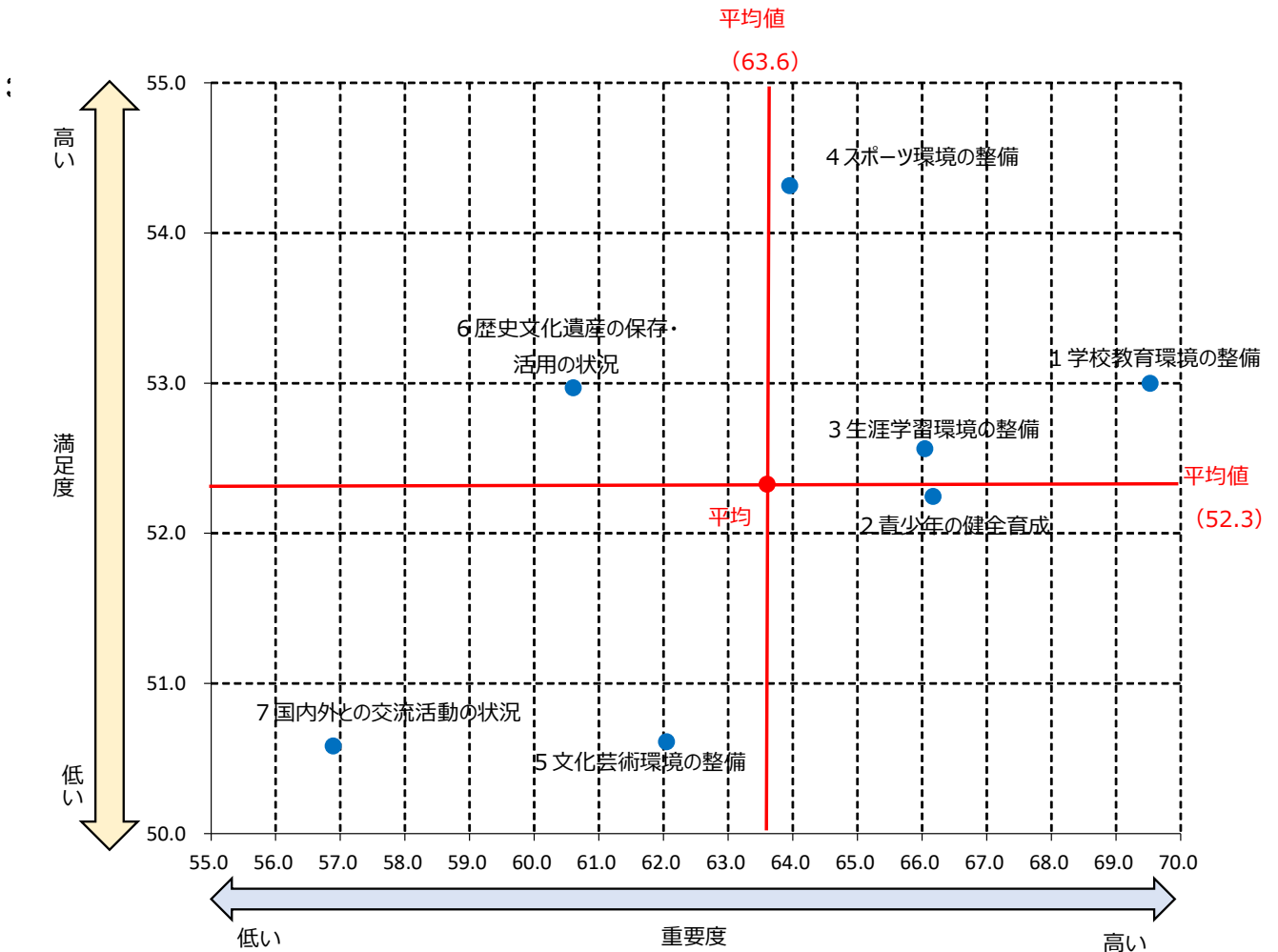
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

			回答数	構成比	前回値	比較	
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	1	重視する	273	15.6%	11.3%	4.3
		2	やや重視する	522	29.8%	25.4%	4.4
		3	どちらともいえない	818	46.8%	50.9%	▲ 4.1
		4	あまり重視しない	44	2.5%	3.1%	▲ 0.6
		5	重視しない	20	1.1%	0.9%	0.2
			無回答	72	4.1%	8.3%	▲ 4.2
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	1	重視する	268	15.3%	11.3%	4.0
		2	やや重視する	558	31.9%	31.0%	0.9
		3	どちらともいえない	766	43.8%	43.7%	0.1
		4	あまり重視しない	59	3.4%	4.2%	▲ 0.8
		5	重視しない	20	1.1%	1.5%	▲ 0.4
			無回答	78	4.5%	8.2%	▲ 3.7
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	1	重視する	292	16.7%	14.3%	2.4
		2	やや重視する	540	30.9%	29.2%	1.7
		3	どちらともいえない	772	44.1%	43.6%	0.5
		4	あまり重視しない	45	2.6%	3.4%	▲ 0.8
		5	重視しない	23	1.3%	1.1%	0.2
			無回答	77	4.4%	8.4%	▲ 4.0
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	1	重視する	322	18.4%	16.2%	2.2
		2	やや重視する	660	37.7%	33.6%	4.1
		3	どちらともいえない	626	35.8%	38.3%	▲ 2.5
		4	あまり重視しない	50	2.9%	2.9%	0.0
		5	重視しない	16	0.9%	0.9%	0.0
			無回答	75	4.3%	8.1%	▲ 3.8
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR 活動の充実等）の状況	1	重視する	287	16.4%	14.2%	2.2
		2	やや重視する	585	33.4%	32.6%	0.8
		3	どちらともいえない	694	39.7%	38.6%	1.1
		4	あまり重視しない	76	4.3%	4.8%	▲ 0.5
		5	重視しない	30	1.7%	2.1%	▲ 0.4
			無回答	77	4.4%	7.8%	▲ 3.4
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	1	重視する	353	20.2%	19.2%	1.0
		2	やや重視する	575	32.9%	30.5%	2.4
		3	どちらともいえない	699	40.0%	39.0%	1.0
		4	あまり重視しない	30	1.7%	2.1%	▲ 0.4
		5	重視しない	16	0.9%	0.8%	0.1
			無回答	76	4.3%	8.4%	▲ 4.1
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	1	重視する	231	13.2%	10.8%	2.4
		2	やや重視する	505	28.9%	28.0%	0.9
		3	どちらともいえない	865	49.5%	49.7%	▲ 0.2
		4	あまり重視しない	47	2.7%	2.4%	0.3
		5	重視しない	24	1.4%	0.9%	0.5
			無回答	77	4.4%	8.3%	▲ 3.9

#### ④ 教育・文化・スポーツの分野（満足度・重要度）

- 満足度は「スポーツ環境の整備」、重要度は「学校教育環境の整備」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「スポーツ環境の整備」の満足度が4.15ポイント上昇、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」の重要度が1.82ポイント上昇となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野の満足度×重要度

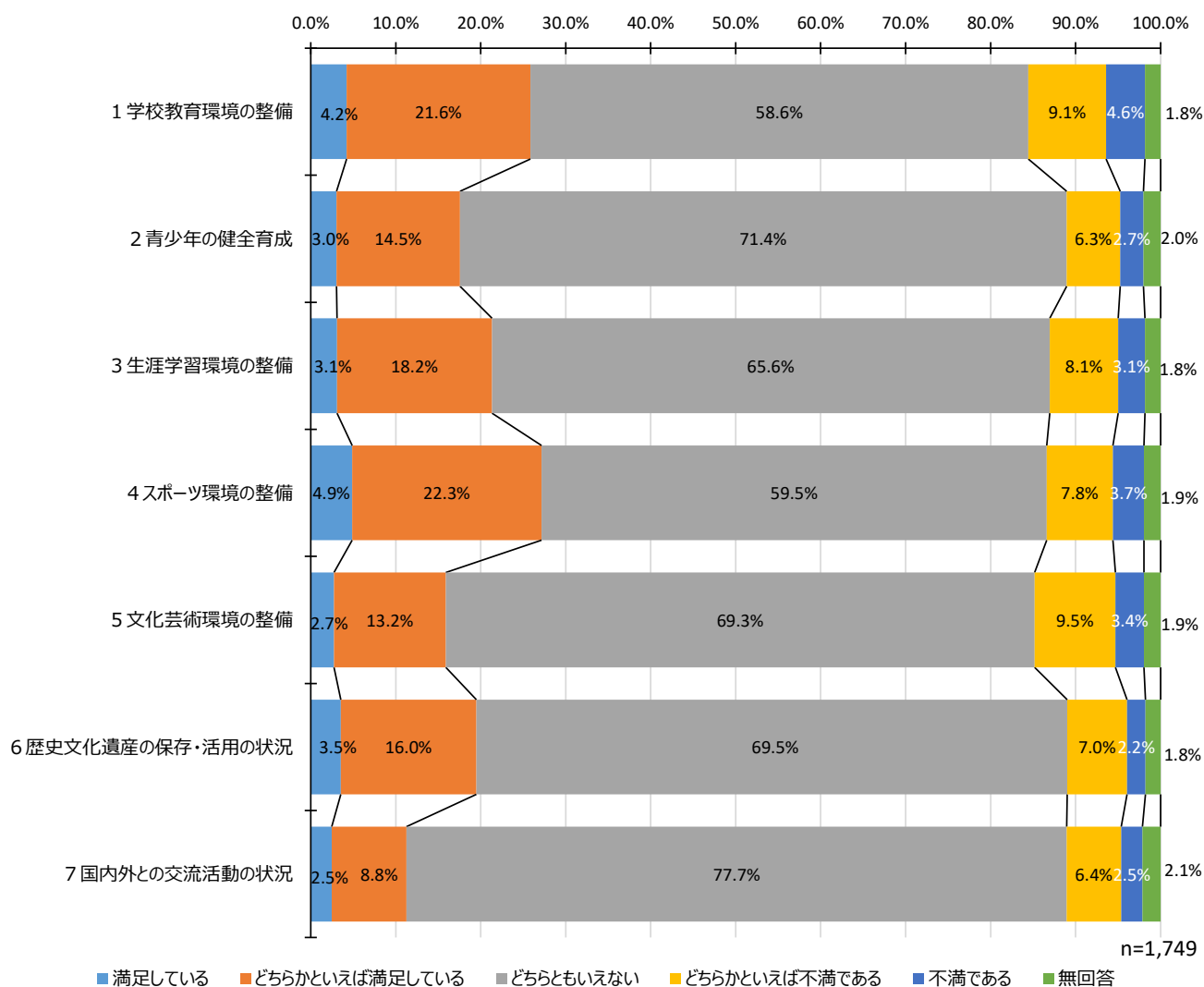


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	53.00	69.52	52.71	71.35	0.29	▲ 1.83
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	52.25	66.17	51.97	66.07	0.28	0.10
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	52.56	66.04	51.93	66.43	0.63	▲ 0.39
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	54.31	63.95	50.16	64.36	4.15	▲ 0.41
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	50.61	62.04	49.12	62.45	1.49	▲ 0.41
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	52.97	60.60	52.67	58.78	0.30	1.82
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	50.58	56.89	50.11	56.11	0.47	0.78

## ◎ 教育・文化・スポーツの分野（満足度）

- 教育・文化・スポーツの分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「スポーツ環境の整備」（27.2%）、「学校教育環境の整備」（25.8%）、「生涯学習環境の整備」（21.3%）が上位にあります。
- 教育・文化・スポーツの分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「学校教育環境の整備」（13.7%）、「文化芸術環境の整備」（12.9%）、「スポーツ環境の整備」（11.5%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「スポーツ環境の整備」に対する「どちらかといえば満足している」が8.4ポイント上昇、「スポーツ環境の整備」に対する「どちらかといえば不満である」が3.6ポイント減少となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野（満足度）



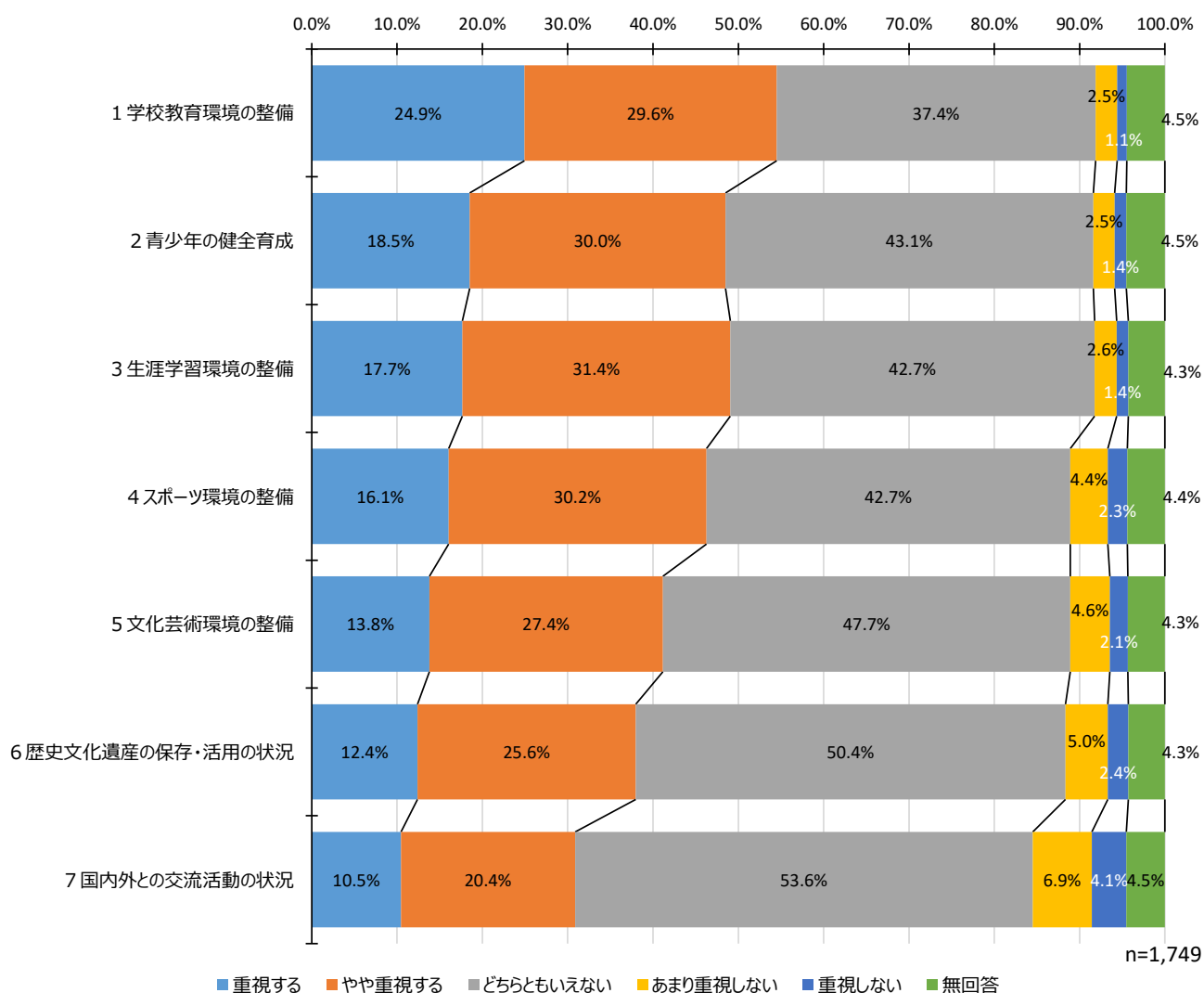
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

				回答数	構成比	前回値	比較
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	1	満足している	74	4.2%	4.1%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	378	21.6%	19.9%	1.7
		3	どちらともいえない	1,025	58.6%	56.8%	1.8
		4	どちらかといえば不満である	160	9.1%	10.4%	▲ 1.3
		5	不満である	80	4.6%	3.7%	0.9
			無回答	32	1.8%	5.1%	▲ 3.3
		2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	1	満足している	53	3.0%
2	どちらかといえば満足している			254	14.5%	13.4%	1.1
3	どちらともいえない			1,249	71.4%	69.7%	1.7
4	どちらかといえば不満である			110	6.3%	6.8%	▲ 0.5
5	不満である			48	2.7%	2.1%	0.6
	無回答			35	2.0%	5.5%	▲ 3.5
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備			1	満足している	54	3.1%
		2	どちらかといえば満足している	319	18.2%	15.4%	2.8
		3	どちらともいえない	1,148	65.6%	65.0%	0.6
		4	どちらかといえば不満である	141	8.1%	9.1%	▲ 1.0
		5	不満である	55	3.1%	2.4%	0.7
			無回答	32	1.8%	5.2%	▲ 3.4
		4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	1	満足している	85	4.9%
2	どちらかといえば満足している			390	22.3%	13.9%	8.4
3	どちらともいえない			1,040	59.5%	61.5%	▲ 2.0
4	どちらかといえば不満である			136	7.8%	11.4%	▲ 3.6
5	不満である			64	3.7%	4.5%	▲ 0.8
	無回答			34	1.9%	5.1%	▲ 3.2
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備			1	満足している	48	2.7%
		2	どちらかといえば満足している	230	13.2%	10.8%	2.4
		3	どちらともいえない	1,212	69.3%	66.5%	2.8
		4	どちらかといえば不満である	166	9.5%	11.6%	▲ 2.1
		5	不満である	59	3.4%	3.7%	▲ 0.3
			無回答	34	1.9%	5.0%	▲ 3.1
		6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	1	満足している	62	3.5%
2	どちらかといえば満足している			279	16.0%	15.1%	0.9
3	どちらともいえない			1,216	69.5%	68.5%	1.0
4	どちらかといえば不満である			123	7.0%	7.1%	▲ 0.1
5	不満である			38	2.2%	1.7%	0.5
	無回答			31	1.8%	4.7%	▲ 2.9
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況			1	満足している	43	2.5%
		2	どちらかといえば満足している	154	8.8%	7.4%	1.4
		3	どちらともいえない	1,359	77.7%	76.8%	0.9
		4	どちらかといえば不満である	112	6.4%	6.9%	▲ 0.5
		5	不満である	44	2.5%	2.0%	0.5
			無回答	37	2.1%	4.9%	▲ 2.8

## ◎ 教育・文化・スポーツの分野（重要度）

- 教育・文化・スポーツの分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「学校教育環境の整備」（54.5%）、「生涯学習環境の整備」（49.1%）、「青少年の健全育成」（48.5%）が上位にあります。
- 教育・文化・スポーツの分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「国内外との交流活動の状況」（11.0%）、「歴史文化遺産の保存・活用の状況」（7.4%）、「スポーツ環境の整備」、「文化芸術環境の整備」（ともに6.7%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「学校教育環境の整備」に対する「どちらともいえない」が5.1ポイント上昇、「学校教育環境の整備」に対する「やや重視する」が1.8ポイント減少となっています。

図表 教育・文化・スポーツの分野（重要度）



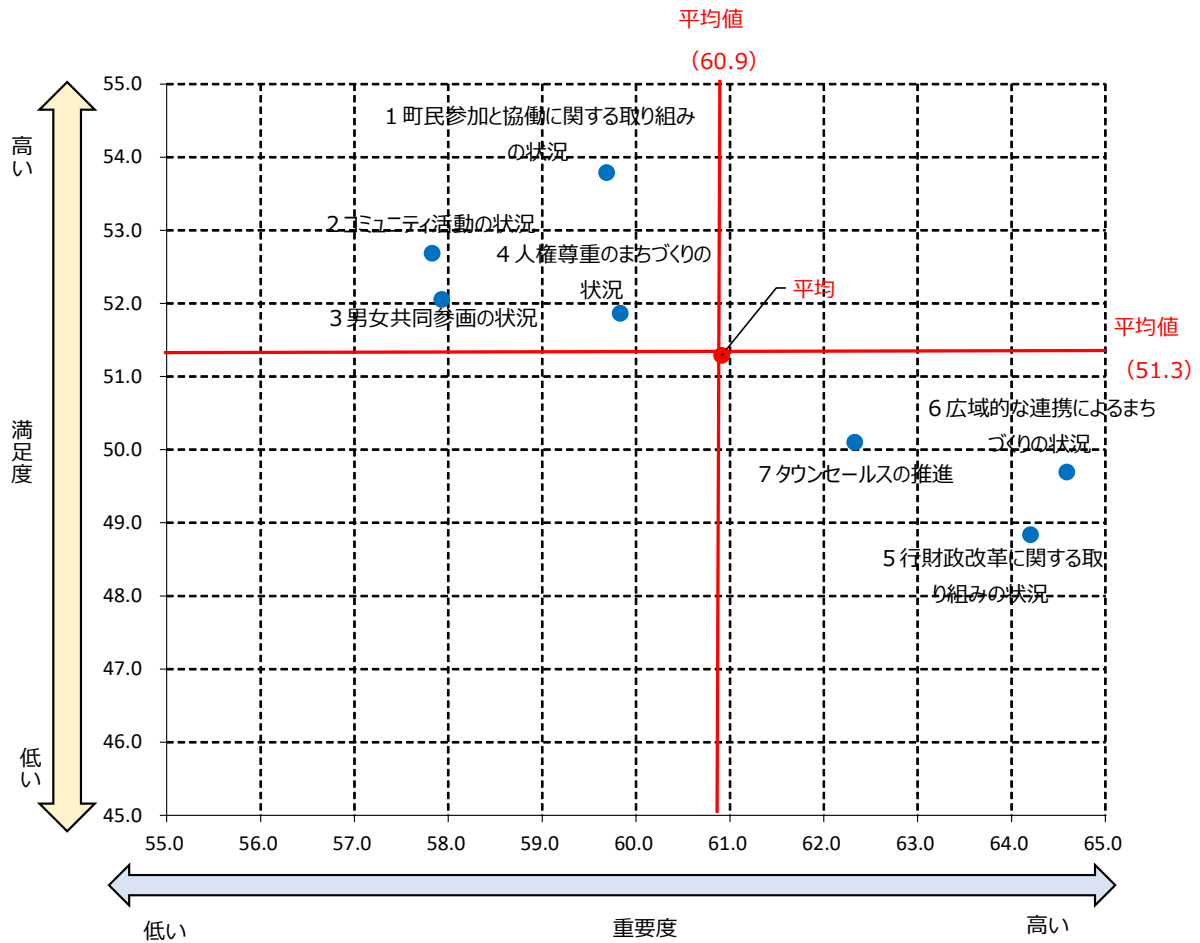
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

			回答数	構成比	前回値	比較	
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	1	重視する	436	24.9%	25.3%	▲ 0.4
		2	やや重視する	517	29.6%	31.4%	▲ 1.8
		3	どちらともいえない	654	37.4%	32.3%	5.1
		4	あまり重視しない	44	2.5%	1.9%	0.6
		5	重視しない	20	1.1%	0.9%	0.2
			無回答	78	4.5%	8.1%	▲ 3.6
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	1	重視する	324	18.5%	16.2%	2.3
		2	やや重視する	524	30.0%	30.0%	0.0
		3	どちらともいえない	754	43.1%	42.2%	0.9
		4	あまり重視しない	44	2.5%	1.7%	0.8
		5	重視しない	24	1.4%	1.1%	0.3
			無回答	79	4.5%	8.8%	▲ 4.3
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	1	重視する	309	17.7%	15.9%	1.8
		2	やや重視する	549	31.4%	32.1%	▲ 0.7
		3	どちらともいえない	747	42.7%	40.6%	2.1
		4	あまり重視しない	45	2.6%	2.0%	0.6
		5	重視しない	24	1.4%	0.9%	0.5
			無回答	75	4.3%	8.5%	▲ 4.2
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	1	重視する	281	16.1%	14.9%	1.2
		2	やや重視する	528	30.2%	30.7%	▲ 0.5
		3	どちらともいえない	746	42.7%	40.2%	2.5
		4	あまり重視しない	77	4.4%	4.1%	0.3
		5	重視しない	40	2.3%	1.9%	0.4
			無回答	77	4.4%	8.3%	▲ 3.9
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	1	重視する	241	13.8%	12.3%	1.5
		2	やや重視する	479	27.4%	28.9%	▲ 1.5
		3	どちらともいえない	835	47.7%	44.8%	2.9
		4	あまり重視しない	81	4.6%	3.9%	0.7
		5	重視しない	37	2.1%	2.0%	0.1
			無回答	76	4.3%	8.2%	▲ 3.9
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	1	重視する	217	12.4%	7.9%	4.5
		2	やや重視する	447	25.6%	26.5%	▲ 0.9
		3	どちらともいえない	881	50.4%	50.2%	0.2
		4	あまり重視しない	87	5.0%	5.3%	▲ 0.3
		5	重視しない	42	2.4%	2.3%	0.1
			無回答	75	4.3%	7.8%	▲ 3.5
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	1	重視する	183	10.5%	7.0%	3.5
		2	やや重視する	357	20.4%	22.0%	▲ 1.6
		3	どちらともいえない	938	53.6%	53.1%	0.5
		4	あまり重視しない	121	6.9%	6.6%	0.3
		5	重視しない	71	4.1%	3.5%	0.6
			無回答	79	4.5%	7.8%	▲ 3.3

### ⑤ 町民参加・行財政改革の分野（満足度・重要度）

- 満足度は「町民参加と協働に関する取り組みの状況」、重要度は「広域的な連携によるまちづくりの状況」が最も高くなっています。
- 前回調査との比較では、「男女共同参画の状況」の満足度が0.75ポイント上昇、「広域的な連携によるまちづくりの状況」の重要度が2.17ポイント上昇となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野の満足度×重要度

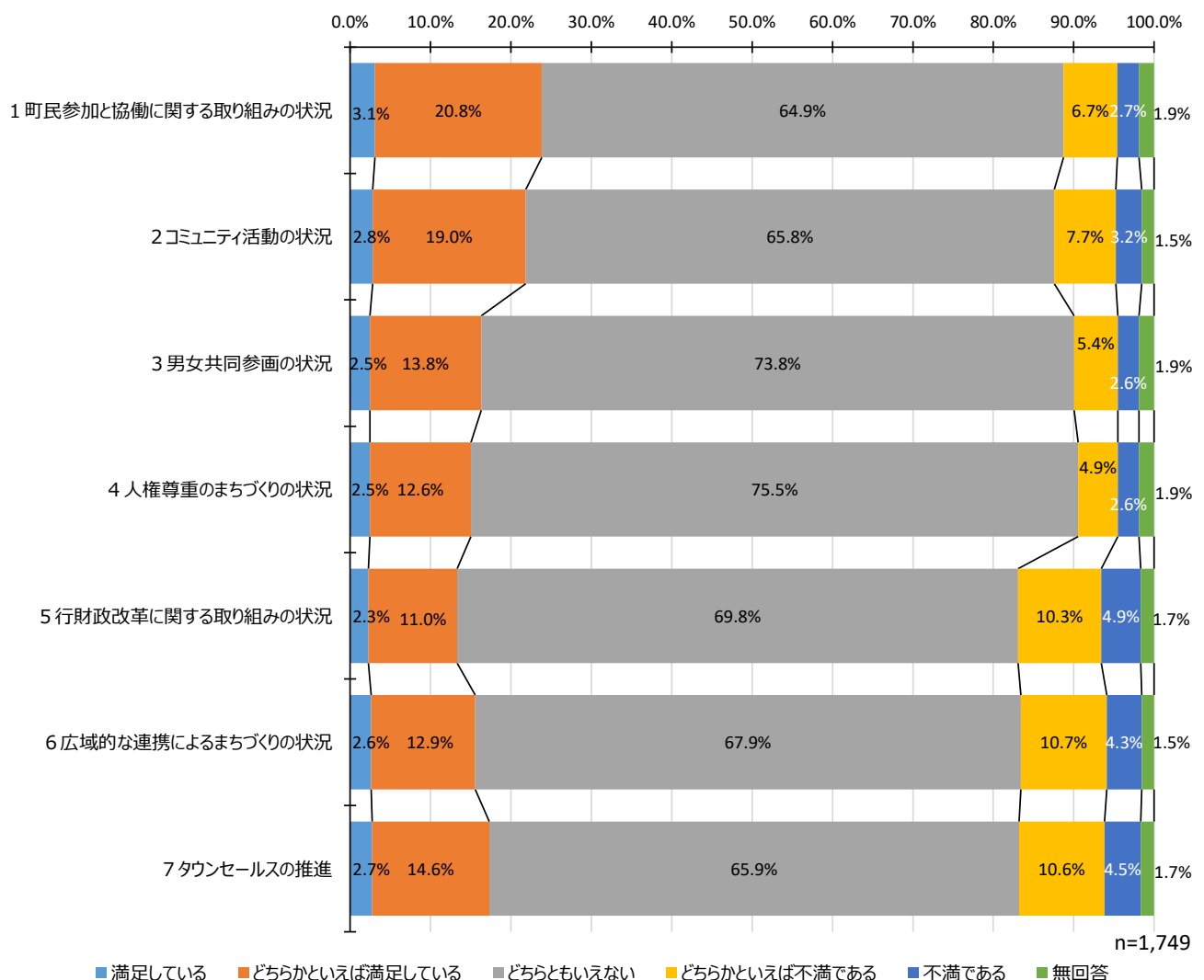


	施策内容	今回調査		前回調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	53.79	59.69	53.81	59.12	▲ 0.02	0.57
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	52.69	57.83	53.24	57.52	▲ 0.55	0.31
3	男女共同参画（性別に関わらず誰もが等しく社会参画できる環境づくり）の状況	52.05	57.93	51.30	57.91	0.75	0.02
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	51.86	59.83	51.37	60.95	0.49	▲ 1.12
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	48.84	64.20	48.81	62.63	0.03	1.57
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	49.70	64.59	49.55	62.42	0.15	2.17
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	50.10	62.33	50.14	60.21	▲ 0.04	2.12

## ◎ 町民参加・行財政改革の分野（満足度）

- 町民参加・行財政改革の分野に対する「満足している」、「どちらかといえば満足している」を合わせた割合をみると、「町民参加と協働に関する取り組みの状況」（23.9%）、「コミュニティ活動の状況」（21.8%）、「タウンセールスの推進」（17.3%）が上位にあります。
- 町民参加・行財政改革の分野に対する「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合わせた割合をみると、「行財政改革に関する取り組みの状況」（15.2%）、「タウンセールスの推進」（15.1%）、「広域的な連携によるまちづくりの状況」（15.0%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「男女共同参画の状況」に対する「どちらかといえば満足している」が3.0上昇、「広域的な連携によるまちづくりの状況」に対する「どちらともいえない」が1.6ポイント減少となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野（満足度）



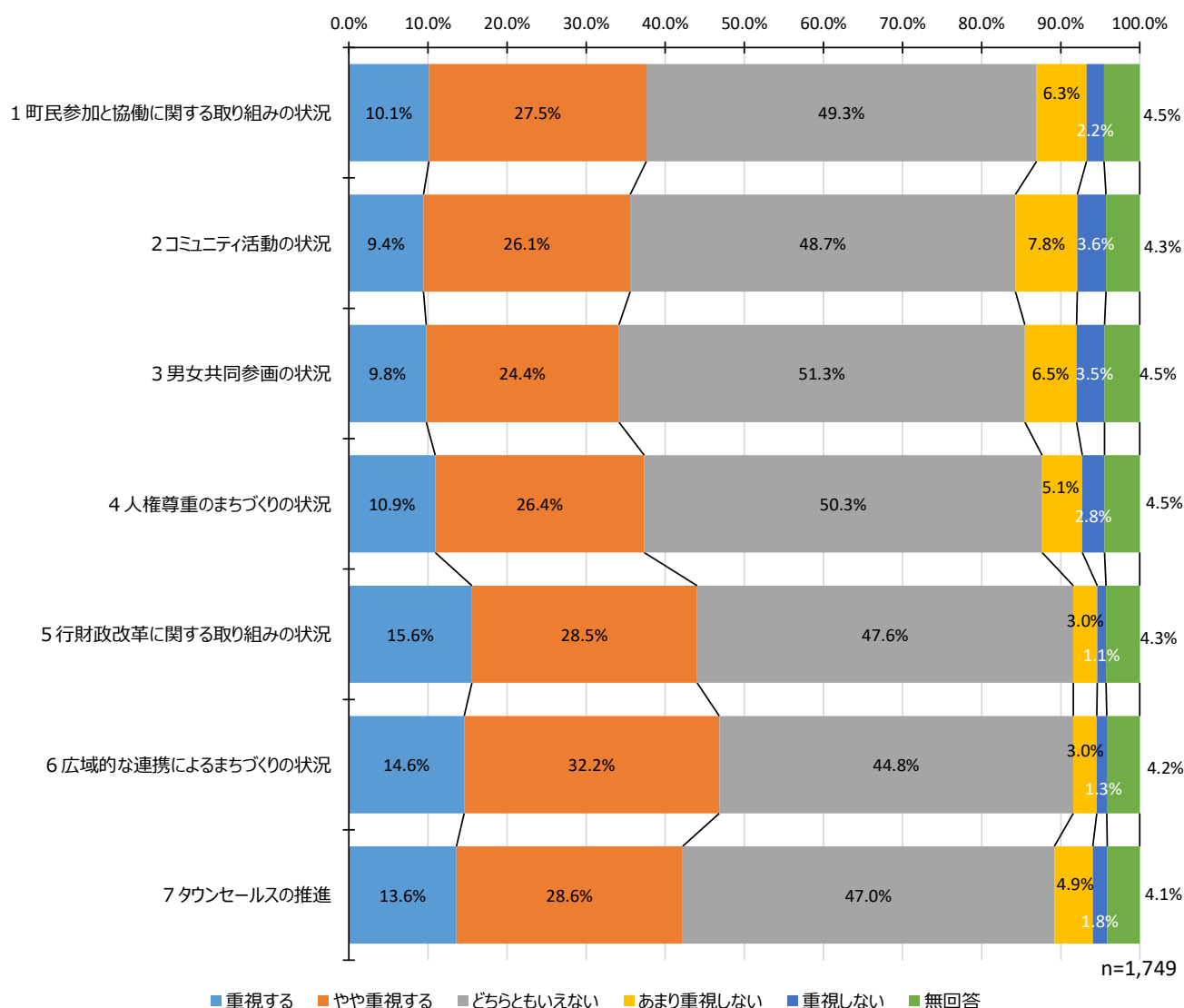
(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

			回答数	構成比	前回値	比較	
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	1	満足している	54	3.1%	3.8%	▲ 0.7
		2	どちらかといえば満足している	363	20.8%	18.1%	2.7
		3	どちらともいえない	1,135	64.9%	64.0%	0.9
		4	どちらかといえば不満である	117	6.7%	7.0%	▲ 0.3
		5	不満である	47	2.7%	2.1%	0.6
			無回答	33	1.9%	5.0%	▲ 3.1
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	1	満足している	49	2.8%	2.9%	▲ 0.1
		2	どちらかといえば満足している	333	19.0%	18.9%	0.1
		3	どちらともいえない	1,150	65.8%	63.4%	2.4
		4	どちらかといえば不満である	134	7.7%	7.8%	▲ 0.1
		5	不満である	56	3.2%	2.3%	0.9
			無回答	27	1.5%	4.7%	▲ 3.2
3	男女共同参画（性別に関わらず誰もが等しく社会参画できる環境づくり）の状況	1	満足している	43	2.5%	2.2%	0.3
		2	どちらかといえば満足している	242	13.8%	10.8%	3.0
		3	どちらともいえない	1,290	73.8%	73.8%	0.0
		4	どちらかといえば不満である	95	5.4%	6.4%	▲ 1.0
		5	不満である	46	2.6%	1.9%	0.7
			無回答	33	1.9%	4.8%	▲ 2.9
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	1	満足している	43	2.5%	2.3%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	220	12.6%	10.4%	2.2
		3	どちらともいえない	1,321	75.5%	74.3%	1.2
		4	どちらかといえば不満である	86	4.9%	6.0%	▲ 1.1
		5	不満である	46	2.6%	2.0%	0.6
			無回答	33	1.9%	5.0%	▲ 3.1
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	1	満足している	40	2.3%	2.1%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	193	11.0%	9.8%	1.2
		3	どちらともいえない	1,220	69.8%	68.8%	1.0
		4	どちらかといえば不満である	181	10.3%	9.8%	0.5
		5	不満である	86	4.9%	4.3%	0.6
			無回答	29	1.7%	5.3%	▲ 3.6
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	1	満足している	46	2.6%	2.4%	0.2
		2	どちらかといえば満足している	226	12.9%	10.1%	2.8
		3	どちらともいえない	1,187	67.9%	69.5%	▲ 1.6
		4	どちらかといえば不満である	187	10.7%	9.6%	1.1
		5	不満である	76	4.3%	3.5%	0.8
			無回答	27	1.5%	5.0%	▲ 3.5
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	1	満足している	48	2.7%	2.6%	0.1
		2	どちらかといえば満足している	255	14.6%	11.9%	2.7
		3	どちらともいえない	1,152	65.9%	67.4%	▲ 1.5
		4	どちらかといえば不満である	186	10.6%	9.2%	1.4
		5	不満である	79	4.5%	3.8%	0.7
			無回答	29	1.7%	5.2%	▲ 3.5

## ◎ 町民参加・行財政改革の分野（重要度）

- 町民参加・行財政改革の分野に対する「重視する」、「やや重視する」を合わせた割合をみると、「広域的な連携によるまちづくりの状況」（46.8%）、「行財政改革に関する取り組みの状況」（44.1%）、「タウンセールスの推進」（42.2%）が上位にあります。
- 町民参加・行財政改革の分野に対する「あまり重視しない」、「重視しない」を合わせた割合をみると、「コミュニティ活動の状況」（11.4%）、「男女共同参画の状況」（10.0%）、「町民参加と協働に関する取り組みの状況」（8.5%）が上位にあります。
- 前回調査との比較では「広域的な連携によるまちづくりの状況」に対する「やや重視する」が4.4ポイント上昇、「広域的な連携によるまちづくりの状況」に対する「どちらともいえない」が3.2ポイント減少となっています。

図表 町民参加・行財政改革の分野（重要度）



(今回 n=1,749、前回 n=1,945)

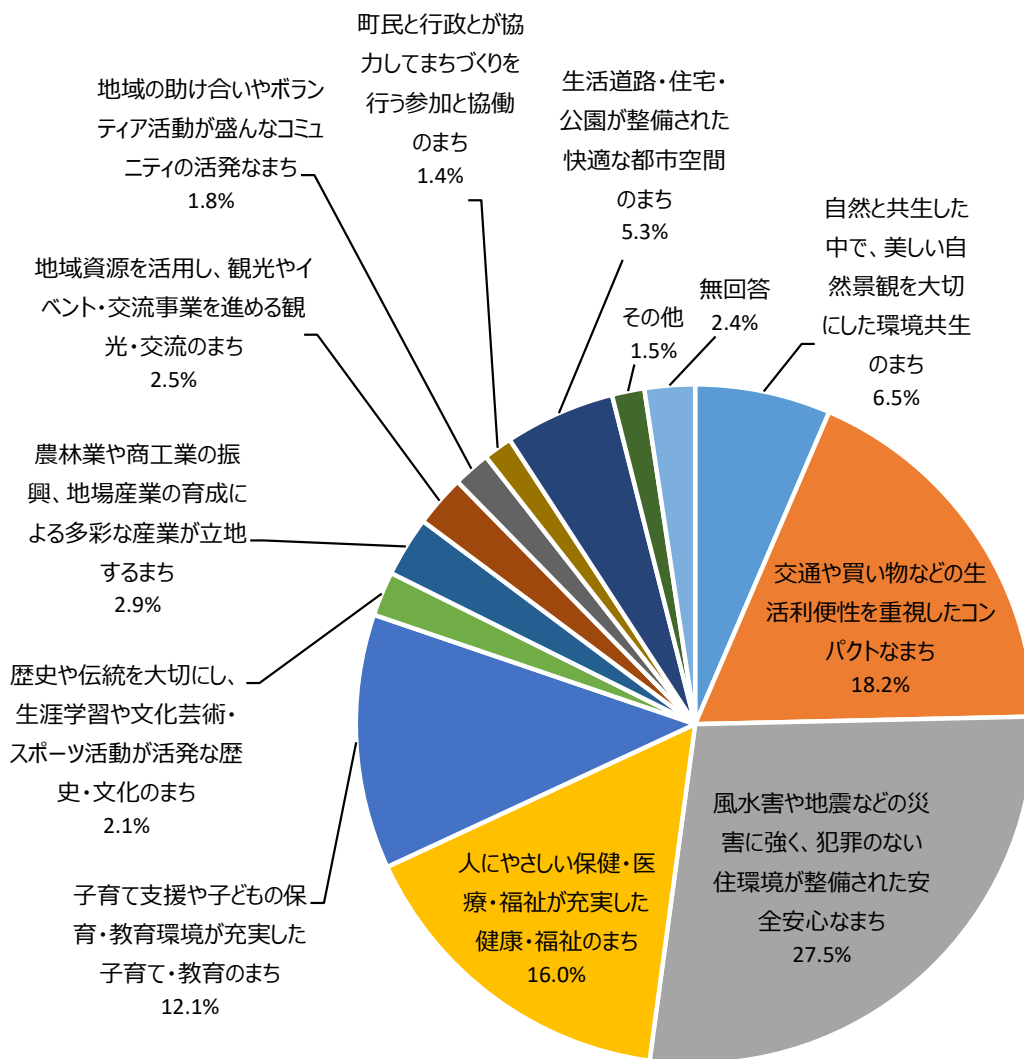
			回答数	構成比	前回値	比較	
1	町民参加と協働に関する取り組み (広報・広聴、町民活動の支援 等)の状況	1	重視する	177	10.1%	7.9%	2.2
		2	やや重視する	481	27.5%	26.9%	0.6
		3	どちらともいえない	863	49.3%	50.3%	▲ 1.0
		4	あまり重視しない	110	6.3%	5.0%	1.3
		5	重視しない	39	2.2%	2.0%	0.2
			無回答	79	4.5%	7.8%	▲ 3.3
2	コミュニティ活動(身近な地域 や町内会等における共同活動) の状況	1	重視する	165	9.4%	7.8%	1.6
		2	やや重視する	457	26.1%	26.1%	0.0
		3	どちらともいえない	852	48.7%	48.6%	0.1
		4	あまり重視しない	137	7.8%	5.7%	2.1
		5	重視しない	63	3.6%	4.1%	▲ 0.5
			無回答	75	4.3%	7.7%	▲ 3.4
3	男女共同参画(性別に関わらず誰 もが等しく社会参画できる環境づ くり)の状況	1	重視する	171	9.8%	8.0%	1.8
		2	やや重視する	426	24.4%	23.7%	0.7
		3	どちらともいえない	898	51.3%	53.2%	▲ 1.9
		4	あまり重視しない	114	6.5%	4.4%	2.1
		5	重視しない	62	3.5%	3.0%	0.5
			無回答	78	4.5%	7.8%	▲ 3.3
4	人権尊重のまちづくり(人権教 育・啓発の推進等)の状況	1	重視する	191	10.9%	11.4%	▲ 0.5
		2	やや重視する	462	26.4%	24.1%	2.3
		3	どちらともいえない	880	50.3%	51.9%	▲ 1.6
		4	あまり重視しない	89	5.1%	2.8%	2.3
		5	重視しない	49	2.8%	1.9%	0.9
			無回答	78	4.5%	8.0%	▲ 3.5
5	行財政改革に関する取り組み(組 織や事務事業の見直し等)の状況	1	重視する	272	15.6%	13.3%	2.3
		2	やや重視する	498	28.5%	25.5%	3.0
		3	どちらともいえない	832	47.6%	49.4%	▲ 1.8
		4	あまり重視しない	53	3.0%	2.1%	0.9
		5	重視しない	19	1.1%	1.8%	▲ 0.7
			無回答	75	4.3%	8.0%	▲ 3.7
6	広域的な連携(周辺の市町との連 携・協力)によるまちづくりの状 況	1	重視する	255	14.6%	12.1%	2.5
		2	やや重視する	564	32.2%	27.8%	4.4
		3	どちらともいえない	783	44.8%	48.0%	▲ 3.2
		4	あまり重視しない	52	3.0%	2.6%	0.4
		5	重視しない	22	1.3%	1.8%	▲ 0.5
			無回答	73	4.2%	7.7%	▲ 3.5
7	タウンセールス(イベント情報 の提供・イメージアップづくり 等)の推進	1	重視する	238	13.6%	10.2%	3.4
		2	やや重視する	500	28.6%	26.9%	1.7
		3	どちらともいえない	822	47.0%	47.6%	▲ 0.6
		4	あまり重視しない	85	4.9%	4.8%	0.1
		5	重視しない	32	1.8%	2.5%	▲ 0.7
			無回答	72	4.1%	8.0%	▲ 3.9

## (2) まちの将来像について

問 柴田町は、あなたが住むまちとして、将来（8年後）どのようなまちになればよいと思いますか。〈1つに○印〉

- 回答者のまちの将来像については、「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が 27.5%と最も高く、「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」が 18.2%、「人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち」が 16.0%と続きます。
- 前回調査との比較では「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」が 3.8 ポイント上昇、「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が 6.2 ポイント減少となっています。

図表 まちの将来像について



n=1,749

(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自然と共生した中で、美しい自然景観を大切にした環境共生のまち	113	6.5%	5.8%	0.7
2	交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち	318	18.2%	14.4%	3.8
3	風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち	481	27.5%	33.7%	▲ 6.2
4	人にやさしい保健・医療・福祉が充実した健康・福祉のまち	279	16.0%	15.6%	0.4
5	子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち	212	12.1%	10.0%	2.1
6	歴史や伝統を大切に、生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発な歴史・文化のまち	37	2.1%	2.3%	▲ 0.2
7	農林業や商工業の振興、地場産業の育成による多彩な産業が立地するまち	50	2.9%	3.0%	▲ 0.1
8	地域資源を活用し、観光やイベント・交流事業を進める観光・交流のまち	43	2.5%	1.8%	0.7
9	地域の助け合いやボランティア活動が盛んなコミュニティの活発なまち	31	1.8%	1.7%	0.1
10	町民と行政とが協力してまちづくりを行う参加と協働のまち	24	1.4%	1.9%	▲ 0.5
11	生活道路・住宅・公園が整備された快適な都市空間のまち	92	5.3%	5.0%	0.3
12	その他	27	1.5%	1.3%	0.2
	無回答	42	2.4%	3.5%	▲ 1.1

- 性別によるまちの将来像についてみると、男女とも回答全体と同様に「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちの将来像についてみると、各年代とも「交通や買い物などの生活利便性を重視したコンパクトなまち」を上位に挙げています。

図表 まちの将来像について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	安全安心なまち 25.6%	コンパクトなまち 20.9%	健康・福祉のまち 14.1%
女性 (n=917)	安全安心なまち 29.1%	健康・福祉のまち 17.7%	コンパクトなまち 16.0%
10代 (n=51)	コンパクトなまち 33.3%	子育て・教育のまち 17.6%	健康・福祉のまち 15.7%
20代 (n=51)	子育て・教育のまち 29.4%	コンパクトなまち 21.6%	安全安心なまち 快適な都市空間のまち 13.7%
30代 (n=251)	子育て・教育のまち 29.9%	安全安心なまち 20.7%	コンパクトなまち 18.3%
40代 (n=378)	安全安心なまち 28.0%	コンパクトなまち 子育て・教育のまち 16.1%	健康・福祉のまち 13.0%

	第1位	第2位	第3位
50代 (n=421)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	26.6%	20.4%	16.9%
60代 (n=457)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	32.6%	21.2%	17.7%
70歳以上 (n=136)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	35.3%	19.9%	11.8%

- 居住地別によるまちの将来像についてみると、各地区とも「風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない住環境が整備された安全安心なまち」を上位に挙げています。
- そのほか柴田小学校区は「自然と共生した中で、美しい自然景観を大切にした環境共生のまち」、西住小学校区は「子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実した子育て・教育のまち」が上位に挙がっています。

図表 まちの将来像について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	26.9%	18.2%	13.9%
東船岡小学校区 (n=247)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	30.0%	17.8%	15.8%
槻木小学校区 (n=478)	安全安心なまち	コンパクトなまち	健康・福祉のまち
	27.4%	20.3%	14.2%
柴田小学校区 (n=74)	コンパクトなまち	安全安心なまち	環境共生のまち
	24.3%	23.0%	14.9%
船迫小学校区 (n=361)	安全安心なまち	健康・福祉のまち	コンパクトなまち
	29.1%	19.4%	15.2%
西住小学校区 (n=80)	安全安心なまち	コンパクトなまち 健康・福祉のまち	子育て・教育のまち
	23.8%	20.0%	16.3%

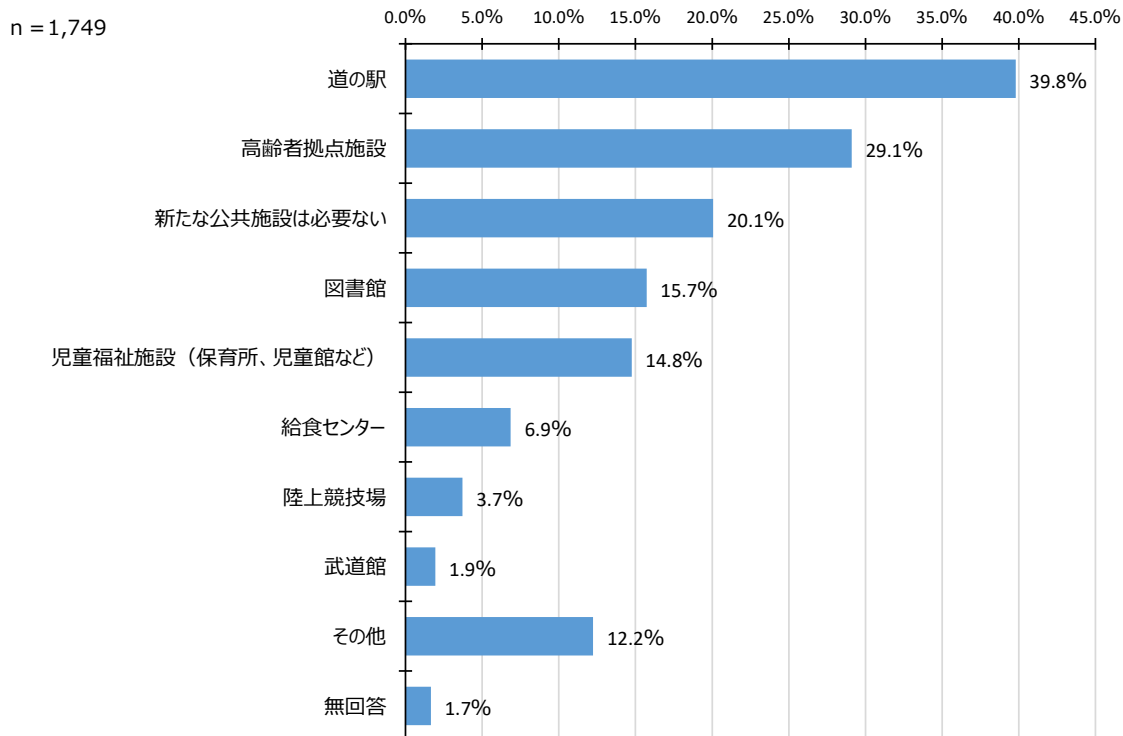
### (3) まちに必要な公共施設について

問 あなたは、これからの柴田町にどのような公共施設が必要だと思いますか。〈2つまで〇印〉

- 回答者のまちに必要な公共施設については、「道の駅」が 39.8%と最も高く、「高齢者拠点施設」が 29.1%、「新たな公共施設は必要ない」が 20.1%と続きます。
- 前回調査との比較では「道の駅」が 10.0ポイント上昇、「図書館」が 1.0ポイント減少となっています。

図表 まちに必要な公共施設について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n = 1,749、前回：n = 1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	図書館	275	15.7%	16.7%	▲ 1.0
2	高齢者拠点施設	509	29.1%	28.0%	1.1
3	給食センター	120	6.9%	—	—
4	児童福祉施設（保育所、児童館など）	258	14.8%	8.3%	6.5
5	陸上競技場	65	3.7%	3.8%	▲ 0.1
6	武道館	34	1.9%	1.1%	0.8
7	道の駅	696	39.8%	29.8%	10.0
8	その他	214	12.2%	9.8%	2.4
9	新たな公共施設は必要ない	351	20.1%	13.3%	6.8
	無回答	29	1.7%	4.3%	▲ 2.6

※今回より「給食センター」が追加

- 性別によるまちに必要な公共施設についてみると、男女とも回答全体と同様に「道の駅」が最も高くなっています。
- 年齢別によるまちに必要な公共施設についてみると、各年代とも「道の駅」を上位に挙げています。
- そのほか10代～30代では「児童福祉施設（保育所、児童館など）」、10～20代及び60代では「図書館」を上位に挙げています。

図表 まちに必要な公共施設について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	40.0%	27.4%	22.2%
女性 (n=917)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	40.2%	30.5%	18.1%
10代 (n=51)	道の駅	図書館	児童福祉施設（保育所、児童館など）
	45.1%	33.3%	17.6%
20代 (n=51)	道の駅	児童福祉施設（保育所、児童館など）	図書館 新たな公共施設は必要ない
	33.3%	27.5%	17.6%
30代 (n=251)	道の駅	児童福祉施設（保育所、児童館など）	新たな公共施設は必要ない
	43.4%	26.3%	16.7%
40代 (n=378)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	39.2%	22.2%	21.2%
50代 (n=421)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	42.0%	34.4%	18.1%
60代 (n=457)	高齢者拠点施設 道の駅	新たな公共施設は必要ない	図書館
	38.7%	22.1%	13.8%
70歳以上 (n=136)	高齢者拠点施設	道の駅	新たな公共施設は必要ない
	44.9%	33.1%	28.7%

- 居住地区別によるまちに必要な公共施設についてみると、各地区とも「道の駅」、「高齢者拠点施設」、「新たな公共施設は必要ない」を上位に挙げています。
- 西住小学校区は「児童福祉施設（保育所、児童館など）」を上位に挙げています。

図表 まちに必要な公共施設について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	41.2%	27.1%	17.8%
東船岡小学校区 (n=247)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	41.7%	31.6%	21.1%
槻木小学校区 (n=478)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	40.2%	26.8%	22.4%
柴田小学校区 (n=74)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	41.9%	40.5%	18.9%
船迫小学校区 (n=361)	道の駅	高齢者拠点施設	新たな公共施設は必要ない
	37.7%	30.5%	18.8%
西住小学校区 (n=80)	高齢者拠点施設 道の駅	児童福祉施設（保育所、児童館など）	新たな公共施設は必要ない
	32.5%	26.3%	21.3%

## 4. 地域公共交通について

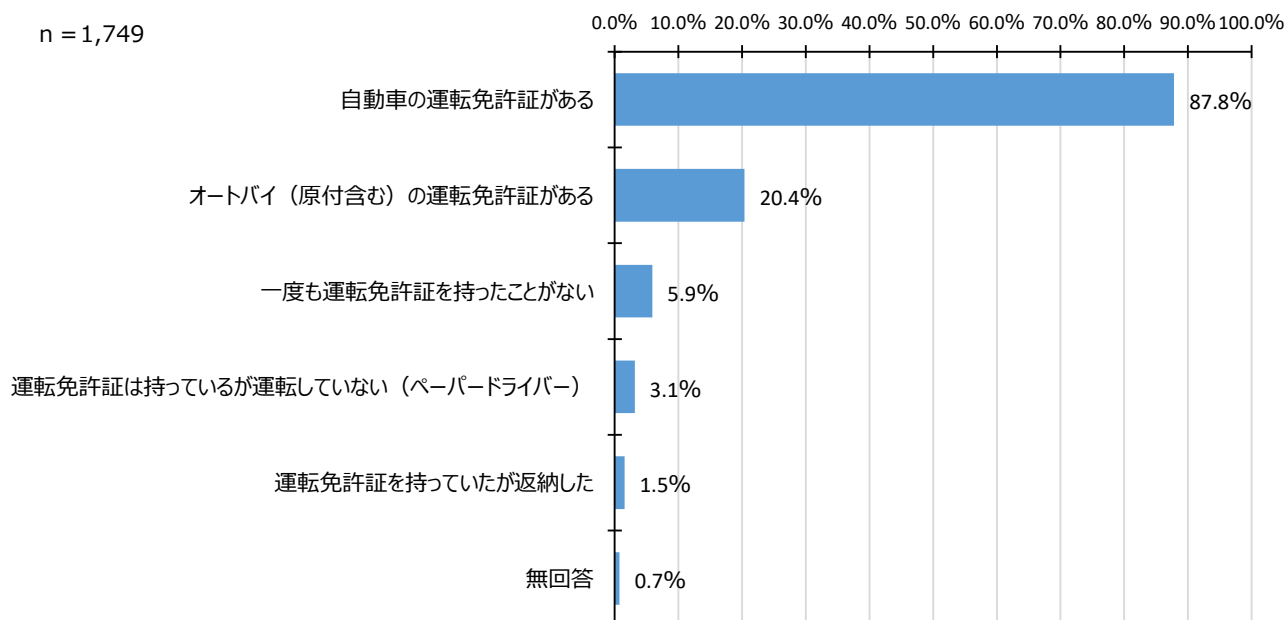
### (1) 運転免許証の所持状況について

問 運転免許証をお持ちですか。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者の運転免許証の所持状況については、「自動車の運転免許証がある」が87.8%と最も高く、「オートバイ（原付含む）の運転免許証がある」が20.4%、「一度も運転免許証を持ったことがない」が5.9%と続きます。
- 前回調査との比較では「自動車の運転免許証がある」が4.9ポイント上昇、「一度も運転免許証を持ったことがない」が2.6ポイント減少となっています。

図表 運転免許証の所持状況について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自動車の運転免許証がある	1,536	87.8%	82.9%	4.9
2	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	356	20.4%	20.5%	▲ 0.1
3	運転免許証を持っていたが返納した	27	1.5%	2.7%	▲ 1.2
4	運転免許証は持っているが運転していない（ペーパードライバー）	55	3.1%	4.0%	▲ 0.9
5	一度も運転免許証を持ったことがない	103	5.9%	8.5%	▲ 2.6
	無回答	13	0.7%	2.0%	▲ 1.3

- 性別による運転免許証の所持状況についてみると、男女とも回答全体と同様に「自動車の運転免許証がある」が最も高くなっています。
- 年齢別による運転免許証の所持状況についてみると、各年代とも「自動車の運転免許証がある」、「オートバイ（原付含む）の運転免許証がある」を上位に挙げています。
- 10代は「一度も運転免許証を持ったことがない」が最も高くなっています。

図表 運転免許証の所持状況について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	90.0%	30.6%	4.4%
女性 (n=917)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	86.3%	12.1%	6.9%
10代 (n=51)	一度も運転免許証を持ったことがない	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある
	74.5%	21.6%	5.9%
20代 (n=51)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある 一度も運転免許証を持ったことがない	運転免許証は持っているが運転していない（ペーパードライバー）
	80.4%	9.8%	7.8%
30代 (n=251)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	90.4%	13.1%	4.8%
40代 (n=378)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない（ペーパードライバー）
	93.9%	18.3%	2.6%
50代 (n=421)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない（ペーパードライバー）
	90.7%	25.4%	2.9%
60代 (n=457)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	運転免許証は持っているが運転していない（ペーパードライバー） 一度も運転免許証を持ったことがない
	89.9%	24.9%	3.3%
70歳以上 (n=136)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の運転免許証がある	一度も運転免許証を持ったことがない
	79.4%	18.4%	10.3%

- 居住地区別による運転免許証の所持状況についてみると、各地区とも「自動車の運転免許証がある」、「オートバイ（原付含む）の運転免許証がある」、「一度も運転免許証を持ったことがない」を上位に挙げています。

図表 運転免許証の所持状況について（居住地区別：上位3項目）

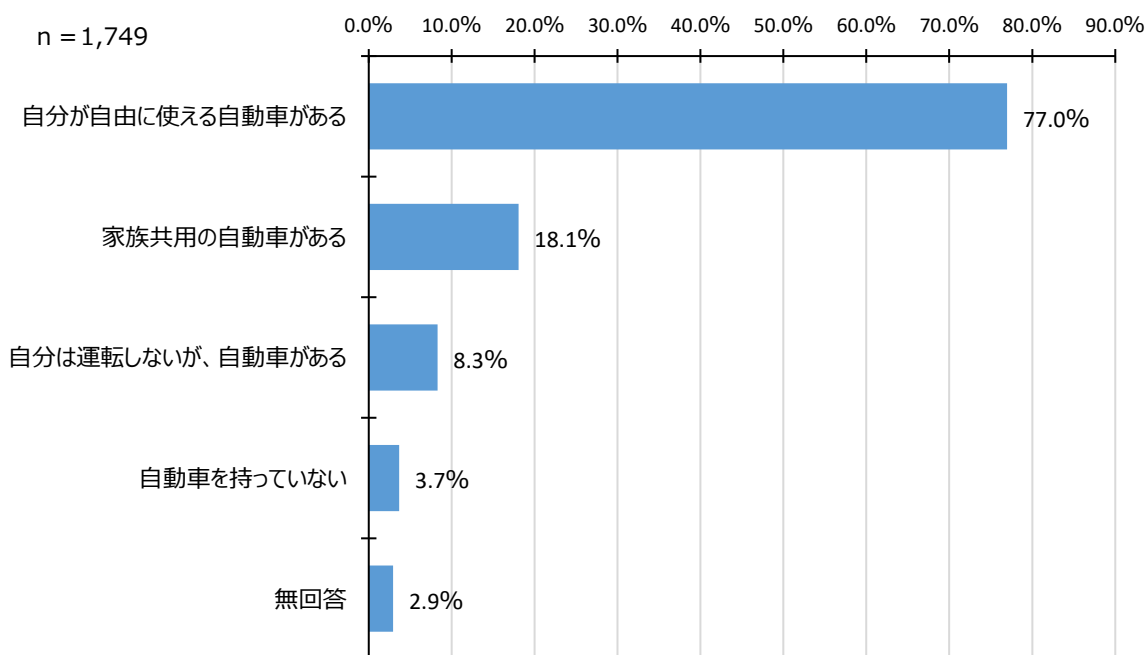
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	88.3%	19.4%	5.1%
東船岡小学校区 (n=247)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	88.3%	23.1%	5.3%
槻木小学校区 (n=478)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	85.6%	19.0%	6.7%
柴田小学校区 (n=74)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	93.2%	17.6%	5.4%
船迫小学校区 (n=361)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	88.9%	24.1%	6.6%
西住小学校区 (n=80)	自動車の運転免許証がある	オートバイ（原付含む）の 運転免許証がある	一度も運転免許証を持った ことがない
	91.3%	13.8%	5.0%

## (2) 自動車の所持状況について

問 あなたの世帯では自動車をお持ちですか。また、お持ちの場合はカッコ内に台数をご記入ください。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者の自動車の所持状況については、「自分が自由に使える自動車がある」が77.0%と最も高く、「家族共用の自動車がある」が18.1%、「自分は運転しないが、自動車がある」が8.3%と続きます。
- 「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」を合わせた“自動車を持っている”<sup>※</sup>方の世帯での自動車保有台数は平均で1.96台（最大7台、最少1台）となっています。
- 前回調査との比較では「自分が自由に使える自動車がある」が6.4ポイント上昇、「家族共用の自動車がある」が4.7ポイント減少となっています。

図表 自動車の所持状況について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自分が自由に使える自動車がある	1,346	77.0%	70.6%	6.4
2	家族共用の自動車がある	316	18.1%	22.8%	▲ 4.7
3	自分は運転しないが、自動車がある	145	8.3%	11.6%	▲ 3.3
4	自動車を持っていない	64	3.7%	4.7%	▲ 1.0
	無回答	51	2.9%	4.7%	▲ 1.8

※ “自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

- 性別による自動車の所持状況についてみると、男女とも回答全体と同様に「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。
- 年齢別による自動車の所持状況についてみると、10代は「自分は運転しないが、自動車がある」、20代以上は「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。

図表 自動車の所持状況について（性別・年齢別）

	“自動車を持っている”			自動車を持っていない	無回答
	自由に使える自動車	家族共用	運転しないがある		
男性 (n=793)	78.9%	18.5%	6.6%	4.4%	2.1%
女性 (n=917)	75.8%	17.6%	9.7%	3.5%	1.9%
10代 (n=51)	9.8%	31.4%	62.7%	5.9%	0.0%
20代 (n=51)	64.7%	23.5%	7.8%	7.8%	0.0%
30代 (n=251)	78.5%	13.9%	11.6%	3.6%	0.4%
40代 (n=378)	83.6%	15.6%	6.1%	2.4%	1.9%
50代 (n=421)	80.8%	15.7%	3.1%	4.8%	3.6%
60代 (n=457)	80.1%	21.2%	5.5%	4.2%	1.3%
70歳以上 (n=136)	64.7%	22.8%	14.0%	3.7%	4.4%

※ “自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

- 居住地区別による自動車の所持状況についてみると、各地区とも「自分が自由に使える自動車がある」が最も高くなっています。

図表 自動車の所持状況について（居住地区別）

	“自動車を持っている”			自動車を持っていない	無回答
	自由に使える自動車	家族共用	運転しないがある		
船岡小学校区 (n=495)	75.6%	18.6%	7.1%	4.8%	2.2%
東船岡小学校区 (n=247)	79.4%	17.4%	6.5%	4.9%	2.0%
槻木小学校区 (n=478)	75.1%	17.4%	10.3%	3.8%	1.9%
柴田小学校区 (n=74)	83.8%	23.0%	4.1%	1.4%	5.4%
船迫小学校区 (n=361)	78.1%	17.7%	8.9%	3.0%	1.4%
西住小学校区 (n=80)	81.3%	20.0%	11.3%	3.8%	1.3%

※ “自動車を持っている”：「自分が自由に使える自動車がある」、「家族共用の自動車がある」、「自分は運転しないが、自動車がある」と回答した方

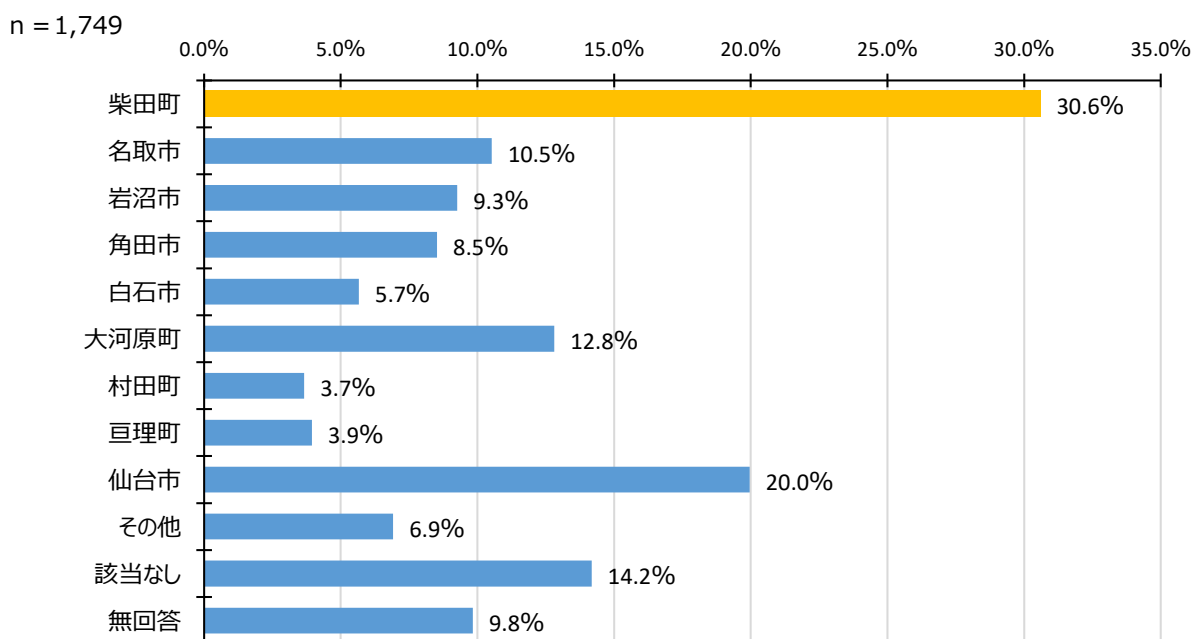
### (3) 出かけ先について

問 出かけ先についてうかがいます。下記の項目それぞれの行き先についてお答えください。＜ア～カの目的において、それぞれ行き先を3つまで○印＞

#### ア. 通勤・通学

- 回答者の通勤・通学については、「柴田町」が30.6%と最も高く、「仙台市」が20.0%、「大河原町」が12.8%と続きます。
- 前回調査との比較では「仙台市」が6.4ポイント上昇となっています。

図表 通勤・通学先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

順位	行き先	回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	535	30.6%	24.6%	6.0
2	名取市	184	10.5%	—	—
3	岩沼市	162	9.3%	6.6%	2.7
4	角田市	149	8.5%	6.3%	2.2
5	白石市	99	5.7%	3.3%	2.4
6	大河原町	224	12.8%	7.5%	5.3
7	村田町	64	3.7%	2.4%	1.3
8	亶理町	69	3.9%	2.6%	1.3
9	仙台市	349	20.0%	13.6%	6.4
10	その他	121	6.9%	8.3%	▲ 1.4
11	該当なし	248	14.2%	17.4%	▲ 3.2
	無回答	172	9.8%	20.2%	▲ 10.4

※名取市は前回調査なし

- 性別による通勤・通学先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による通勤・通学先についてみると、各年代とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。
- 10～20代は「仙台市」が最も高くなっており、10～30代は「名取市」を上位に挙げています。

図表 通勤・通学先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	柴田町	仙台市	大河原町
	28.4%	22.6%	11.7%
女性 (n=917)	柴田町	仙台市	大河原町
	32.5%	17.7%	13.6%
10代 (n=51)	仙台市	柴田町	名取市
	56.9%	21.6%	13.7%
20代 (n=51)	仙台市	柴田町	名取市
	35.3%	31.4%	23.5%
30代 (n=251)	柴田町	仙台市	名取市 大河原町
	35.9%	26.3%	16.3%
40代 (n=378)	柴田町	仙台市	大河原町
	35.7%	20.6%	16.7%
50代 (n=421)	柴田町	仙台市	岩沼市
	33.5%	23.3%	11.2%
60代 (n=457)	柴田町	大河原町	仙台市
	27.1%	12.0%	11.4%
70歳以上 (n=136)	柴田町	仙台市	大河原町
	13.2%	5.9%	5.1%

- 居住地区別による通勤・通学先についてみると、各地区とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。

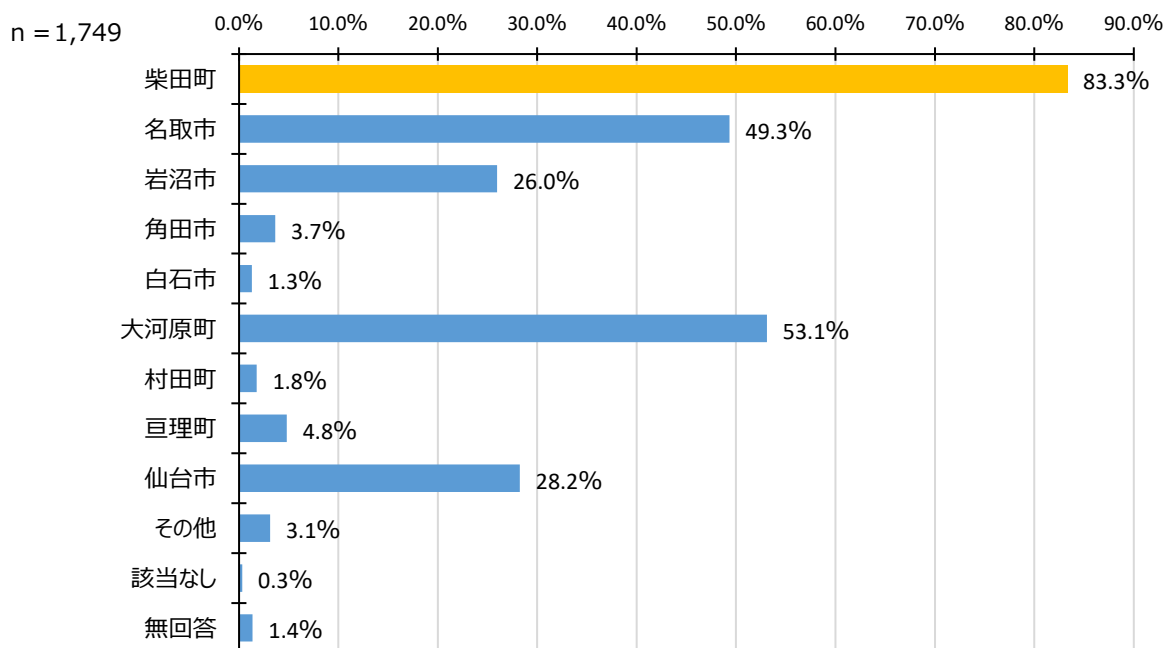
図表 通勤・通学先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	柴田町	仙台市	大河原町
	28.4%	22.6%	11.7%
東船岡小学校区 (n=247)	柴田町	仙台市	大河原町
	32.5%	17.7%	13.6%
槻木小学校区 (n=478)	仙台市	柴田町	名取市
	56.9%	21.6%	13.7%
柴田小学校区 (n=74)	仙台市	柴田町	名取市
	35.3%	31.4%	23.5%
船迫小学校区 (n=361)	柴田町	仙台市	名取市 大河原町
	35.9%	26.3%	16.3%
西住小学校区 (n=80)	柴田町	仙台市	大河原町
	35.7%	20.6%	16.7%

## イ. 買い物

- 回答者の買い物先については、「柴田町」が83.3%と最も高く、「大河原町」が53.1%、「名取市」が49.3%と続きます。
- 前回調査との比較では「岩沼市」が2.2ポイント上昇、「角田市」が1.6ポイント減少となっています。

図表 買い物先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	1,457	83.3%	84.7%	▲ 1.4
2	名取市	863	49.3%	—	—
3	岩沼市	454	26.0%	23.8%	▲ 2.2
4	角田市	64	3.7%	5.3%	▲ 1.6
5	白石市	23	1.3%	2.0%	▲ 0.7
6	大河原町	929	53.1%	53.8%	▲ 0.7
7	村田町	31	1.8%	2.8%	▲ 1.0
8	亶理町	84	4.8%	4.3%	▲ 0.5
9	仙台市	494	28.2%	28.2%	0.0
10	その他	55	3.1%	19.4%	▲ 16.3
11	該当なし	6	0.3%	0.5%	▲ 0.2
	無回答	24	1.4%	3.1%	▲ 1.7

※名取市は前回調査なし

- 性別による買い物先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による買い物先についてみると、各年代とも「柴田町」、「名取市」を上位に挙げています。
- 10～20代は「名取市」が最も高くなっており、「仙台市」を上位に挙げています。

図表 買い物先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	柴田町	大河原町	名取市
	83.4%	50.9%	44.9%
女性 (n=917)	柴田町	大河原町	名取市
	83.9%	54.9%	53.1%
10代 (n=51)	名取市	柴田町	仙台市
	62.7%	60.8%	41.2%
20代 (n=51)	名取市	柴田町	仙台市
	68.6%	60.8%	49.0%
30代 (n=251)	柴田町	名取市	大河原町
	78.9%	63.3%	54.6%
40代 (n=378)	柴田町	名取市	大河原町
	79.9%	63.0%	55.6%
50代 (n=421)	柴田町	大河原町	名取市
	84.8%	51.5%	45.1%
60代 (n=457)	柴田町	大河原町	名取市
	90.2%	53.8%	37.4%
70歳以上 (n=136)	柴田町	大河原町	名取市
	91.9%	55.9%	27.2%

- 居住地区別による買い物先についてみると、各地区とも「柴田町」、「名取市」を上位に挙げています。

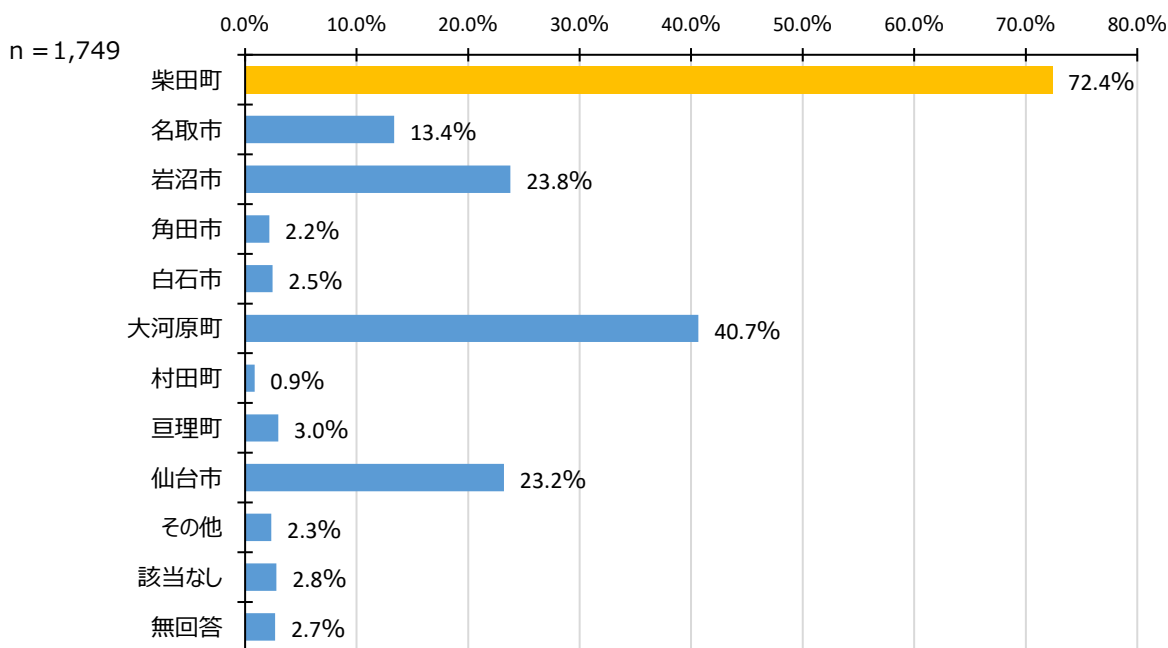
図表 買い物先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	柴田町	大河原町	名取市
	84.2%	56.4%	51.1%
東船岡小学校区 (n=247)	柴田町	大河原町	名取市
	85.8%	49.8%	49.4%
槻木小学校区 (n=478)	柴田町	名取市	岩沼市
	81.4%	48.5%	45.8%
柴田小学校区 (n=74)	柴田町	大河原町	名取市
	83.8%	52.7%	44.6%
船迫小学校区 (n=361)	柴田町	大河原町	名取市
	83.9%	63.7%	50.4%
西住小学校区 (n=80)	柴田町	大河原町	名取市
	82.5%	77.5%	46.3%

## ウ. 通院

- 回答者の通院先については、「柴田町」が72.4%と最も高く、「大河原町」が40.7%、「岩沼市」が23.8%と続きます。
- 前回調査との比較では「柴田町」が7.9ポイント上昇となっています。

図表 通院先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	1,266	72.4%	64.5%	7.9
2	名取市	234	13.4%	—	—
3	岩沼市	416	23.8%	18.4%	5.4
4	角田市	38	2.2%	0.9%	1.3
5	白石市	43	2.5%	2.0%	0.5
6	大河原町	711	40.7%	38.7%	2.0
7	村田町	15	0.9%	0.8%	0.1
8	亶理町	52	3.0%	2.6%	0.4
9	仙台市	406	23.2%	19.4%	3.8
10	その他	41	2.3%	9.9%	▲ 7.6
11	該当なし	49	2.8%	4.6%	▲ 1.8
	無回答	47	2.7%	5.1%	▲ 2.4

※名取市は前回調査なし

- 性別による通院先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による通院先についてみると、各年代とも「柴田町」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 10代及び50～60代は「仙台市」、20～40代及び70歳以上は「岩沼市」を上位に挙げています。

図表 通院先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	柴田町	大河原町	仙台市
	73.4%	40.5%	21.4%
女性 (n=917)	柴田町	大河原町	岩沼市
	72.1%	41.7%	26.1%
10代 (n=51)	柴田町	大河原町	仙台市
	70.6%	37.3%	27.5%
20代 (n=51)	柴田町	大河原町	岩沼市
	70.6%	39.2%	19.6%
30代 (n=251)	柴田町	大河原町	岩沼市
	66.1%	40.6%	29.9%
40代 (n=378)	柴田町	大河原町	岩沼市
	75.4%	42.9%	26.7%
50代 (n=421)	柴田町	大河原町	仙台市
	72.7%	38.0%	25.2%
60代 (n=457)	柴田町	大河原町	仙台市
	72.4%	41.1%	24.5%
70歳以上 (n=136)	柴田町	大河原町	岩沼市
	77.2%	44.1%	26.5%

- 居住地区別による通院先についてみると、各地区とも「柴田町」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 西住小学校区は「大河原町」が最も高くなっています。

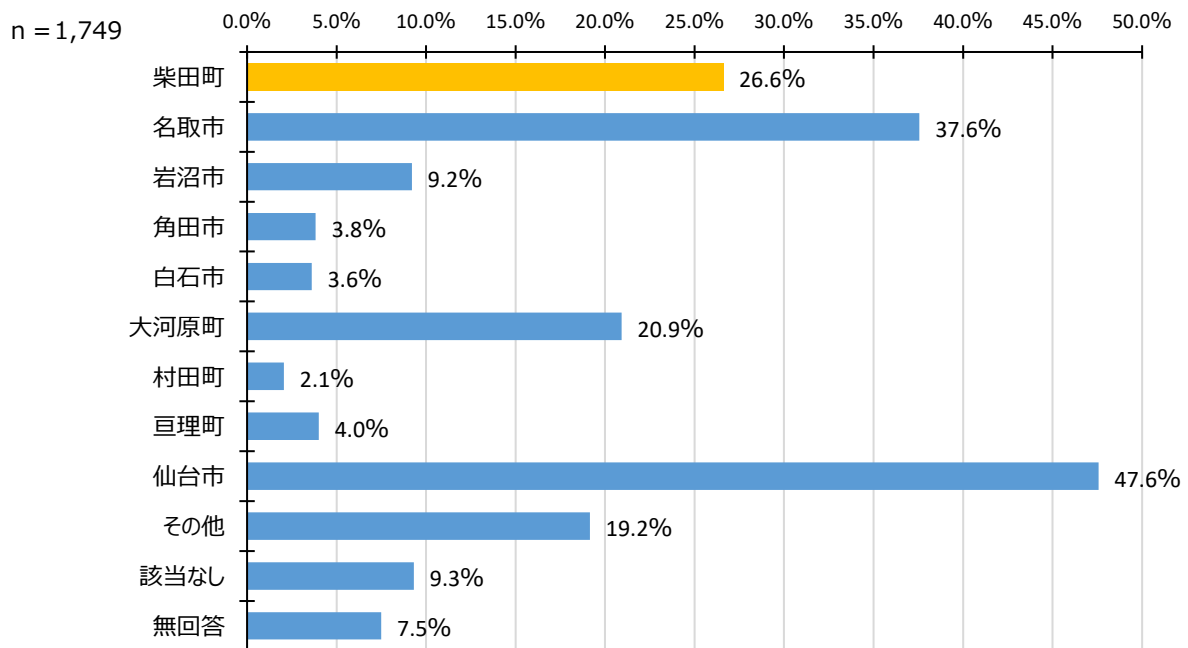
図表 通院先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	柴田町	大河原町	仙台市
	74.1%	44.0%	24.2%
東船岡小学校区 (n=247)	柴田町	大河原町	仙台市
	79.8%	42.5%	21.5%
槻木小学校区 (n=478)	柴田町	岩沼市	大河原町
	72.0%	34.9%	26.4%
柴田小学校区 (n=74)	柴田町	大河原町	岩沼市
	67.6%	40.5%	32.4%
船迫小学校区 (n=361)	柴田町	大河原町	仙台市
	70.9%	46.3%	23.5%
西住小学校区 (n=80)	大河原町	柴田町	仙台市
	75.0%	60.0%	21.3%

## エ. 余暇（趣味など）

- 回答者の余暇（趣味など）の出かけ先については、「仙台市」が47.6%と最も高く、「名取市」が37.6%、「柴田町」が26.6%と続きます。
- 前回調査との比較では「仙台市」が11.0ポイント上昇、「柴田町」が5.8ポイント減少となっています。

図表 余暇（趣味など）の出かけ先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	465	26.6%	32.4%	▲ 5.8
2	名取市	657	37.6%	—	—
3	岩沼市	161	9.2%	8.3%	0.9
4	角田市	67	3.8%	3.9%	▲ 0.1
5	白石市	63	3.6%	3.4%	0.2
6	大河原町	366	20.9%	19.1%	1.8
7	村田町	36	2.1%	2.7%	▲ 0.6
8	亶理町	70	4.0%	4.4%	▲ 0.4
9	仙台市	832	47.6%	36.6%	11.0
10	その他	335	19.2%	29.5%	▲ 10.3
11	該当なし	163	9.3%	10.6%	▲ 1.3
	無回答	131	7.5%	12.9%	▲ 5.4

※名取市は前回調査なし

- 性別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、男女とも回答全体と同様に「仙台市」が最も高くなっています。
- 年齢別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、各年代とも「仙台市」を上位に挙げています。
- 70歳以上は「柴田町」が最も高くなっています。

図表 余暇（趣味など）の出かけ先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	仙台市	名取市	柴田町
	45.9%	32.4%	30.3%
女性 (n=917)	仙台市	名取市	柴田町
	49.5%	42.2%	23.7%
10代 (n=51)	仙台市	名取市	大河原町
	76.5%	52.9%	21.6%
20代 (n=51)	仙台市	名取市	大河原町
	66.7%	56.9%	21.6%
30代 (n=251)	仙台市	名取市	大河原町
	61.8%	58.2%	21.9%
40代 (n=378)	仙台市	名取市	大河原町
	56.3%	51.1%	24.1%
50代 (n=421)	仙台市	名取市	柴田町
	48.9%	36.8%	26.6%
60代 (n=457)	仙台市	柴田町	大河原町
	35.0%	30.0%	20.1%
70歳以上 (n=136)	柴田町	仙台市	大河原町
	43.4%	18.4%	16.2%

- 居住地区別による余暇（趣味など）の出かけ先についてみると、各地区とも「仙台市」、「名取市」を上位に挙げています。
- 西住小学校区は「大河原町」を上位に挙げています。

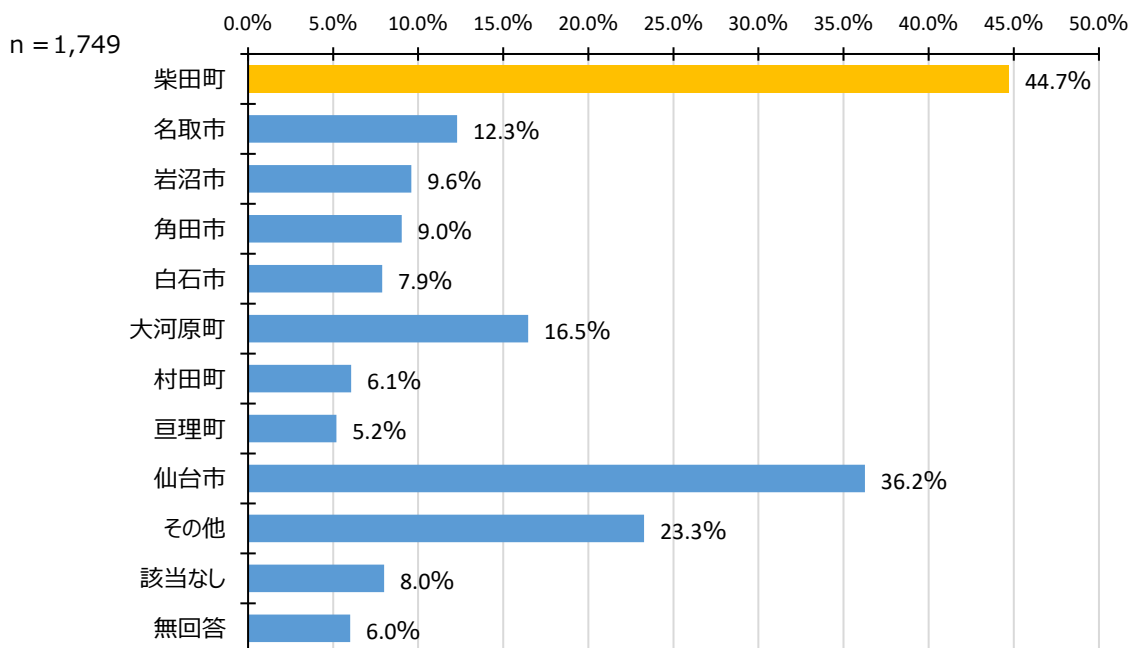
図表 余暇（趣味など）の出かけ先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	仙台市	名取市	柴田町
	49.5%	36.2%	28.3%
東船岡小学校区 (n=247)	仙台市	名取市	柴田町
	43.3%	35.6%	23.1%
槻木小学校区 (n=478)	仙台市	名取市	柴田町
	47.7%	42.5%	24.1%
柴田小学校区 (n=74)	仙台市	名取市	柴田町
	37.8%	33.8%	27.0%
船迫小学校区 (n=361)	仙台市	名取市	柴田町
	50.4%	34.1%	29.6%
西住小学校区 (n=80)	仙台市	名取市	大河原町
	50.0%	46.3%	41.3%

## オ. 家族・友人などへの訪問

- 回答者の家族・友人などへの訪問先については、「柴田町」が44.7%と最も高く、「仙台市」が36.2%、「大河原町」が16.5%と続きます。
- 前回調査との比較では「仙台市」が6.6ポイント上昇、「柴田町」が5.6ポイント減少となっています。

図表 家族・友人などへの訪問先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	782	44.7%	50.3%	▲ 5.6
2	名取市	215	12.3%	—	—
3	岩沼市	168	9.6%	9.3%	0.3
4	角田市	158	9.0%	8.8%	0.2
5	白石市	138	7.9%	6.1%	1.8
6	大河原町	288	16.5%	15.2%	1.3
7	村田町	106	6.1%	5.4%	0.7
8	亶理町	91	5.2%	4.7%	0.5
9	仙台市	634	36.2%	29.6%	6.6
10	その他	407	23.3%	26.9%	▲ 3.6
11	該当なし	140	8.0%	7.4%	0.6
	無回答	105	6.0%	8.2%	▲ 2.2

※名取市は前回調査なし

- 性別による家族・友人などへの訪問先についてみると、男女とも回答全体と同様に「柴田町」が最も高くなっています。
- 年齢別による家族・友人などへの訪問先についてみると、各年代とも「柴田町」、「仙台市」、「大河原町」を上位に挙げています。
- 30代は「名取市」を上位に挙げています。

図表 家族・友人などへの訪問先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	柴田町	仙台市	大河原町
	41.2%	34.2%	15.1%
女性 (n=917)	柴田町	仙台市	大河原町
	48.3%	38.3%	17.6%
10代 (n=51)	仙台市	柴田町	大河原町
	43.1%	33.3%	21.6%
20代 (n=51)	仙台市	柴田町	大河原町
	49.0%	41.2%	21.6%
30代 (n=251)	仙台市	柴田町	名取市
	43.8%	38.6%	19.5%
40代 (n=378)	柴田町	仙台市	大河原町
	45.8%	37.3%	14.6%
50代 (n=421)	柴田町	仙台市	大河原町
	44.7%	35.4%	17.3%
60代 (n=457)	柴田町	仙台市	大河原町
	46.2%	32.8%	16.4%
70歳以上 (n=136)	柴田町	仙台市	大河原町
	55.1%	27.2%	22.1%

- 居住地区別による家族・友人などへの訪問先についてみると、各地区とも「柴田町」、「仙台市」を上位に挙げています。
- 槻木小学校区は「仙台市」、西住小学校区は「大河原町」が最も高くなっています。

図表 家族・友人などへの訪問先について（居住地区別：上位3項目）

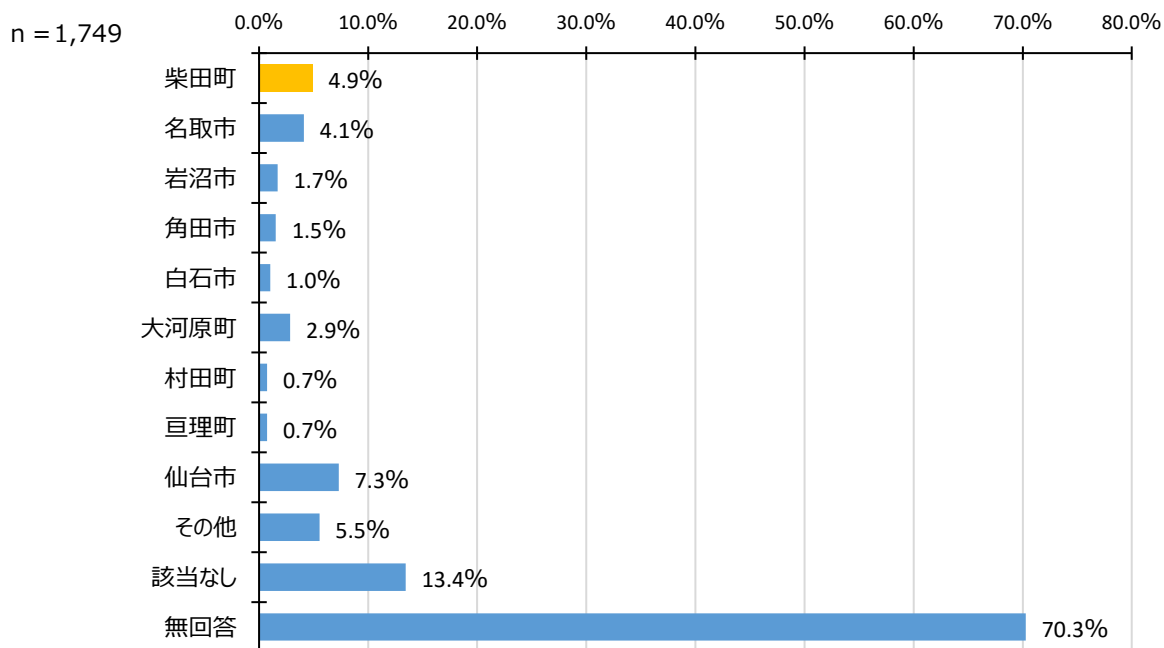
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	柴田町	仙台市	大河原町
	44.8%	36.2%	14.9%
東船岡小学校区 (n=247)	柴田町	仙台市	大河原町
	49.8%	34.4%	17.4%
槻木小学校区 (n=478)	仙台市	柴田町	名取市
	41.0%	39.7%	14.0%
柴田小学校区 (n=74)	柴田町	仙台市	名取市
	48.6%	18.9%	16.2%
船迫小学校区 (n=361)	柴田町	仙台市	大河原町
	49.9%	35.5%	18.6%
西住小学校区 (n=80)	大河原町	仙台市	柴田町
	40.0%	37.5%	35.0%

## カ. その他

○ 回答者のその他の出かけ先については、「仙台市」が7.3%と最も高く、「柴田町」が4.9%、「名取市」が4.1%と続きます。

○ 前回調査との比較では「仙台市」が4.8ポイント上昇となっています。

図表 その他の出かけ先について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	柴田町	86	4.9%	2.0%	2.9
2	名取市	72	4.1%	—	—
3	岩沼市	30	1.7%	1.0%	0.7
4	角田市	27	1.5%	0.4%	1.1
5	白石市	18	1.0%	0.7%	0.3
6	大河原町	50	2.9%	1.5%	1.4
7	村田町	13	0.7%	0.4%	0.3
8	亶理町	13	0.7%	0.4%	0.3
9	仙台市	128	7.3%	2.5%	4.8
10	その他	97	5.5%	2.1%	3.4
11	該当なし	235	13.4%	8.5%	4.9
	無回答	1,229	70.3%	85.4%	▲ 15.1

※名取市は前回調査なし

- 性別によるその他の出かけ先についてみると、男女とも回答全体と同様に「仙台市」が最も高くなっています。
- 年齢別によるその他の出かけ先についてみると、各年代とも「仙台市」、「柴田町」を上位に挙げています。
- 10代は「柴田町」及び「大河原町」、20代は「柴田町」が最も高くなっています。

図表 その他の出かけ先について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	仙台市	柴田町	名取市
	7.3%	6.1%	3.4%
女性 (n=917)	仙台市	名取市	柴田町
	7.4%	4.7%	4.0%
10代 (n=51)	柴田町 大河原町	名取市 仙台市	角田市
	11.8%	9.8%	5.9%
20代 (n=51)	柴田町	名取市 仙台市	岩沼市 大河原町
	9.8%	7.8%	3.9%
30代 (n=251)	仙台市	名取市	柴田町
	10.8%	7.2%	6.0%
40代 (n=378)	仙台市	柴田町	名取市
	9.3%	6.1%	4.2%
50代 (n=421)	仙台市	柴田町	大河原町
	6.9%	5.5%	3.6%
60代 (n=457)	仙台市	名取市	柴田町
	5.5%	3.1%	2.6%
70歳以上 (n=136)	仙台市	柴田町	名取市 岩沼市 角田市 白石市 大河原町 村田町
	2.2%	1.5%	0.7%

- 居住地区別によるその他の出かけ先についてみると、各地区とも回答全体と同様に「仙台市」が最も高くなっています。
- 東船岡小学校区、西住小学校区は「大河原町」、柴田小学校区は「岩沼市」及び「白石市」を上位に挙げています。

図表 その他の出かけ先について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	仙台市	柴田町	名取市
	6.9%	4.8%	4.2%
東船岡小学校区 (n=247)	仙台市	柴田町 名取市	大河原町
	9.7%	6.9%	6.1%
槻木小学校区 (n=478)	仙台市	柴田町	名取市
	5.6%	5.0%	3.1%
柴田小学校区 (n=74)	仙台市	柴田町 名取市	岩沼市 白石市
	9.5%	4.1%	2.7%
船迫小学校区 (n=361)	仙台市	柴田町	名取市
	7.5%	4.4%	3.6%
西住小学校区 (n=80)	仙台市	大河原町	名取市
	11.3%	7.5%	3.8%

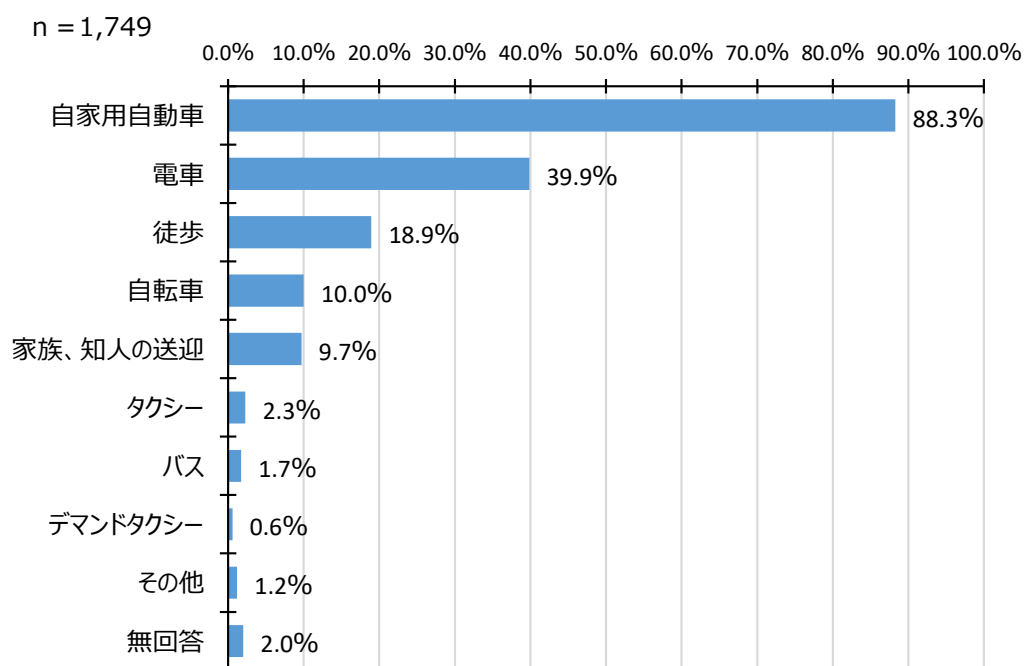
#### (4) 出かけ先への移動手段について

問 行き先への移動手段についてお答えください。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者の出かけ先への移動手段については、「自家用自動車」が88.3%と最も高く、「電車」が39.9%、「徒歩」が18.9%と続きます。
- 前回調査との比較では「電車」が3.4ポイント上昇、「自転車」が6.9ポイント減少となっています。

図表 出かけ先への移動手段について

(※下記グラフは降順です)



(今回：n = 1,749、前回：n = 1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	自家用自動車	1,544	88.3%	86.8%	1.5
2	タクシー	40	2.3%	3.8%	▲ 1.5
3	デマンドタクシー	10	0.6%	1.6%	▲ 1.0
4	バス	30	1.7%	2.2%	▲ 0.5
5	電車	697	39.9%	36.5%	3.4
6	徒歩	331	18.9%	25.7%	▲ 6.8
7	自転車	175	10.0%	16.9%	▲ 6.9
8	家族、知人の送迎	170	9.7%	12.8%	▲ 3.1
9	その他	21	1.2%	0.8%	0.4
	無回答	34	2.0%	1.7%	0.3

- 性別による出かけ先への移動手段についてみると、男女とも回答全体と同様に「自家用自動車」が最も高くなっています。
- 年齢別による出かけ先への移動手段についてみると、各年代とも「自家用自動車」、「電車」、「徒歩」を上位に挙げています。
- 10代は「電車」が最も高くなっており、「家族、知人の送迎」を上位に挙げています。

図表 出かけ先への移動手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	自家用自動車	電車	徒歩
	88.3%	35.9%	17.8%
女性 (n=917)	自家用自動車	電車	徒歩
	88.8%	43.2%	19.7%
10代 (n=51)	電車	自家用自動車	徒歩 家族、知人の送迎
	70.6%	43.1%	31.4%
20代 (n=51)	自家用自動車	電車	徒歩
	82.4%	56.9%	23.5%
30代 (n=251)	自家用自動車	電車	徒歩
	85.3%	43.8%	15.5%
40代 (n=378)	自家用自動車	電車	徒歩
	91.5%	35.7%	12.7%
50代 (n=421)	自家用自動車	電車	徒歩
	90.5%	39.9%	14.3%
60代 (n=457)	自家用自動車	電車	徒歩
	91.9%	35.4%	24.5%
70歳以上 (n=136)	自家用自動車	電車	徒歩
	86.8%	41.9%	32.4%

- 居住地区別による出かけ先への移動手段についてみると、各地区とも回答全体と同様に「自家用自動車」が最も高くなっています。
- 柴田小学校区は「家族、知人の送迎」を上位に挙げています。

図表 出かけ先への移動手段について（居住地区別：上位3項目）

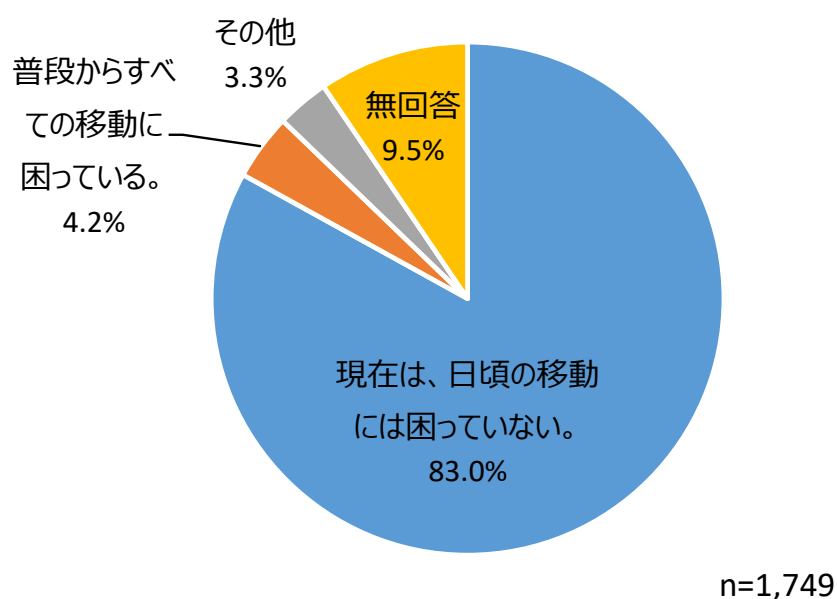
	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	自家用自動車	電車	徒歩
	87.3%	44.8%	23.0%
東船岡小学校区 (n=247)	自家用自動車	電車	徒歩
	91.5%	34.4%	13.8%
槻木小学校区 (n=478)	自家用自動車	電車	徒歩
	86.6%	43.3%	17.4%
柴田小学校区 (n=74)	自家用自動車	電車	家族、知人の送迎
	90.5%	21.6%	8.1%
船迫小学校区 (n=361)	自家用自動車	電車	徒歩
	88.9%	36.8%	21.1%
西住小学校区 (n=80)	自家用自動車	電車	徒歩
	92.5%	41.3%	23.8%

## (5) 日頃の移動手段について

問 あなたご自身の日頃の移動手段に関するご意見をお聞かせください。(自由記述含む。)

- 回答者の日頃の移動手段については、「現在は、日頃の移動には困っていない」が83.0%と最も高くなっています。
- 前回調査との比較では「現在は、日頃の移動には困っていない」が2.2ポイント増加となっています。

図表 日頃の移動手段について



(今回：n=1,749、前回：n=1,945)

		回答数	構成比	前回値	比較
1	現在は、日頃の移動には困っていない	1,452	83.0%	80.8%	2.2
2	普段からすべての移動に困っている	73	4.2%	3.2%	1.0
3	その他	58	3.3%	7.0%	▲ 3.7
	無回答	166	9.5%	8.9%	0.6

- 性別による日頃の移動手段についてみると、男女とも回答全体と同様に「現在は、日頃の移動には困っていない」が最も高くなっています。
- 年齢別による日頃の移動手段についてみると、各年代とも回答全体と同様に「現在は、日頃の移動には困っていない」が最も高くなっています。

図表 日頃の移動手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	困っていない	困っている	その他	無回答
男性 (n=793)	86.1%	3.0%	2.9%	7.9%
女性 (n=917)	80.8%	5.1%	3.5%	10.6%
10代 (n=51)	72.5%	21.6%	0.0%	5.9%
20代 (n=51)	70.6%	17.6%	5.9%	5.9%
30代 (n=251)	82.5%	6.4%	6.0%	5.2%
40代 (n=378)	87.0%	2.9%	4.0%	6.1%
50代 (n=421)	84.8%	2.9%	2.9%	9.5%
60代 (n=457)	84.0%	2.2%	2.0%	11.8%
70歳以上 (n=136)	74.3%	2.9%	2.9%	19.9%

- 居住地区別による日頃の移動手段についてみると、各地区とも回答全体と同様に「現在は、日頃の移動には困っていない」が最も高くなっています。

図表 日頃の移動手段について（居住地区別：上位3項目）

	困っていない	困っている	その他	無回答
船岡小学校区 (n=495)	85.7%	2.6%	3.4%	8.3%
東船岡小学校区 (n=247)	84.6%	4.0%	3.2%	8.1%
槻木小学校区 (n=478)	81.8%	5.2%	3.6%	9.4%
柴田小学校区 (n=74)	77.0%	5.4%	2.7%	14.9%
船迫小学校区 (n=361)	82.0%	3.6%	3.6%	10.8%
西住小学校区 (n=80)	86.3%	8.8%	1.3%	3.8%

## 5. 行政情報の取得方法等について

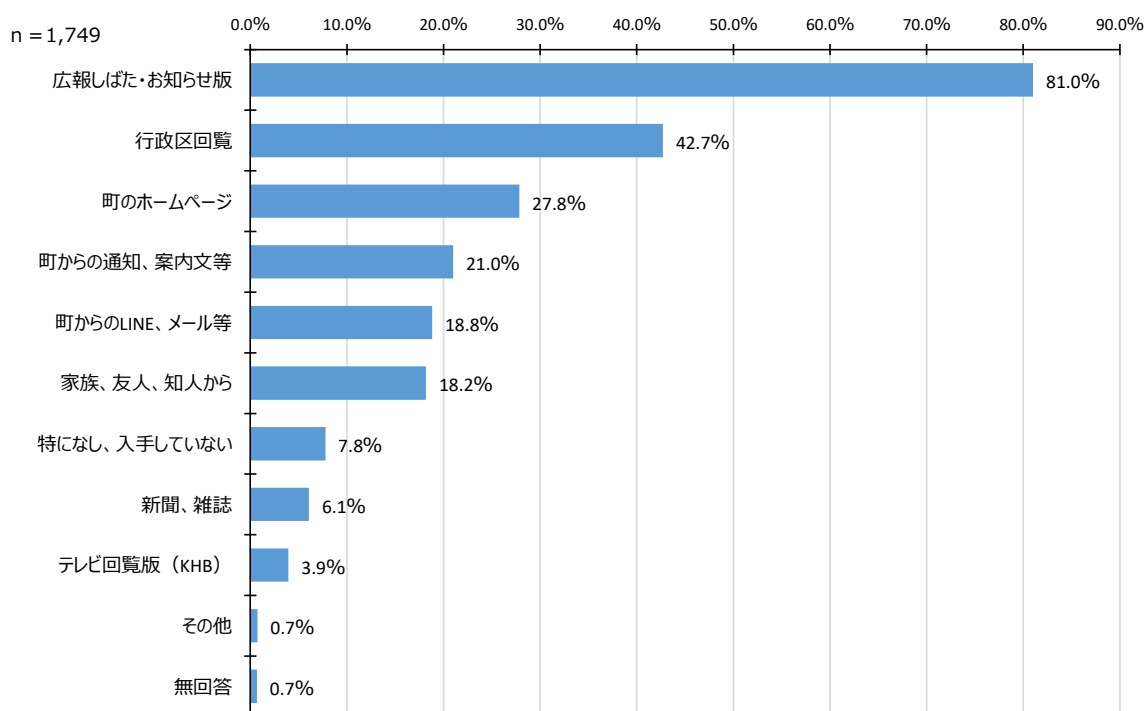
### (1) 行政情報の取得手段について

問 あなたは、柴田町の行政情報をどのような手段で取得していますか。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者の行政情報の取得手段については、「広報しばた・お知らせ版」が81.0%と最も高く、「行政区回覧」が42.7%、「町のホームページ」が27.8%と続きます。

図表 行政情報の取得手段について

(※下記グラフは降順です)



(n=1,749)

		回答数	構成比
1	町のホームページ	487	27.8%
2	町からのLINE、メール等	329	18.8%
3	広報しばた・お知らせ版	1,417	81.0%
4	町からの通知、案内文等	367	21.0%
5	テレビ回覧版 (KHB)	69	3.9%
6	行政区回覧	747	42.7%
7	家族、友人、知人から	318	18.2%
8	新聞、雑誌	106	6.1%
9	特になし、入手していない	136	7.8%
10	その他	13	0.7%
	無回答	12	0.7%

- 性別による行政情報の取得手段についてみると、男女とも回答全体と同様に「広報しばた・お知らせ版」が最も高くなっています。
- 年齢別による行政情報の取得手段についてみると、各年代とも「広報しばた・お知らせ版」を上位に挙げています。
- 10代は「家族、友人、知人から」が最も高くなっており、10～20代は「特になし、入手していない」を上位に挙げています。

図表 行政情報の取得手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町のホームページ
	78.8%	42.9%	29.5%
女性 (n=917)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町のホームページ
	83.2%	43.5%	26.7%
10代 (n=51)	家族、友人、知人から	広報しばた・お知らせ版	特になし、入手していない
	39.2%	33.3%	29.4%
20代 (n=51)	広報しばた・お知らせ版	町のホームページ 特になし、入手していない	家族、友人、知人から
	54.9%	27.5%	17.6%
30代 (n=251)	広報しばた・お知らせ版	町のホームページ	行政区回覧
	71.3%	38.2%	23.9%
40代 (n=378)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町のホームページ
	82.3%	33.3%	32.8%
50代 (n=421)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町のホームページ
	81.2%	41.6%	27.6%
60代 (n=457)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町からの通知、案内文等
	90.4%	60.2%	28.2%
70歳以上 (n=136)	広報しばた・お知らせ版	行政区回覧	町からの通知、案内文等
	92.6%	72.8%	50.0%

- 居住地区別による行政情報の取得手段についてみると、各地区とも回答全体と同様に「広報しばた・お知らせ版」が最も高くなっています。
- 柴田小学校区は「町からのLINE、メール等」、「町からの通知、案内文等」を上位に挙げています。

図表 行政情報の取得手段について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	広報しばた・お知らせ版 81.6%	行政区回覧 43.8%	町のホームページ 29.1%
東船岡小学校区 (n=247)	広報しばた・お知らせ版 82.2%	行政区回覧 48.2%	町のホームページ 30.4%
槻木小学校区 (n=478)	広報しばた・お知らせ版 79.3%	行政区回覧 37.9%	町のホームページ 26.6%
柴田小学校区 (n=74)	広報しばた・お知らせ版 78.4%	行政区回覧 47.3%	町のホームページ 町からのLINE、メール等 町からの通知、案内文等 23.0%
船迫小学校区 (n=361)	広報しばた・お知らせ版 82.3%	行政区回覧 40.7%	町のホームページ 24.1%
西住小学校区 (n=80)	広報しばた・お知らせ版 85.0%	行政区回覧 50.0%	町のホームページ 42.5%

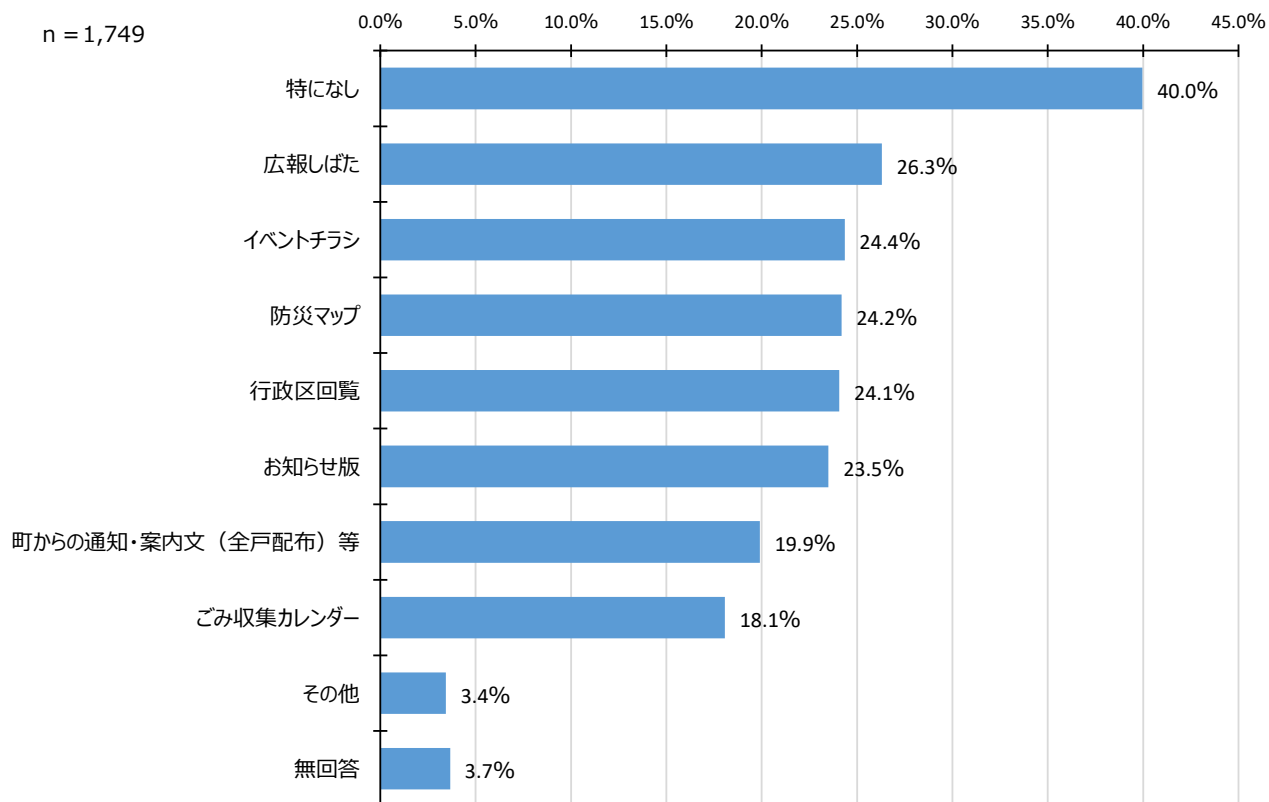
## (2) 電子データの配信希望について

問 柴田町で発行し、配布・回覧しているもののうち、紙ベースではなく、電子データで配信してほしいものはどれですか。〈あてはまるものすべてに○印〉

○ 回答者の電子データの配信希望については、「特になし」が40.0%と最も高く、「広報しばた」が26.3%、「イベントチラシ」が24.4%と続きます。

図表 電子データの配信希望について

(※下記グラフは降順です)



(n = 1,749)

		回答数	構成比
1	広報しばた	460	26.3%
2	お知らせ版	411	23.5%
3	行政区回覧	421	24.1%
4	イベントチラシ	426	24.4%
5	町からの通知・案内文（全戸配布）等	348	19.9%
6	ごみ収集カレンダー	316	18.1%
7	防災マップ	423	24.2%
8	特になし	699	40.0%
9	その他	60	3.4%
	無回答	64	3.7%

- 性別による電子データの配信希望についてみると、男女とも回答全体と同様に「特になし」が最も高くなっています。
- 年齢別による電子データの配信希望についてみると、40代以外は「特になし」を上位に挙げています。
- 40代は「広報しばた」が最も高くなっており、10～30代及び60代は「防災マップ」を上位に挙げています。

図表 電子データの配信希望について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	特になし	広報しばた	防災マップ
	42.5%	27.1%	25.0%
女性 (n=917)	特になし	広報しばた	行政区回覧
	38.5%	24.9%	24.4%
10代 (n=51)	特になし	広報しばた	防災マップ
	43.1%	29.4%	23.5%
20代 (n=51)	特になし	広報しばた イベントチラシ 防災マップ	行政区回覧
	41.2%	23.5%	19.6%
30代 (n=251)	特になし	防災マップ	イベントチラシ
	33.9%	32.3%	27.5%
40代 (n=378)	広報しばた	イベントチラシ	お知らせ版
	37.3%	36.5%	32.5%
50代 (n=421)	特になし	広報しばた	行政区回覧
	33.3%	29.2%	28.5%
60代 (n=457)	特になし	行政区回覧	お知らせ版 防災マップ
	51.4%	20.4%	19.0%
70歳以上 (n=136)	特になし	広報しばた	お知らせ版
	55.1%	14.0%	11.8%

- 居住地区別による電子データの配信希望についてみると、各地区とも回答全体と同様に「特になし」が最も高くなっています。
- 東船岡小学校区は「防災マップ」、柴田小学校区及び船迫小学校区は「お知らせ版」を上位に挙げています。

図表 電子データの配信希望について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	特になし	広報しばた	イベントチラシ
	37.0%	27.9%	27.5%
東船岡小学校区 (n=247)	特になし	行政区回覧	防災マップ
	42.5%	29.1%	28.7%
槻木小学校区 (n=478)	特になし	広報しばた	行政区回覧
	43.1%	22.4%	21.5%
柴田小学校区 (n=74)	特になし	お知らせ版	広報しばた 行政区回覧
	40.5%	31.1%	25.7%
船迫小学校区 (n=361)	特になし	広報しばた	お知らせ版
	37.1%	28.8%	27.7%
西住小学校区 (n=80)	特になし	イベントチラシ	広報しばた 行政区回覧
	43.8%	30.0%	26.3%

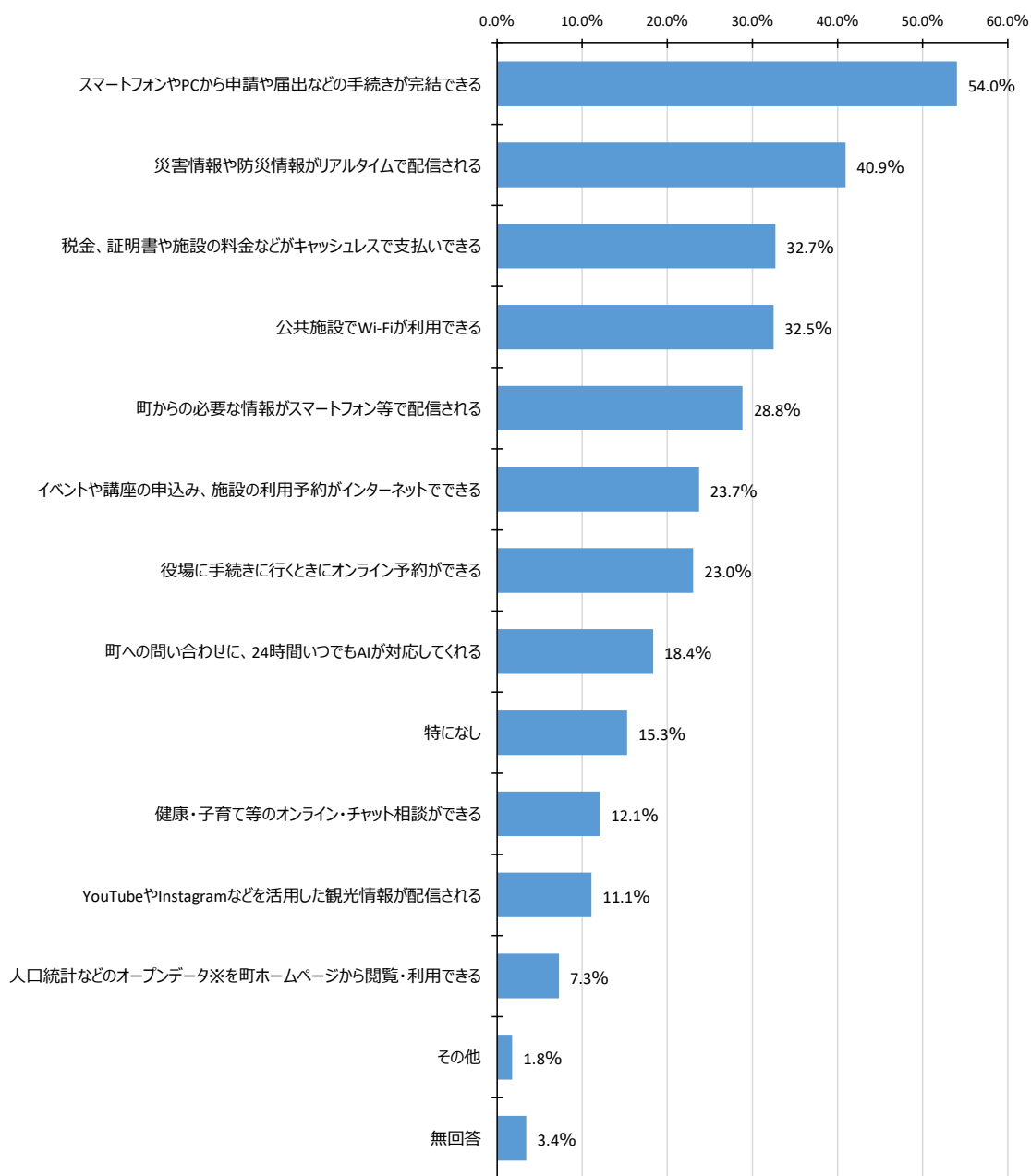
### (3) デジタル化について

問 今後、行政サービスのデジタル化に期待することは何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- 回答者のデジタル化については、「スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる」が54.0%と最も高く、「災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される」が40.9%、「税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる」が32.7%と続きます。

図表 デジタル化について

(※下記グラフは降順です)



n = 1,749

(n = 1,749)

		回答数	構成比
1	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	945	54.0%
2	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払いできる	572	32.7%
3	イベントや講座の申込み、施設の利用予約がインターネットでできる	415	23.7%
4	役場に手続きに行くときにオンライン予約ができる	403	23.0%
5	人口統計などのオープンデータ※を町ホームページから閲覧・利用できる	127	7.3%
6	公共施設でWi-Fiが利用できる	568	32.5%
7	町への問い合わせに、24時間いつでもAIが対応してくれる	321	18.4%
8	健康・子育て等のオンライン・チャット相談ができる	211	12.1%
9	町からの必要な情報がスマートフォン等で配信される	504	28.8%
10	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	716	40.9%
11	YouTubeやInstagramなどを活用した観光情報が配信される	194	11.1%
12	特になし	267	15.3%
13	その他	31	1.8%
	無回答	60	3.4%

※オープンデータとは、誰もがインターネット等から容易に利用（加工、編集等）できるように公開されたデータ

- 性別によるデジタル化についてみると、男女とも回答全体と同様に「スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる」が最も高くなっています。
- 年齢別によるデジタル化についてみると、10～50代は「スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる」、60代以上は「災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される」が最も高くなっています。

図表 デジタル化について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=793)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
	57.4%	38.1%	35.1%
女性 (n=917)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	公共施設でWi-Fiが利用できる
	51.1%	43.1%	32.9%
10代 (n=51)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	公共施設でWi-Fiが利用できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される
	58.8%	37.3%	21.6%
20代 (n=51)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる	役場に手続きに行くときにオンライン予約ができる公共施設でWi-Fiが利用できる
	66.7%	45.1%	35.3%
30代 (n=251)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される
	73.3%	48.6%	43.0%
40代 (n=378)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
	66.1%	46.0%	41.3%
50代 (n=421)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	公共施設でWi-Fiが利用できる
	58.2%	41.6%	37.5%
60代 (n=457)	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	町からの必要な情報がスマートフォン等で配信される
	40.9%	37.9%	27.8%
70歳以上 (n=136)	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	特になし	町からの必要な情報がスマートフォン等で配信される
	35.3%	32.4%	22.8%

- 居住地区別によるデジタル化についてみると、各地区とも回答全体と同様に「スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる」が最も高くなっています。
- 船岡小学校区、槻木小学校区及び柴田小学校区は「公共施設でWi-Fiが利用できる」、東船岡小学校区、船迫小学校区及び西住小学校区は「税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる」を上位に挙げています。

図表 デジタル化について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=495)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	公共施設でWi-Fiが利用できる
	54.9%	42.8%	31.7%
東船岡小学校区 (n=247)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
	49.8%	46.6%	37.7%
槻木小学校区 (n=478)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	公共施設でWi-Fiが利用できる
	54.8%	36.6%	34.3%
柴田小学校区 (n=74)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	公共施設でWi-Fiが利用できる
	48.6%	44.6%	37.8%
船迫小学校区 (n=361)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
	55.7%	38.8%	33.2%
西住小学校区 (n=80)	スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる	災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される	税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
	61.3%	48.8%	35.0%

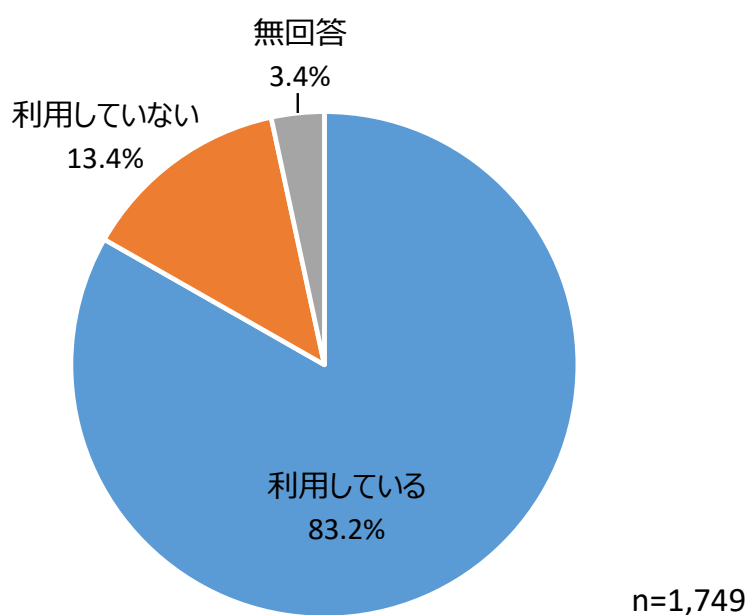
## 6. 情報通信機器の利用状況等について

### (1) インターネットの利用状況について

問 あなたは、インターネットを利用していますか。<1つに○印>

- 回答者のインターネットの利用状況については、「利用している」が83.2%、「利用していない」が13.4%となっています。

図表 インターネットの利用状況について



(n=1,749)

		回答数	構成比
1	利用している	1,456	83.2%
2	利用していない	234	13.4%
	無回答	59	3.4%

- 性別によるインターネットの利用状況についてみると、男女とも回答全体と同様に「利用している」が最も高くなっています。
- 年齢別によるインターネットの利用状況についてみると、各年代とも回答全体と同様に「利用している」が最も高くなっています。
- 70歳以上は「利用している」と「利用していない」が最も高くなっています。

図表 インターネットの利用状況について（性別・年齢別）

	利用している	利用していない	無回答
男性 (n=793)	83.4%	13.6%	3.0%
女性 (n=917)	83.1%	13.5%	3.4%
10代 (n=51)	98.0%	0.0%	2.0%
20代 (n=51)	92.2%	3.9%	3.9%
30代 (n=251)	95.2%	1.6%	3.2%
40代 (n=378)	93.7%	3.4%	2.9%
50代 (n=421)	85.5%	10.5%	4.0%
60代 (n=457)	74.4%	23.2%	2.4%
70歳以上 (n=136)	47.8%	47.8%	4.4%

- 居住地区別によるインターネットの利用状況についてみると、各地区とも回答全体と同様に「利用している」が最も高くなっています。

図表 インターネットの利用状況について（居住地区別）

	利用している	利用していない	無回答
船岡小学校区 (n=495)	85.9%	11.1%	3.0%
東船岡小学校区 (n=247)	78.5%	16.6%	4.9%
槻木小学校区 (n=478)	85.6%	11.9%	2.5%
柴田小学校区 (n=74)	77.0%	18.9%	4.1%
船迫小学校区 (n=361)	81.2%	15.5%	3.3%
西住小学校区 (n=80)	88.8%	10.0%	1.3%

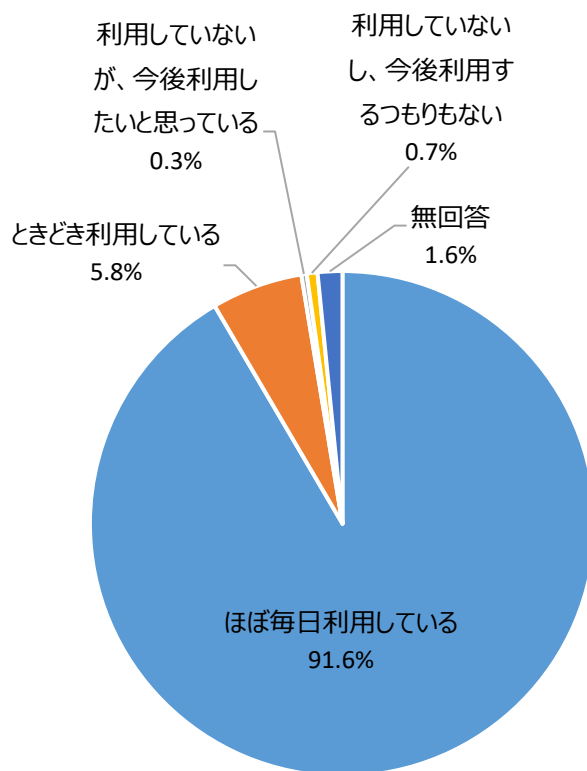
## (2) インターネットの利用頻度について

問 19 問 18 で「1.利用している」と回答した方にうかがいます。あなたはどのような機器で、どの程度インターネットを利用していますか。〈それぞれ1つに○印〉

### ア. スマートフォン

- 回答者のスマートフォンについては、「ほぼ毎日利用している」が91.6%と最も高く、「ときどき利用している」が5.8%、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が0.7%と続きます。

図表 スマートフォンについて



n=1,456

(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	1,333	91.6%
2	ときどき利用している	85	5.8%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	5	0.3%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	10	0.7%
	無回答	23	1.6%

- 性別によるスマートフォンについてみると、男女とも回答全体と同様に「ほぼ毎日利用している」が最も高くなっています。
- 年齢別によるスマートフォンについてみると、各年代とも回答全体と同様に「ほぼ毎日利用している」が最も高くなっています。

図表 スマートフォンについて（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	90.8%	6.1%	0.5%	0.8%	2.0%
女性 (n=762)	92.1%	5.6%	0.3%	0.7%	1.3%
10代 (n=50)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (n=47)	95.7%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%
30代 (n=239)	97.5%	1.3%	0.0%	0.8%	0.4%
40代 (n=354)	95.8%	2.5%	0.0%	0.3%	1.4%
50代 (n=360)	92.8%	4.7%	0.3%	0.8%	1.4%
60代 (n=340)	83.2%	12.6%	0.3%	1.2%	2.6%
70歳以上 (n=65)	73.8%	18.5%	3.1%	0.0%	4.6%

- 居住地区別によるスマートフォンについてみると、各地区とも回答全体と同様に「ほぼ毎日利用している」が最も高くなっています。

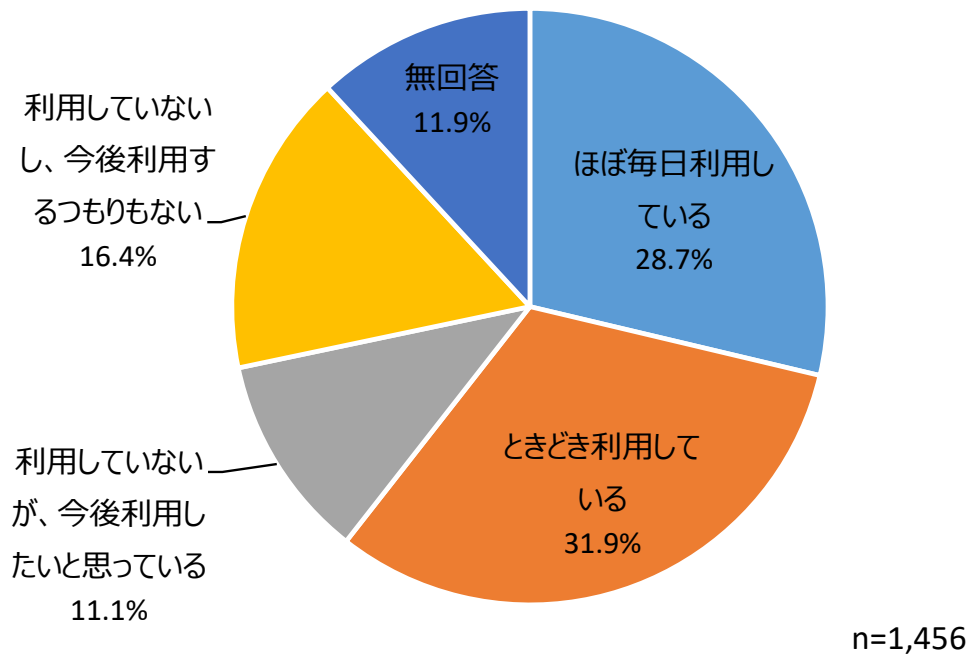
図表 スマートフォンについて（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	93.4%	4.5%	0.2%	0.9%	0.9%
東船岡小学校区 (n=194)	92.8%	5.2%	0.0%	0.0%	2.1%
槻木小学校区 (n=409)	90.7%	7.1%	0.7%	0.7%	0.7%
柴田小学校区 (n=57)	87.7%	7.0%	1.8%	0.0%	3.5%
船迫小学校区 (n=293)	89.8%	6.8%	0.0%	0.7%	2.7%
西住小学校区 (n=71)	95.8%	2.8%	0.0%	1.4%	0.0%

## イ. パソコン

- 回答者のパソコンについては、「ときどき利用している」が31.9%と最も高く、「ほぼ毎日利用している」が28.7%、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が16.4%と続きます。

図表 パソコンについて



(n=1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	418	28.7%
2	ときどき利用している	464	31.9%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	162	11.1%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	239	16.4%
	無回答	173	11.9%

- 性別によるパソコンについてみると、男性は「ほぼ毎日利用している」、女性は「ときどき利用している」が最も高くなっています。
- 年齢別によるスマートフォンについてみると、10代及び70歳以上は「ほぼ毎日利用している」、20代～60代は「ときどき利用している」が最も高くなっています。

図表 パソコンについて（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	37.4%	29.7%	10.1%	13.2%	9.7%
女性 (n=762)	21.3%	33.6%	11.8%	19.2%	14.2%
10代 (n=50)	46.0%	20.0%	22.0%	12.0%	0.0%
20代 (n=47)	29.8%	42.6%	10.6%	17.0%	0.0%
30代 (n=239)	27.2%	38.9%	12.6%	18.4%	2.9%
40代 (n=354)	29.9%	30.2%	17.8%	14.4%	7.6%
50代 (n=360)	31.1%	31.7%	8.6%	16.9%	11.7%
60代 (n=340)	22.9%	30.3%	5.9%	18.5%	22.4%
70歳以上 (n=65)	29.2%	26.2%	3.1%	9.2%	32.3%

- 居住地区別によるパソコンについてみると、各地区とも回答全体と同様に「ときどき利用している」が最も高くなっています。

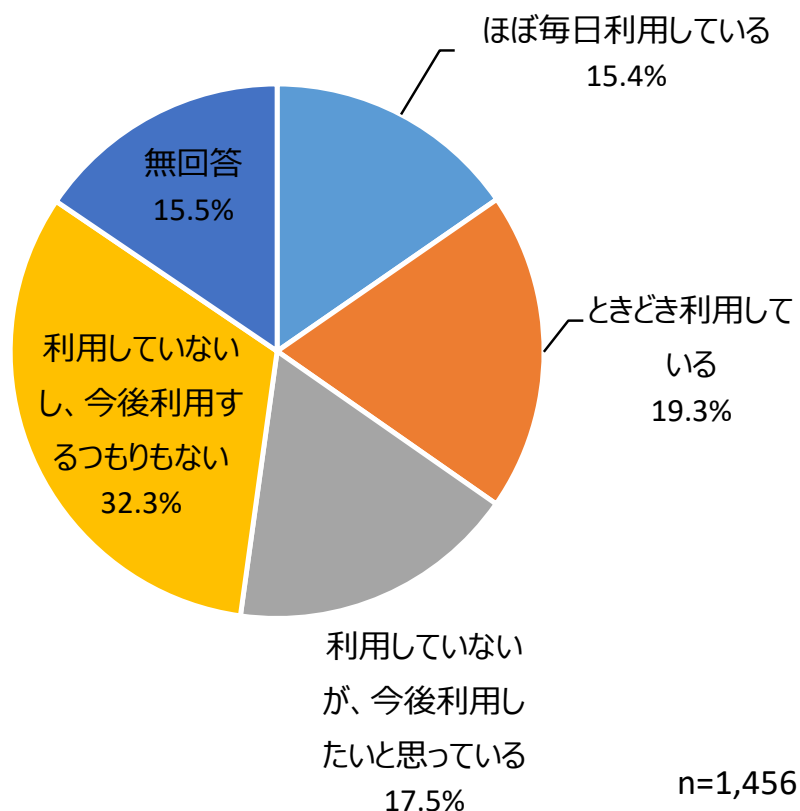
図表 パソコンについて（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	31.3%	33.6%	9.2%	13.9%	12.0%
東船岡小学校区 (n=194)	26.8%	30.9%	13.4%	20.6%	8.2%
槻木小学校区 (n=409)	28.9%	29.3%	12.5%	18.3%	11.0%
柴田小学校区 (n=57)	14.0%	33.3%	10.5%	17.5%	24.6%
船迫小学校区 (n=293)	28.7%	32.8%	11.9%	15.4%	11.3%
西住小学校区 (n=71)	29.6%	33.8%	7.0%	14.1%	15.5%

## ウ. タブレット端末

- 回答者のタブレット端末については、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が32.3%と最も高く、「ときどき利用している」が19.3%、「利用していないが、今後利用したいと思っている」が17.5%と続きます。

図表 タブレット端末について



(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	224	15.4%
2	ときどき利用している	281	19.3%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	255	17.5%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	470	32.3%
	無回答	226	15.5%

- 性別によるタブレット端末についてみると、男女とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。
- 年齢別によるタブレット端末についてみると、10代は「ほぼ毎日利用している」、20代以上は「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 タブレット端末について（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	16.5%	19.5%	18.9%	29.0%	16.0%
女性 (n=762)	14.2%	19.0%	16.3%	35.0%	15.5%
10代 (n=50)	30.0%	28.0%	20.0%	18.0%	4.0%
20代 (n=47)	14.9%	17.0%	27.7%	40.4%	0.0%
30代 (n=239)	23.0%	25.1%	19.7%	28.9%	3.3%
40代 (n=354)	16.9%	23.7%	18.4%	30.8%	10.2%
50代 (n=360)	13.3%	17.5%	17.8%	37.8%	13.6%
60代 (n=340)	9.7%	13.2%	13.5%	33.5%	30.0%
70歳以上 (n=65)	7.7%	10.8%	15.4%	21.5%	44.6%

- 居住地区別によるタブレット端末についてみると、各地区とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

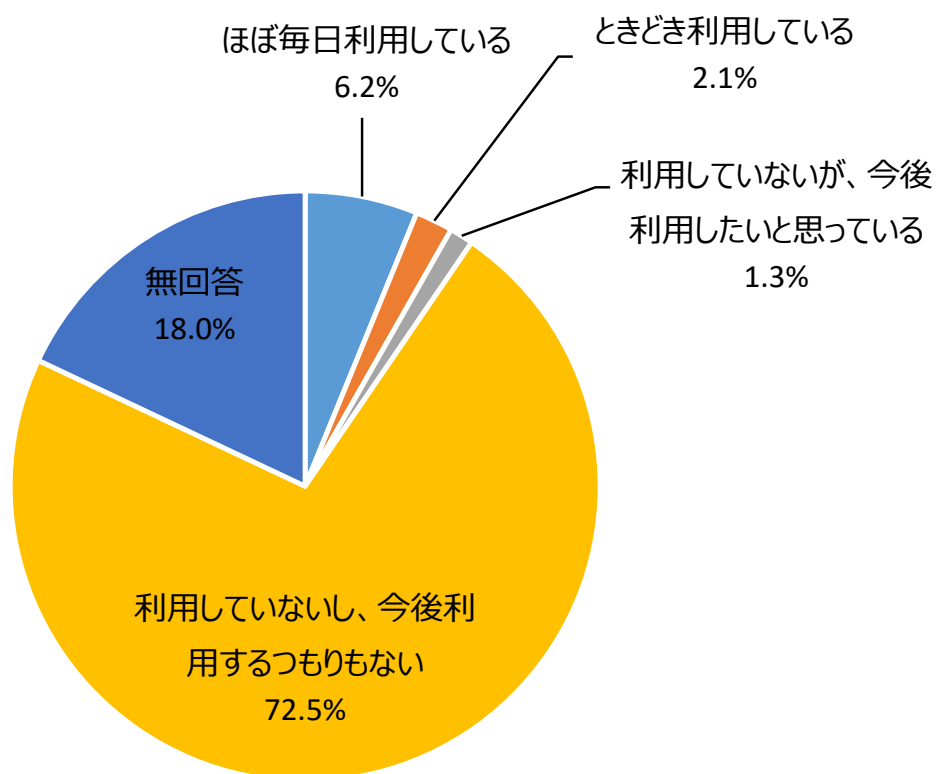
図表 タブレット端末について（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	16.0%	19.1%	15.5%	33.9%	15.5%
東船岡小学校区 (n=194)	14.9%	19.1%	18.6%	35.1%	12.4%
槻木小学校区 (n=409)	17.6%	21.3%	19.1%	29.3%	12.7%
柴田小学校区 (n=57)	12.3%	12.3%	21.1%	29.8%	24.6%
船迫小学校区 (n=293)	13.7%	19.1%	18.4%	31.1%	17.7%
西住小学校区 (n=71)	9.9%	16.9%	12.7%	40.8%	19.7%

## エ. 携帯電話（スマートフォン以外）

- 回答者の携帯電話（スマートフォン以外）については、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が72.5%と最も高く、「ほぼ毎日利用している」が6.2%、「ときどき利用している」が2.1%、「時々利用している」が2.1%と続きます。

図表 携帯電話（スマートフォン以外）について



n=1,456

(n=1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	90	6.2%
2	ときどき利用している	30	2.1%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	19	1.3%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	1,055	72.5%
	無回答	262	18.0%

- 性別による携帯電話（スマートフォン以外）についてみると、男女とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。
- 年齢別による携帯電話（スマートフォン以外）についてみると、各年代とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 携帯電話（スマートフォン以外）について（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	5.6%	2.7%	1.4%	72.6%	17.7%
女性 (n=762)	6.8%	1.4%	1.0%	71.9%	18.8%
10代 (n=50)	4.0%	8.0%	4.0%	80.0%	4.0%
20代 (n=47)	6.4%	4.3%	4.3%	83.0%	2.1%
30代 (n=239)	7.1%	1.3%	1.7%	85.8%	4.2%
40代 (n=354)	5.4%	1.7%	1.4%	78.0%	13.6%
50代 (n=360)	7.8%	1.1%	0.8%	73.6%	16.7%
60代 (n=340)	5.9%	2.9%	0.3%	59.7%	31.2%
70歳以上 (n=65)	1.5%	1.5%	3.1%	40.0%	53.8%

- 居住地区別による携帯電話（スマートフォン以外）についてみると、各地区とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

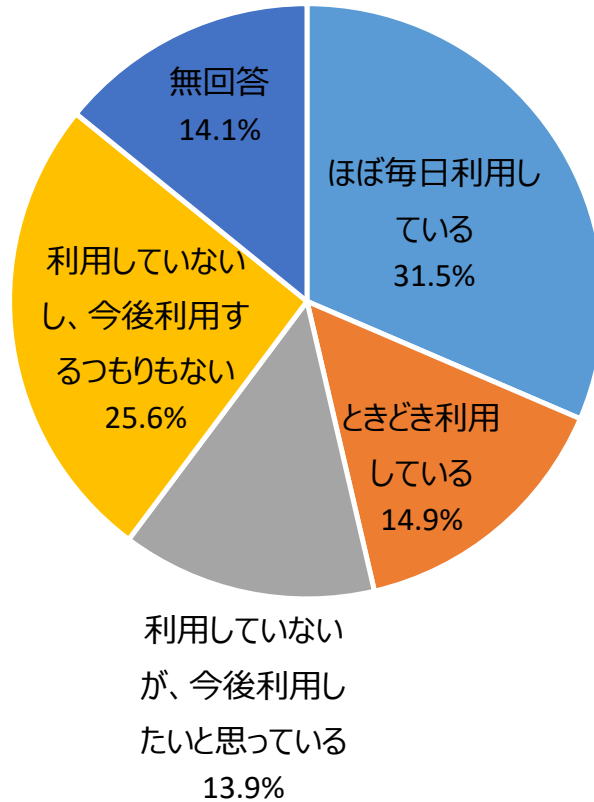
図表 携帯電話（スマートフォン以外）について（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	5.9%	1.9%	1.2%	72.0%	19.1%
東船岡小学校区 (n=194)	10.3%	1.5%	1.0%	74.2%	12.9%
槻木小学校区 (n=409)	5.1%	1.7%	2.0%	75.1%	16.1%
柴田小学校区 (n=57)	1.8%	3.5%	0.0%	66.7%	28.1%
船迫小学校区 (n=293)	7.5%	2.7%	1.4%	69.3%	19.1%
西住小学校区 (n=71)	1.4%	1.4%	0.0%	76.1%	21.1%

## オ. インターネットに接続できるテレビ

- 回答者のインターネットに接続できるテレビについては、「ほぼ毎日利用している」が31.5%と最も高く、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が25.6%、「ときどき利用している」が14.9%と続きます。

図表 インターネットに接続できるテレビについて



n=1,456

(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	458	31.5%
2	ときどき利用している	217	14.9%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	202	13.9%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	373	25.6%
	無回答	206	14.1%

- 性別によるインターネットに接続できるテレビについてみると、男女とも回答全体と同様に「ほぼ毎日利用している」が最も高くなっています。
- 年齢別によるインターネットに接続できるテレビについてみると、10～40代は「ほぼ毎日利用している」、50代以上は「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 インターネットに接続できるテレビについて（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	29.0%	16.8%	12.9%	27.2%	14.1%
女性 (n=762)	33.5%	13.3%	14.8%	23.8%	14.7%
10代 (n=50)	46.0%	18.0%	8.0%	24.0%	4.0%
20代 (n=47)	40.4%	27.7%	6.4%	25.5%	0.0%
30代 (n=239)	48.5%	10.0%	13.0%	25.1%	3.3%
40代 (n=354)	35.9%	15.8%	14.4%	23.4%	10.5%
50代 (n=360)	26.7%	17.2%	15.6%	28.1%	12.5%
60代 (n=340)	20.3%	12.1%	15.0%	26.5%	26.2%
70歳以上 (n=65)	12.3%	16.9%	9.2%	23.1%	38.5%

- 居住地区別によるインターネットに接続できるテレビについてみると、各地区とも回答全体と同様に「ほぼ毎日利用している」が最も高くなっています。

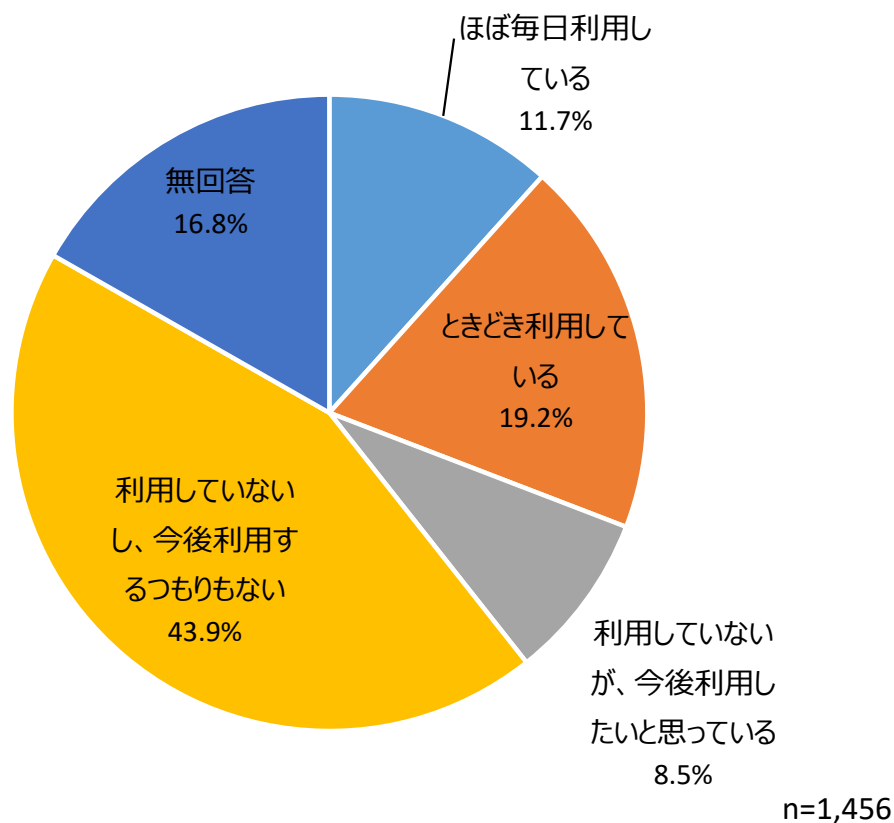
図表 インターネットに接続できるテレビについて（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	32.5%	12.9%	12.7%	27.3%	14.6%
東船岡小学校区 (n=194)	34.0%	16.5%	16.0%	21.6%	11.9%
槻木小学校区 (n=409)	31.3%	15.4%	13.9%	27.1%	12.2%
柴田小学校区 (n=57)	26.3%	15.8%	14.0%	22.8%	21.1%
船迫小学校区 (n=293)	28.3%	16.0%	16.0%	25.3%	14.3%
西住小学校区 (n=71)	39.4%	14.1%	7.0%	21.1%	18.3%

## カ. 家庭用ゲーム機

- 回答者の家庭用ゲーム機については、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が43.9%と最も高く、「ときどき利用している」が19.2%、「ほぼ毎日利用している」が11.7%と続きます。

図表 家庭用ゲーム機について



(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	170	11.7%
2	ときどき利用している	279	19.2%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	124	8.5%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	639	43.9%
	無回答	244	16.8%

- 性別による家庭用ゲーム機についてみると、男女とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。
- 年齢別による家庭用ゲーム機についてみると、10代及び30代は「ときどき利用している」、20代及び40代以上は「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 家庭用ゲーム機について（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	12.1%	22.1%	8.8%	40.4%	16.6%
女性 (n=762)	11.3%	16.5%	8.3%	46.5%	17.5%
10代 (n=50)	24.0%	34.0%	20.0%	20.0%	2.0%
20代 (n=47)	17.0%	27.7%	25.5%	29.8%	0.0%
30代 (n=239)	23.0%	32.6%	11.7%	29.7%	2.9%
40代 (n=354)	17.8%	29.4%	9.6%	32.5%	10.7%
50代 (n=360)	6.9%	13.6%	6.9%	57.5%	15.0%
60代 (n=340)	2.1%	5.3%	3.8%	55.6%	33.2%
70歳以上 (n=65)	0.0%	0.0%	3.1%	49.2%	47.7%

- 居住地区別による家庭用ゲーム機についてみると、各地区とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

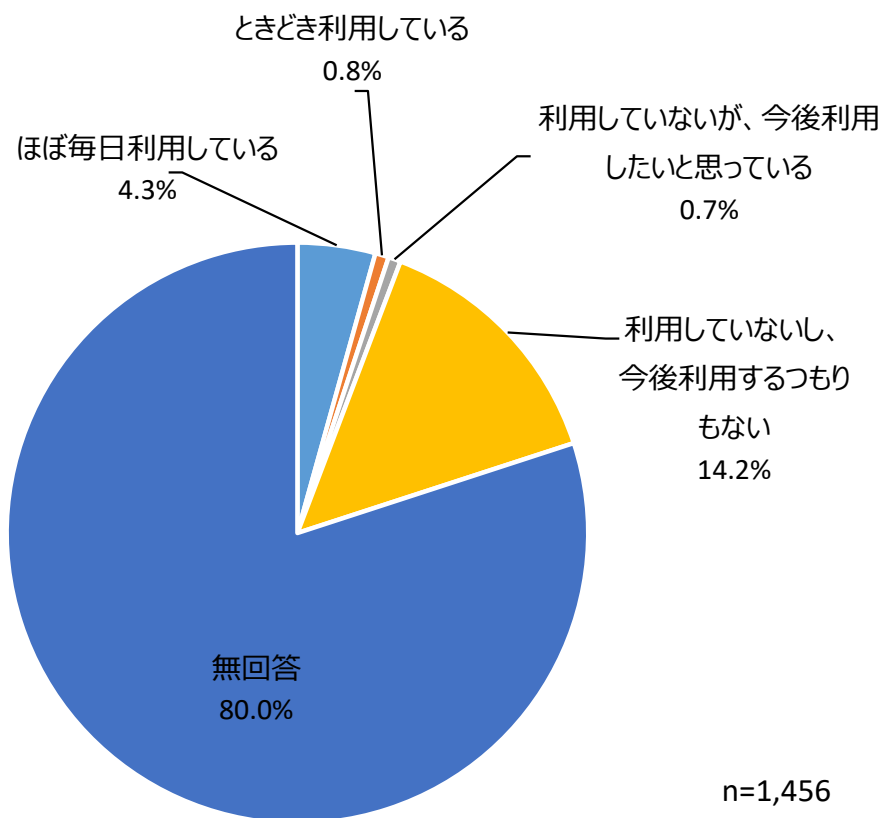
図表 家庭用ゲーム機について（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	11.3%	19.8%	8.2%	44.2%	16.5%
東船岡小学校区 (n=194)	11.3%	22.2%	9.3%	43.3%	13.9%
槻木小学校区 (n=409)	12.5%	17.8%	8.3%	47.4%	13.9%
柴田小学校区 (n=57)	7.0%	14.0%	1.8%	47.4%	29.8%
船迫小学校区 (n=293)	12.3%	19.1%	10.6%	39.2%	18.8%
西住小学校区 (n=71)	12.7%	19.7%	7.0%	40.8%	19.7%

## キ. その他

- 回答者のその他については、「利用していないし、今後利用するつもりもない」が14.2%と最も高く、「ほぼ毎日利用している」が4.3%、「ときどき利用している」が0.8%と続きます。

図表 その他について



(n=1,456)

		回答数	構成比
1	ほぼ毎日利用している	63	4.3%
2	ときどき利用している	11	0.8%
3	利用していないが、今後利用したいと思っている	10	0.7%
4	利用していないし、今後利用するつもりもない	207	14.2%
	無回答	1,165	80.0%

- 性別によるその他についてみると、男女とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。
- 年齢別によるその他についてみると、10代は「ほぼ毎日利用している」、20代以上は「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 その他について（性別・年齢別）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
男性 (n=661)	5.3%	1.2%	0.8%	7.6%	85.2%
女性 (n=762)	3.3%	0.3%	0.7%	6.4%	89.4%
10代 (n=50)	6.0%	0.0%	4.0%	4.0%	86.0%
20代 (n=47)	4.3%	2.1%	0.0%	6.4%	87.2%
30代 (n=239)	4.2%	0.4%	0.0%	7.9%	87.4%
40代 (n=354)	6.2%	1.4%	0.8%	9.9%	81.6%
50代 (n=360)	3.6%	0.6%	0.8%	7.8%	87.2%
60代 (n=340)	2.6%	0.6%	0.3%	3.2%	93.2%
70歳以上 (n=65)	3.1%	0.0%	1.5%	4.6%	90.8%

- 居住地区別によるその他についてみると、各地区とも回答全体と同様に「利用していないし、今後利用するつもりもない」が最も高くなっています。

図表 その他について（居住地区別：上位3項目）

	ほぼ毎日利用している	ときどき利用している	利用していないが、今後利用したいと思っている	利用していないし、今後利用するつもりもない	無回答
船岡小学校区 (n=425)	4.7%	0.9%	0.2%	6.6%	87.5%
東船岡小学校区 (n=194)	5.7%	0.5%	1.0%	7.2%	85.6%
槻木小学校区 (n=409)	3.7%	0.7%	1.5%	7.1%	87.0%
柴田小学校区 (n=57)	5.3%	1.8%	0.0%	7.0%	86.0%
船迫小学校区 (n=293)	3.8%	0.7%	0.3%	7.8%	87.4%
西住小学校区 (n=71)	1.4%	0.0%	0.0%	4.2%	94.4%

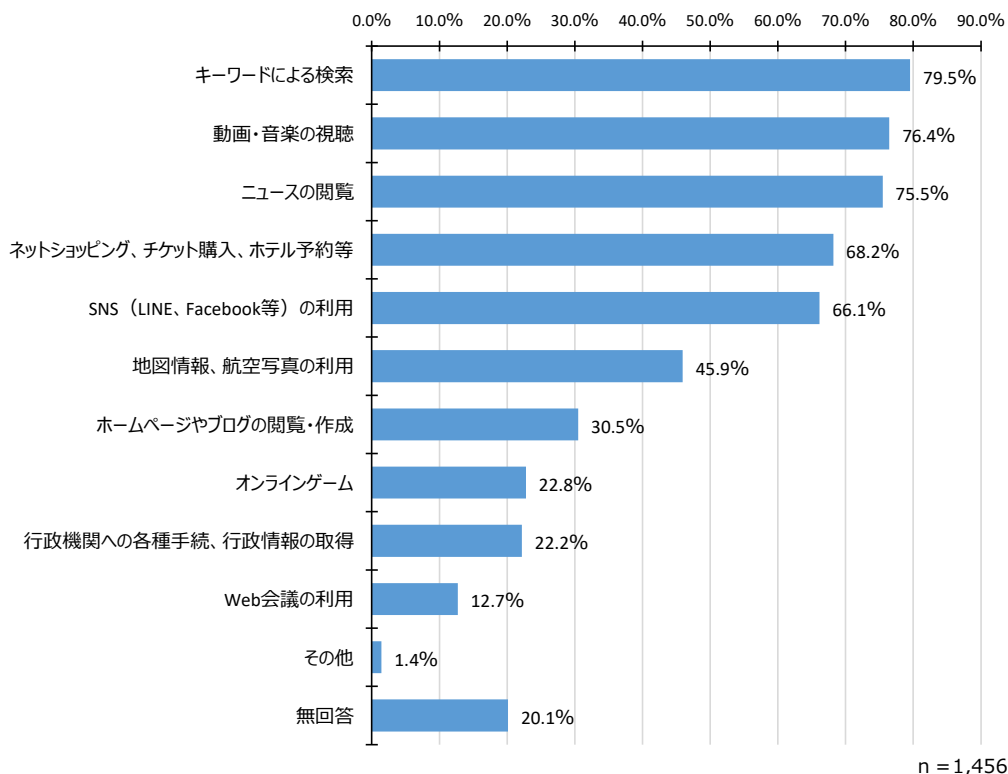
### (3) インターネットの利用サービスについて

問 「インターネットを利用している」と回答した方にうかがいます。インターネットでどのようなサービスを利用していますか。〈あてはまるものすべてに○印〉

○ 回答者のインターネットの利用サービスについては、「キーワードによる検索」が79.5%と最も高く、「動画・音楽の視聴」が76.4%、「ニュースの閲覧」が75.5%と続きます。

図表 インターネットの利用サービスについて

(※下記グラフは降順です)



(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	キーワードによる検索	1,158	79.5%
2	ニュースの閲覧	1,099	75.5%
3	動画・音楽の視聴	1,113	76.4%
4	ネットショッピング、チケット購入、ホテル予約等	993	68.2%
5	SNS (LINE、Facebook等) の利用	963	66.1%
6	ホームページやブログの閲覧・作成	444	30.5%
7	行政機関への各種手続、行政情報の取得	323	22.2%
8	Web会議の利用	185	12.7%
9	地図情報、航空写真の利用	669	45.9%
10	オンラインゲーム	332	22.8%
11	その他	21	1.4%
	無回答	293	20.1%

- 性別によるインターネットの利用サービスについてみると、男女とも回答全体と同様に「キーワードによる検索」が最も高くなっています。
- 年齢別によるインターネットの利用サービスについてみると、各年代とも「キーワードによる検索」「動画・音楽の視聴」を上位に挙げています。
- 10～30代及び70歳以上は「SNS（LINE、Facebook等）の利用」を上位に挙げています。

図表 インターネットの利用サービスについて（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=661)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	77.9%	76.9%	76.1%
女性 (n=762)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	81.8%	75.7%	74.9%
10代 (n=50)	動画・音楽の視聴	SNS（LINE、Facebook等）の利用	キーワードによる検索
	94.0%	90.0%	84.0%
20代 (n=47)	動画・音楽の視聴	SNS（LINE、Facebook等）の利用	キーワードによる検索
	91.5%	80.9%	76.6%
30代 (n=239)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	SNS（LINE、Facebook等）の利用
	87.0%	84.1%	81.2%
40代 (n=354)	動画・音楽の視聴	キーワードによる検索	ニュースの閲覧
	85.3%	81.4%	78.8%
50代 (n=360)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	77.2%	76.4%	75.8%
60代 (n=340)	ニュースの閲覧	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴
	80.3%	77.1%	62.6%
70歳以上 (n=65)	キーワードによる検索 ニュースの閲覧	動画・音楽の視聴	SNS（LINE、Facebook等）の利用
	67.7%	47.7%	44.6%

- 居住地区別によるインターネットの利用サービスについてみると、各地区とも「キーワードによる検索」、「動画・音楽の視聴」、「ニュースの閲覧」を上位に挙げています。
- 柴田小学校区は「ネットショッピング、チケット購入、ホテル予約等」を上位に挙げています。

図表 インターネットの利用サービスについて（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=425)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	80.2%	79.3%	75.8%
東船岡小学校区 (n=194)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	79.4%	78.4%	76.3%
槻木小学校区 (n=409)	キーワードによる検索	ニュースの閲覧	動画・音楽の視聴
	81.4%	75.3%	75.1%
柴田小学校区 (n=57)	キーワードによる検索	ニュースの閲覧 動画・音楽の視聴	ネットショッピング、チケ ット購入、ホテル予約等
	71.9%	70.2%	68.4%
船迫小学校区 (n=293)	ニュースの閲覧	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴
	76.5%	75.8%	73.4%
西住小学校区 (n=71)	キーワードによる検索	動画・音楽の視聴	ニュースの閲覧
	90.1%	81.7%	74.6%

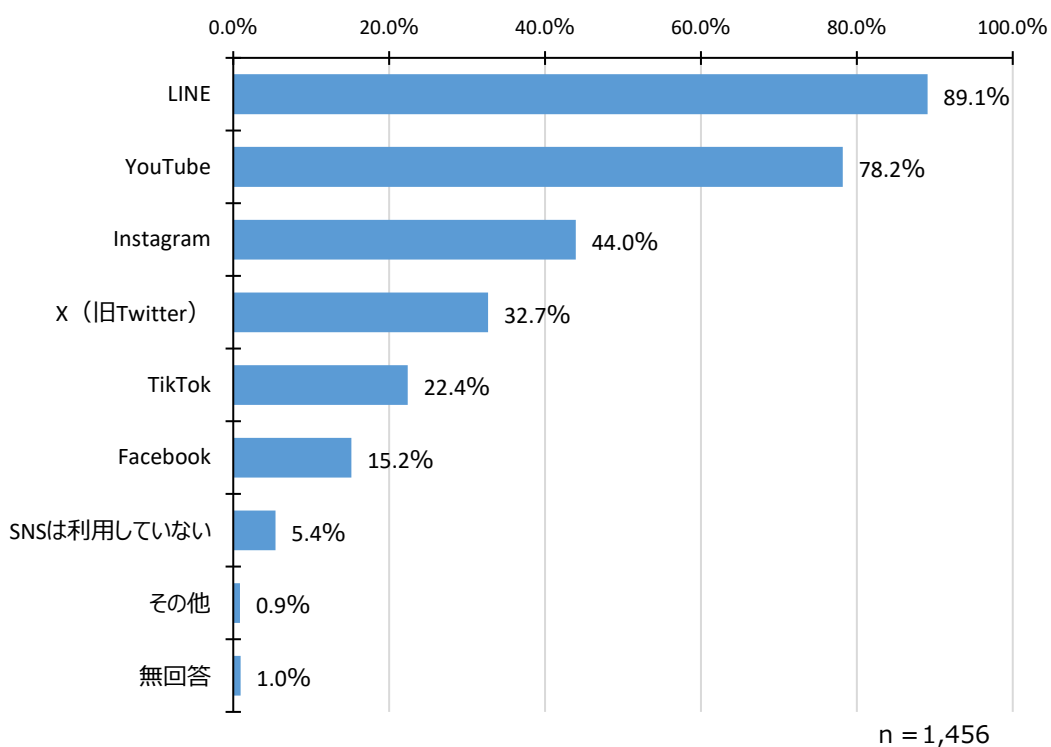
## (4) 利用中の SNS について

問 「インターネットを利用している」と回答した方にうかがいます。あなたが現在利用している SNS がありますか。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者の利用中の SNS については、「LINE」が 89.1%と最も高く、「YouTube」が 78.2%、「Instagram」が 44.0%と続きます。

図表 利用中の SNS について

(※下記グラフは降順です)



(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	LINE	1,297	89.1%
2	YouTube	1,139	78.2%
3	Instagram	640	44.0%
4	Facebook	221	15.2%
5	X (旧 Twitter)	476	32.7%
6	TikTok	326	22.4%
7	SNS は利用していない	79	5.4%
8	その他	13	0.9%
	無回答	14	1.0%

- 性別による利用中の SNS についてみると、男女とも回答全体と同様に「LINE」が最も高くなっています。
- 年齢別による利用中の SNS についてみると、各年代とも「LINE」、「YouTube」を上位に挙げています。
- 10代及び30代は「YouTube」が最も高くなっています。

図表 利用中の SNS について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=661)	LINE	YouTube	Instagram
	84.6%	79.1%	34.0%
女性 (n=762)	LINE	YouTube	Instagram
	93.6%	77.3%	52.1%
10代 (n=50)	LINE YouTube	Instagram	X (旧 Twitter) TikTok
	98.0%	80.0%	70.0%
20代 (n=47)	LINE	YouTube	Instagram
	91.5%	87.2%	76.6%
30代 (n=239)	LINE YouTube	Instagram	X (旧 Twitter)
	93.3%	65.7%	57.7%
40代 (n=354)	LINE	YouTube	Instagram
	92.4%	85.0%	54.5%
50代 (n=360)	LINE	YouTube	Instagram
	87.8%	75.8%	37.2%
60代 (n=340)	LINE	YouTube	Instagram
	84.4%	64.7%	21.2%
70歳以上 (n=65)	LINE	YouTube	SNS は利用していない
	80.0%	47.7%	13.8%

- 居住地区別による利用中のSNSについてみると、各地区とも回答全体と同様に「LINE」が最も高くなっています。

図表 利用中のSNSについて（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=425)	LINE	YouTube	Instagram
	89.6%	79.1%	46.6%
東船岡小学校区 (n=194)	LINE	YouTube	Instagram
	88.1%	77.3%	46.4%
槻木小学校区 (n=409)	LINE	YouTube	Instagram
	88.5%	77.8%	45.2%
柴田小学校区 (n=57)	LINE	YouTube	Instagram
	89.5%	77.2%	35.1%
船迫小学校区 (n=293)	LINE	YouTube	Instagram
	90.1%	78.2%	37.9%
西住小学校区 (n=71)	LINE	YouTube	Instagram
	90.1%	81.7%	45.1%

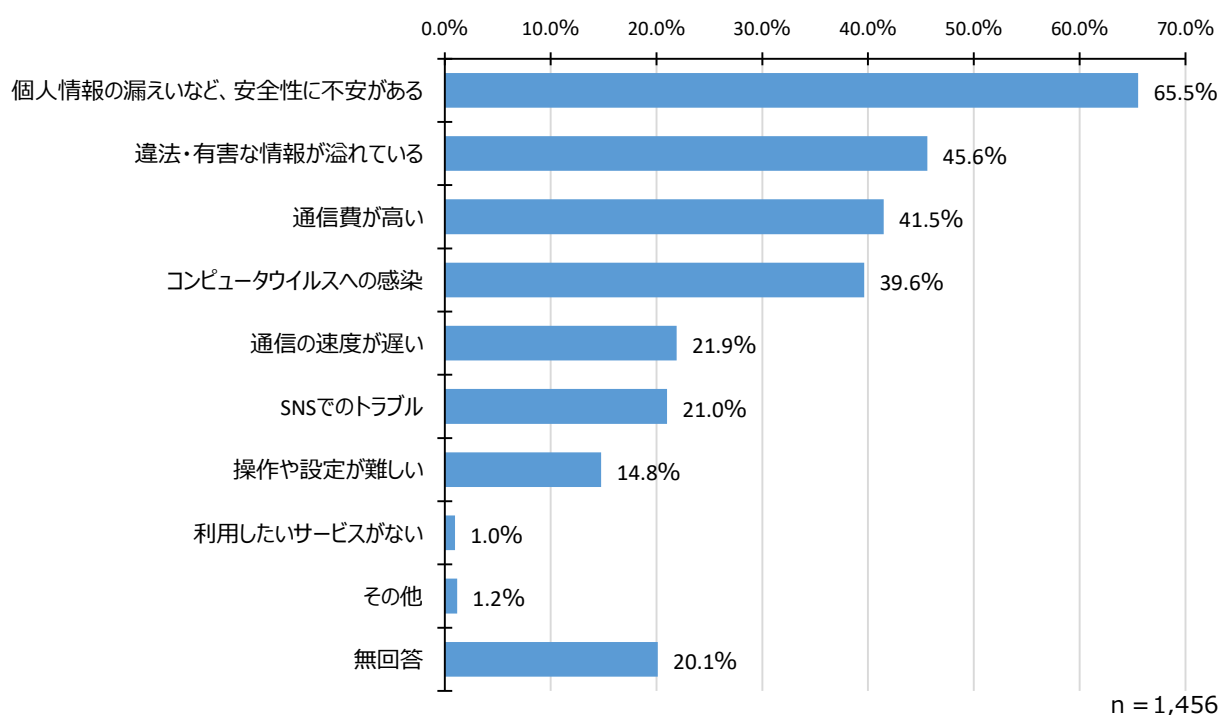
## (5) 利用する際の不安や不満について

問 「インターネットを利用している」と回答した方にうかがいます。あなたがインターネットを利用する際に感じる不安や不満はありますか。〈あてはまるものすべてに○印〉

- 回答者のインターネットを利用する際の不安や不満については、「個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」が65.5%と最も高く、「違法・有害な情報が溢れている」が45.6%、「通信費が高い」41.5%と続きます。

図表 利用する際の不安や不満について

(※下記グラフは降順です)



(n = 1,456)

		回答数	構成比
1	通信費が高い	604	41.5%
2	違法・有害な情報が溢れている	664	45.6%
3	SNSでのトラブル	306	21.0%
4	通信の速度が遅い	319	21.9%
5	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	954	65.5%
6	操作や設定が難しい	215	14.8%
7	利用したいサービスがない	14	1.0%
8	コンピュータウイルスへの感染	577	39.6%
9	その他	17	1.2%
	無回答	293	20.1%

- 性別によるインターネットを利用する際の不安や不満についてみると、男女とも回答全体と同様に「個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」が最も高くなっています。
- 年齢別によるインターネットを利用する際の不安や不満についてみると、各年代とも「個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」、「違法・有害な情報が溢れている」を上位に挙げています。
- 10代は「違法・有害な情報が溢れている」、20代は「通信費が高い」が最も高くなっています。

図表 利用する際の不安や不満について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=661)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 58.7%	通信費が高い 44.0%	違法・有害な情報が溢れている 41.5%
女性 (n=762)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 71.3%	違法・有害な情報が溢れている 49.0%	通信費が高い コンピュータウイルスへの感染 37.9%
10代 (n=50)	違法・有害な情報が溢れている 42.0%	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 40.0%	通信費が高い 38.0%
20代 (n=47)	通信費が高い 46.8%	違法・有害な情報が溢れている 44.7%	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 42.6%
30代 (n=239)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 61.9%	違法・有害な情報が溢れている 46.0%	通信費が高い 35.1%
40代 (n=354)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 68.9%	違法・有害な情報が溢れている 47.2%	コンピュータウイルスへの感染 41.2%
50代 (n=360)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 64.4%	通信費が高い 47.5%	違法・有害な情報が溢れている 41.7%
60代 (n=340)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 72.4%	違法・有害な情報が溢れている 48.2%	コンピュータウイルスへの感染 44.7%
70歳以上 (n=65)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 67.7%	違法・有害な情報が溢れている 47.7%	コンピュータウイルスへの感染 41.5%

- 居住地区別によるインターネットを利用する際の不安や不満についてみると、各地区とも回答全体と同様に「個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」が最も高くなっています。

図表 利用する際の不安や不満について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=425)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	違法・有害な情報が溢れている	通信費が高い
	66.1%	45.2%	43.3%
東船岡小学校区 (n=194)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	通信費が高い	違法・有害な情報が溢れている
	64.4%	48.5%	44.3%
槻木小学校区 (n=409)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	違法・有害な情報が溢れている	コンピュータウイルスへの感染
	63.3%	43.5%	41.3%
柴田小学校区 (n=57)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	違法・有害な情報が溢れている	通信費が高い
	64.9%	43.9%	40.4%
船迫小学校区 (n=293)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	違法・有害な情報が溢れている	通信費が高い コンピュータウイルスへの感染
	67.2%	48.8%	37.9%
西住小学校区 (n=71)	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	違法・有害な情報が溢れている	コンピュータウイルスへの感染
	73.2%	53.5%	42.3%

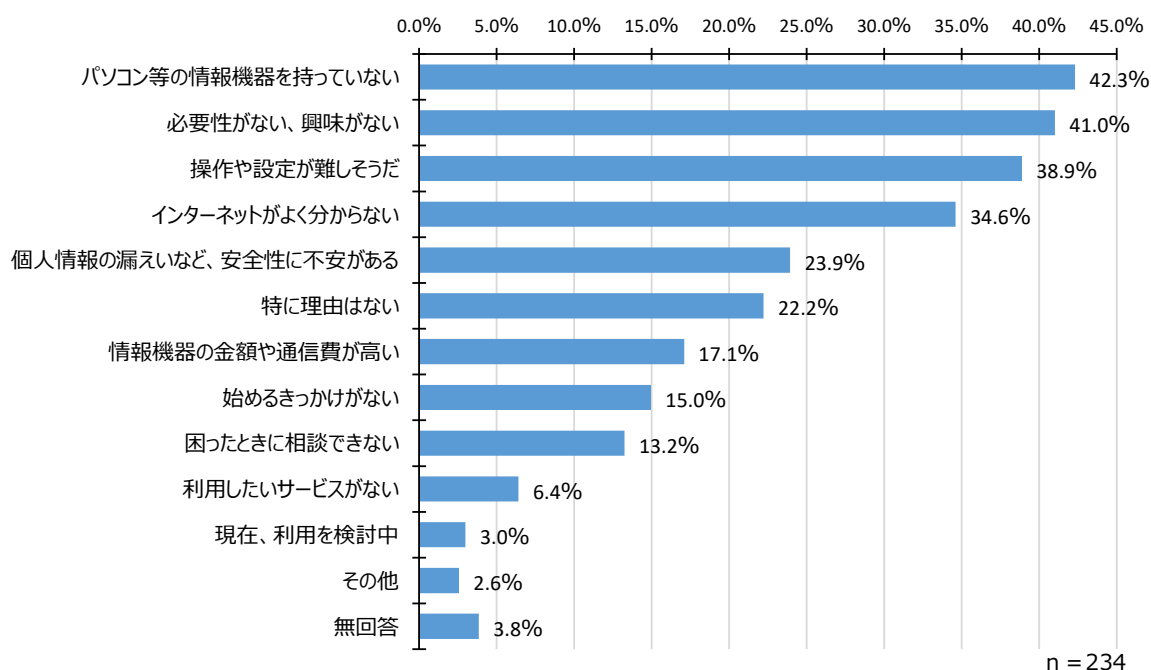
## (6) 利用していない理由について

問 「インターネットを利用していない」と回答した方にうかがいます。あなたがインターネットを利用していない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○印〉

○ 回答者のインターネットを利用していない理由については、「パソコン等の情報機器を持っていない」が42.3%と最も高く、「必要性がない、興味がない」が41.0%、「操作や設定が難しそうだ」が38.9%と続きます。

図表 利用していない理由について

(※下記グラフは降順です)



(n=234)

		回答数	構成比
1	必要性がない、興味がない	96	41.0%
2	パソコン等の情報機器を持っていない	99	42.3%
3	情報機器の金額や通信費が高い	40	17.1%
4	インターネットがよく分からない	81	34.6%
5	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	56	23.9%
6	困ったときに相談できない	31	13.2%
7	操作や設定が難しそうだ	91	38.9%
8	利用したいサービスがない	15	6.4%
9	始めるきっかけがない	35	15.0%
10	特に理由はない	52	22.2%
11	現在、利用を検討中	7	3.0%
12	その他	6	2.6%
	無回答	9	3.8%

- 性別によるインターネットを利用していない理由についてみると、男性は「必要性がない、興味がない」、女性は「パソコン等の情報機器を持っていない」が最も高くなっています。
- 年齢別によるインターネットを利用していない理由についてみると、20代以上は「パソコン等の情報機器を持っていない」を上位に挙げています。

図表 利用していない理由について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=108)	必要性がない、興味がない	パソコン等の情報機器を持っていない	操作や設定が難しそうだ
	41.7%	38.9%	34.3%
女性 (n=124)	パソコン等の情報機器を持っていない	操作や設定が難しそうだ	必要性がない、興味がない
	46.0%	43.5%	41.1%
10代 (n=0)	—	—	—
	—	—	—
20代 (n=2)	パソコン等の情報機器を持っていない	情報機器の金額や通信費が高い 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 困ったときに相談できない	—
	100.0%	50.0%	—
30代 (n=4)	パソコン等の情報機器を持っていない	情報機器の金額や通信費が高い 始めるきっかけがない	—
	50.0%	25.0%	—
40代 (n=13)	パソコン等の情報機器を持っていない 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある	インターネットがよく分からない 操作や設定が難しそうだ 特に理由はない	必要性がない、興味がない 情報機器の金額や通信費が高い
	46.2%	30.8%	23.1%
50代 (n=44)	必要性がない、興味がない	パソコン等の情報機器を持っていない	特に理由はない
	52.3%	38.6%	27.3%
60代 (n=106)	操作や設定が難しそうだ	パソコン等の情報機器を持っていない	必要性がない、興味がない
	49.1%	44.3%	39.6%
70歳以上 (n=65)	必要性がない、興味がない	インターネットがよく分からない 操作や設定が難しそうだ	パソコン等の情報機器を持っていない
	43.1%	40.0%	38.5%

- 居住地区別によるインターネットを利用していない理由についてみると、各地区とも「パソコン等の情報機器を持っていない」、「必要性がない、興味がない」を上位に挙げています。

図表 利用していない理由について（居住地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
船岡小学校区 (n=55)	操作や設定が難しそうだ 45.5%	必要性がない、興味がない 43.6%	パソコン等の情報機器を持っていない 40.0%
東船岡小学校区 (n=41)	必要性がない、興味がない 41.5%	パソコン等の情報機器を持っていない 操作や設定が難しそうだ 特に理由はない 34.1%	個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 26.8%
槻木小学校区 (n=57)	パソコン等の情報機器を持っていない 50.9%	インターネットがよく分からない 45.6%	必要性がない、興味がない 40.4%
柴田小学校区 (n=14)	必要性がない、興味がない 50.0%	パソコン等の情報機器を持っていない 操作や設定が難しそうだ 42.9%	情報機器の金額や通信費が高い 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある 28.6%
船迫小学校区 (n=56)	操作や設定が難しそうだ 42.9%	インターネットがよく分からない 41.1%	必要性がない、興味がない パソコン等の情報機器を持っていない 39.3%
西住小学校区 (n=8)	パソコン等の情報機器を持っていない 62.5%	必要性がない、興味がない 操作や設定が難しそうだ 37.5%	情報機器の金額や通信費が高い インターネットがよく分からない 始めるきっかけがない 25.0%

### Ⅲ 参考資料 アンケート調査票

## 第7次柴田町総合計画策定に係る まちづくりアンケート調査へのご協力をお願い

町民の皆様には、日ごろから町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

柴田町では、令和元年度から令和8年度までを計画期間とする「第6次柴田町総合計画」に基づき、「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」の実現に向け、まちづくりを進めています。この計画が来年度に最終年度を迎えることから、令和9年度を初年度とする「新総合計画」を策定します。

このアンケートは、新たな時代のまちづくりの指針として、第7次総合計画を策定するにあたり、町民の皆様のご意見をお聞かせいただくとても大切な調査です。18歳以上の町民の中から、4,000人を無作為に抽出したところ、あなたにお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。ぜひ、あなたのお声を町にお届けください。

令和8年1月

柴田町長 滝口 茂

～ 回答にあたって ～

- 1 本調査のご回答は、お送りした封筒のあて名のご本人がご回答ください。無記名式ですので、お名前やご住所の記入は不要です。(令和7年11月25日時点のデータをもとに無作為抽出をしています。)
- 2 本調査の集計は統計的に行います。個人の特定や他の目的に使用することは一切ございません。率直なご意見・ご回答をお願いします。
- 3 次の(1)または(2)いずれかの方法で **2月9日(月)** までにご回答ください。

#### (1) こちらの調査票へ直接回答し、郵送される場合

- ・ご記入後、こちらの調査票を同封の返信用封筒に封入し、無記名のまま郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。
- ・回答は選択肢の番号を囲むように○をつけてください。自由記述箇所もございます。回答には鉛筆またはボールペンをご使用ください。

#### (2) WEBで回答される場合

- ・確認コード欄に数字で「**0001**」と入力のうえ、ご回答ください。確認コードは、重複回答を防ぐもので、個人を特定するものではありません。  
※PCの方⇒下記URLから専用ページにアクセスし、ご回答ください。  
URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/XP391qWpu>  
※スマートフォンの方⇒右記の二次元コードを読み取りのうえ、ご回答ください。

本調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。なお、本調査は、受託業者である七十七リサーチ&コンサルティング株式会社に委託しています。

【お問い合わせ先】柴田町まちづくり政策課 企画班  
TEL : 54-2111 / FAX : 55-4172  
MAIL : [plan@town.shibata.miyagi.jp](mailto:plan@town.shibata.miyagi.jp)



1. はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目にあてはまる番号をお選びください。  
(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1. 男性 2. 女性	3. その他 4. 回答しない
(2) 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代	5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上
(3) 職業・仕事 (※主たるもの)	1. 農林業 2. 製造業・建設業 3. 卸小売・飲食業 4. その他サービス業など (公務員含む)	5. パートタイム・アルバイト 6. 家事・育児 7. 無職 8. 学生・その他
(4) 通学・勤務先	1. 町内 2. 町外	3. 通学・勤務していない
(5) 居住年数(※通算して)	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満	3. 10年以上20年未満 4. 20年以上
(6) 居住地区	1. 船岡小学校区 2. 東船岡小学校区 3. 槻木小学校区	4. 柴田小学校区 5. 船迫小学校区 6. 西住小学校区

問2 あなたの家族構成(同居のご家族)についてお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族はいない	6. 高校生
2. 配偶者	7. 大学生・専門学校生
3. 乳幼児(0歳から小学校就学前)	8. 父母
4. 小学生	9. 祖父母
5. 中学生	10. その他( )

## 2. まちへの定住意向と魅力などについておたずねします。

問3 あなたは、全体的にみて柴田町は住みやすいと思いますか。(1つに○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. 住みにくい         |
| 3. どちらともいえない     |                  |

問4 あなたは、柴田町のどのようなところが魅力だと思いますか。(3つまで○)

- |  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 自然環境が豊かである                          | 10. 文化・スポーツ環境が整っている |
| 2. 上・下水道の整備やごみ処理対策など、<br>快適な生活環境が整っている | 11. 活力ある企業や産業がある    |
| 3. 道路や鉄道など交通の利便が高い                     | 12. 買い物の便がよい        |
| 4. 情報通信網が整っている                         | 13. 働く場が確保されている     |
| 5. 消防・防災・防犯体制が整っている                    | 14. 人情味や地域の連帯感がある   |
| 6. 保健・医療環境が整っている                       | 15. 行政サービスが充実している   |
| 7. 介護福祉環境が整っている                        | 16. 魅力ある観光地がある      |
| 8. 子育て環境が整っている                         | 17. 特に魅力を感じない       |
| 9. 教育環境が整っている                          | 18. その他( )          |

問5 あなたは、柴田町のどのようなところが不十分だと思いますか。(3つまで○)

- |                                  |                  |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 自然環境の保全                       | 10. 文化・スポーツ環境    |
| 2. 上・下水道の整備やごみ処理対策など、<br>快適な生活環境 | 11. 企業や産業の活力     |
| 3. 道路や鉄道など交通の便                   | 12. 買い物の利便性      |
| 4. 情報通信網の整備                      | 13. 働く場の確保       |
| 5. 消防・防災・防犯体制                    | 14. 人情味や地域の連帯感   |
| 6. 保健・医療環境                       | 15. 行政サービス       |
| 7. 介護福祉環境                        | 16. 魅力ある観光地がない   |
| 8. 子育て環境                         | 17. 特に不十分なところはない |
| 9. 教育環境                          | 18. その他( )       |

問6 あなたは、これからも柴田町に住みたいと思いますか。(1つに○)

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 住みたい         | 4. どちらかといえば住みたくない        |
| 2. どちらかといえば住みたい | 5. 住みたくない(できれば町外へ引っ越したい) |
| 3. どちらともいえない    |                          |

### 3. まちの現状と今後の取り組みについておたずねします。

問7 柴田町では、第6次総合計画後期基本計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目について満足度・重要度をおたずねします。

(満足度・重要度それぞれ1つに○)

満足度・重要度 (それぞれ1つに○)		(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
		満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である どちらかといえば	不満である	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
回答例		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>1. 保健・医療・福祉の分野</b>											
1	保健サービス提供体制(健康診査、健康相談の充実、健康づくりの充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	医療体制(地域医療体制の充実、救急医療体制の充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	地域福祉体制(地域における福祉活動の促進、福祉ボランティアの育成等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	高齢者支援体制(福祉・介護サービスの充実、生きがい対策の充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	障害者支援体制(障害者への福祉サービスの充実、社会参加の促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	バリアフリー化(段差の解消、だれもが使いやすい施設の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	子育て支援体制(保育・相談の充実、交流場の提供、子ども医療費助成等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>2. 生活環境・都市基盤の分野</b>											
1	環境保全対策(公害の防止、自然環境の保全、環境美化・植栽活動の促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	公園・緑地(身近な公園・広場、緑地、河川等)の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	ごみ処理・リサイクル等(収集・処理の充実、リサイクルの促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	温暖化対策(低公害車・太陽光等)の導入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	し尿処理(適切な収集・処理の推進)の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

満足度・重要度 (それぞれ1つに○)  項目		(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
		満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である どちらかといえば	不満である	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
6	上水道（安全・安心な水の安定供給の確保）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	下水道の整備（公共下水道の整備、浄化槽の普及等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	地震等防災体制（自主防災組織の育成、情報伝達の充実、危険箇所整備等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	消防・救急体制（広域消防・救急の充実、消防団の充実等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	交通安全体制（意識啓発の推進、交通安全施設の整備等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	防犯体制（意識啓発の推進、防犯・パトロール活動の促進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	墓地・火葬場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13	土地利用（秩序ある適正な土地利用への規制・誘導等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14	景観（柴田町らしい美しい景観や街並み等）づくりの状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	住宅施策（良質な住宅の建設促進、良好な住宅地の形成等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16	道路（国道、県道、町道）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	公共交通機関（JR、阿武隈急行、デマンド型乗合タクシーなど）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18	情報基盤（インターネット環境等）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>3. 産業振興の分野</b>											
1	農林業振興（担い手の育成、生産性向上、農地の整備、森林保全等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	地場産業振興（商品のブランド化、産直活動推進）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	工業振興（既存企業の経営改善、企業の誘致、新産業の育成等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

満足度・重要度 (それぞれ1つに○)  項目		(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
4	商業振興（商店経営の改善、商業集積づくりの推進等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	観光振興（観光資源の開発・活用、PR活動の充実等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	雇用対策（相談・情報提供の充実、雇用機会の向上等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	消費者対策（トラブル防止・解消のための啓発・相談の充実等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>4. 教育・文化・スポーツの分野</b>											
1	学校教育環境（教育内容の充実、施設の充実等）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	青少年の健全育成（健全育成体制の充実、自主的活動の促進等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	生涯学習環境（推進体制の充実、学習機会・場の充実等）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	スポーツ環境（スポーツ団体の育成、施設の充実等）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	文化芸術環境（文化団体の育成、施設の充実等）の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	歴史文化遺産（史跡・伝統芸能等）の保存・活用の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	国内外との交流活動（国内・国際交流活動・情報の発信等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<b>5. 町民参加・行財政改革の分野</b>											
1	町民参加と協働に関する取り組み（広報・広聴、町民活動の支援等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	コミュニティ活動（身近な地域や町内会等における共同活動）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	男女共同参画（性別に関わらず誰もが等しく社会参画できる環境づくり）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	人権尊重のまちづくり（人権教育・啓発の推進等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

満足度・重要度 (それぞれ1つに○)		(1) 現在の満足度					(2) 今後の重要度				
		満足している	満足している どちらかといえば	どちらともいえない	不満である どちらかといえば	不満である	重視する	やや重視する	どちらともいえない	あまり重視しない	重視しない
5	行財政改革に関する取り組み（組織や事務事業の見直し等）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	広域的な連携（周辺の市町との連携・協力）によるまちづくりの状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	タウンセールス（イベント情報の提供・イメージアップづくり等）の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問8 柴田町は、あなたが住むまちとして、将来（8年後）どのようなまちになればよいと思いますか。（1つに○）

1. 自然と共生した中で、美しい自然景観を大切に にした <u>環境共生のまち</u>	7. 農林業や商工業の振興、地場産業の育成に よる <u>多彩な産業が立地するまち</u>
2. 交通や買い物などの生活利便性を重視した <u>コンパクトなまち</u>	8. 地域資源を活用し、観光やイベント・交流事業 を進める <u>観光・交流のまち</u>
3. 風水害や地震などの災害に強く、犯罪のない 住環境が整備された <u>安全安心なまち</u>	9. 地域の助け合いやボランティア活動が盛んな <u>コミュニティの活発なまち</u>
4. 人にやさしい保健・医療・福祉が充実した <u>健康・福祉のまち</u>	10. 町民と行政とが協力してまちづくりを行う <u>参加と協働のまち</u>
5. 子育て支援や子どもの保育・教育環境が充実 した <u>子育て・教育のまち</u>	11. 生活道路・住宅・公園が整備された <u>快適な 都市空間のまち</u>
6. 歴史や伝統を大切に、生涯学習や文化芸術・ スポーツ活動が活発な <u>歴史・文化のまち</u>	12. その他（具体的に： _____）

問9 あなたは、これからの柴田町にどのような公共施設が必要だと思えますか。（2つまで○）

1. 図書館	6. 武道館
2. 高齢者拠点施設	7. 道の駅
3. 給食センター	8. その他（具体的に： _____）
4. 児童福祉施設（保育所、児童館など）	9. 新たな公共施設は必要ない
5. 陸上競技場	

#### 4. 地域公共交通についておたずねします。

問10 運転免許証をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 自動車の運転免許証がある         | 4. 運転免許証は持っているが運転していない |
| 2. オートバイ(原付含む)の運転免許証がある | (ペーパードライバー)            |
| 3. 運転免許証を持っていたが返納した     | 5. 一度も運転免許証を持ったことがない   |

問11 あなたの世帯では自動車をお持ちですか。また、お持ちの場合はカッコ内に台数をご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 自分が自由に使える自動車がある  | } お持ちの場合:世帯の自動車保有数(      台) |
| 2. 家族共用の自動車がある      |                             |
| 3. 自分は運転しないが、自動車がある |                             |
| 4. 自動車を持っていない       |                             |

問12 出かけ先についてうかがいます。下記の項目それぞれの行き先についてお答えください。(ア～カの目的において、それぞれ行き先を3つまで○)

目的 \ 行き先 (3つまで○)	柴田町	名取市	岩沼市	角田市	白石市	大河原町	村田町	亶理町	仙台市	その他	該当なし
ア. 通勤・通学	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
イ. 買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ウ. 通院	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
エ. 余暇(趣味など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
オ. 家族・友人などへの訪問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
カ. その他(                      )	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問13 問12での行き先への移動手段についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 1. 自家用自動車   | 6. 徒歩                          |
| 2. タクシー     | 7. 自転車                         |
| 3. デマンドタクシー | 8. 家族、知人の送迎                    |
| 4. バス       | 9. その他(                      ) |
| 5. 電車       |                                |

問14 あなたご自身の日頃の移動手段に関するご意見をお聞かせください。(自由記述含む。)

1. 現在は、日頃の移動には困っていない。
2. 普段からすべての移動に困っている。(困っている場合、下に理由をお書きください。)

困っている理由:

3. その他(自由記述)

#### 5. 行政情報の取得方法等についておたずねします。

問 15 あなたは、柴田町の行政情報をどのような手段で取得していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 町のホームページ      | 6. 行政区回覧        |
| 2. 町からのLINE、メール等 | 7. 家族、友人、知人から   |
| 3. 広報しばた・お知らせ版   | 8. 新聞、雑誌        |
| 4. 町からの通知、案内文等   | 9. 特になし、入手していない |
| 5. テレビ回覧版(KHB)   | 10. その他( )      |

問 16 柴田町で発行し、配布・回覧しているもののうち、紙ベースではなく、電子データで配信してほしいものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1. 広報しばた             | 6. ごみ収集カレンダー |
| 2. お知らせ版             | 7. 防災マップ     |
| 3. 行政区回覧             | 8. 特になし      |
| 4. イベントチラシ           | 9. その他( )    |
| 5. 町からの通知・案内文(全戸配布)等 |              |

問 17 今後、行政サービスのデジタル化に期待することは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. スマートフォンやPCから申請や届出などの手続きが完結できる
2. 税金、証明書や施設の料金などがキャッシュレスで支払うことができる
3. イベントや講座の申込み、施設の利用予約がインターネットでできる
4. 役場に手続きに行くときにオンライン予約ができる
5. 人口統計などのオープンデータ\*を町ホームページから閲覧・利用できる
6. 公共施設でWi-Fiが利用できる
7. 町への問い合わせに、24時間いつでもAIが対応してくれる
8. 健康・子育て等のオンライン・チャット相談ができる
9. 町からの必要な情報がスマートフォン等で配信される
10. 災害情報や防災情報がリアルタイムで配信される
11. YouTubeやInstagramなどを活用した観光情報が配信される
12. 特になし
13. その他( )

\*オープンデータとは、誰もがインターネット等から容易に利用(加工、編集等)できるように公開されたデータです。

6. 情報通信機器の利用状況等についておたずねします。

問 18 あなたは、インターネットを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している → 問 19 へ      2. 利用していない → 問 23 へ

問 19 問 18 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。あなたはどのような機器で、どの程度インターネットを利用していますか。(それぞれ1つに○)

情報通信機器 \ 利用状況 (それぞれ1つに○)	ほぼ毎日 利用している	ときどき 利用している	利用していないが、 今後利用したいと 思っている。	利用していないし、 今後利用するつも りもない
ア. スマートフォン	1	2	3	4
イ. パソコン	1	2	3	4
ウ. タブレット端末	1	2	3	4
エ. 携帯電話(スマートフォン以外)	1	2	3	4
オ. インターネットに接続できるテレビ	1	2	3	4

カ. 家庭用ゲーム機	1	2	3	4
キ. その他 ( )	1	2	3	4

問 20 問 18 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。インターネットでどのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. キーワードによる検索               | 7. 行政機関への各種手続、行政情報の取得 |
| 2. ニュースの閲覧                  | 8. Web会議の利用           |
| 3. 動画・音楽の視聴                 | 9. 地図情報、航空写真の利用       |
| 4. ネットショッピング、チケット購入、ホテル予約等  | 10. オンラインゲーム          |
| 5. SNS (LINE、Facebook等) の利用 | 11. その他 ( )           |
| 6. ホームページやブログの閲覧・作成         |                       |

問 21 問 18 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。あなたが現在利用している SNS はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. LINE      | 5. X (旧Twitter) |
| 2. YouTube   | 6. TikTok       |
| 3. Instagram | 7. SNSは利用していない  |
| 4. Facebook  | 8. その他 ( )      |

問 22 問 18 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。あなたがインターネットを利用する際に感じる不安や不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 通信費が高い               | 6. 操作や設定が難しい      |
| 2. 違法・有害な情報が溢れている       | 7. 利用したいサービスがない   |
| 3. SNSでのトラブル            | 8. コンピュータウイルスへの感染 |
| 4. 通信の速度が遅い             | 9. その他 ( )        |
| 5. 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある |                   |

⇒問 24 へ

問 23 問 18 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。あなたがインターネットを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 必要性がない、興味がない         | 7. 操作や設定が難しそうだ  |
| 2. パソコン等の情報機器を持っていない    | 8. 利用したいサービスがない |
| 3. 情報機器の金額や通信費が高い       | 9. 始めるきっかけがない   |
| 4. インターネットがよく分からない      | 10. 特に理由はない     |
| 5. 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある | 11. 現在、利用を検討中   |
| 6. 困ったときに相談できない         | 12. その他 ( )     |

⇒問 24 へ

7. 自由意見についてご記入ください。

問 24 最後に、今後のまちづくりや町政に関するご意見を自由にご記入ください。

①保健・医療・福祉	
②生活環境・都市基盤	
③産業振興	
④教育・文化・スポーツ	
⑤公共交通	
⑥デジタル化	
⑦その他	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に封入（切手不要）のうえ、2月9日（月）までに  
郵便ポストへご投函ください。



柴田町花のまち  
イメージキャラクター  
はなみちゃん